

LEICA V-LUX 40

取扱説明書

目次

撮影

再生・編集

GPS・地図機能

他の機器との接続

その他 Q&A

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて…

	本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。 ●下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。 • 本機を落とす、またはぶつける • 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる • 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる • レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける **本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。** **ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。** ●下記のような場所で使用すると、**レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります**。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。 • 砂やほこりの多いところ • 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■露付きについて（レンズや液晶モニターが曇るとき）…

	●露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。 ●露付きが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願いとお知らせ」も、併せてお読みください(→184)

- お使いの機種によりイラストと画面は異なる場合があります。
- 撮影モード表示について

撮影モード： Ⓐ P A S M C1 C2 3D SCN

実行可能な撮影モード ― Ⓐ P A S M

実行できない撮影モード ― C1 C2 3D SCN

GPSについて

■本機の地名情報について
お使いの前に、「地名・地図データ使用許諾契約書」を必ずお読みください。(→188)

■[GPS設定]を[ON]に設定していると、電源をOFFにしても、GPS機能が働きます
- 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内(離着陸時)や使用を禁止された区域では、[GPS設定]を[OFF]、または[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源をOFFにしてください。(→128、134)
- [GPS設定]が[ON]のときは、[機内モード]が[OFF]の場合、電源をOFFにしていてもバッテリーが消耗します。

■撮影地の情報について
- 撮影地の地名やランドマーク(建物の名称など)は、2011年12月現在のものです。更新はされません。
- 国や地域により、地名やランドマークの情報が少ない場合があります。

■測位について
- GPS衛星からの電波が受信しにくい環境では、測位に時間がかかります。(→127)
- **初めて測位するときや、[GPS設定]を[OFF]、または[機内モード]を[ON]にして電源を切ると、再び電源を入れて測位した場合、電波の受信状態が良くても測位成功までに約2～3分かかります。**
  GPSアシストデータを使うと、測位時間を短縮できます。(→140)
- GPS衛星の位置は刻々と変化していますので、撮影する場所や状況により、正しく測位できなかったり、誤差が生じる場合があります。

■海外旅行などでお使いの場合
- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近でGPS機能が働かない場合があります。(2011年12月現在)
- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されている場合があります。本機にはGPS機能がありますので、海外旅行などで外国に持ち込む場合は、事前にGPS機能付きカメラについて持ち込み制限などがないか、大使館や旅行代理店などにご確認ください。

付属品

	オーダー番号
バッテリーパック BP-DC7-E BP-DC7-U	 18 701 18 702
ACアダプター ACA-DC11-U ACA-DC11-K ACA-DC11-E ACA-DC11-B ACA-DC11-A ACA-DC11-C	 423-106.001-003 423-106.001-004 423-106.001-005 423-106.001-006 423-106.001-007 423-106.001-008 （仕向け地により異なります）
ハンドストラップ	423-068.801-015
CD-ROM（取扱説明書収録）	423-106.001-023
DVD（Adobe® Photoshop® Elements® 収録）	423-106.001-021
DVD（Adobe® Premiere® Elements® 収録）	423-106.001-022
DVD（LEICA Map Tool 収録）	423-106.001-020
USB接続ケーブル	423-105.001-010
AVケーブル	423-106.001-009
ボタン表示シール（カナダ/台湾向け）	423-083.001-026 / -027
取扱説明書（本書）	93 433 - 93 436（仕向け地により異なります）
保証書	439-399.100-026

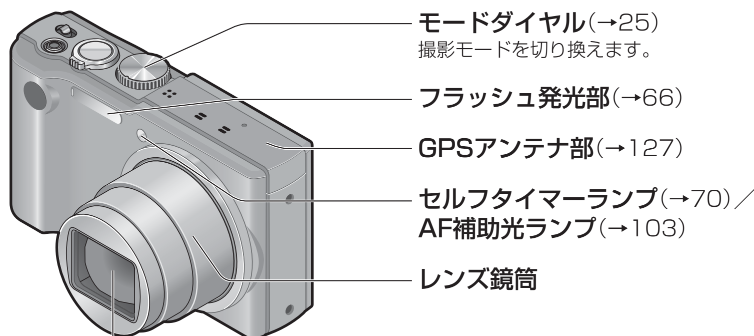
別売品のご紹介

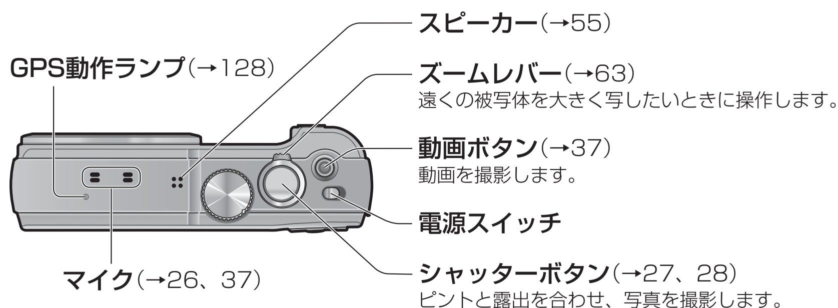
	オーダー番号
レザーケース	18 751
HDMIミニケーブル	14 491
ミニ・トライポッド	14 320
卓上三脚	14 100
自由雲台	14 110

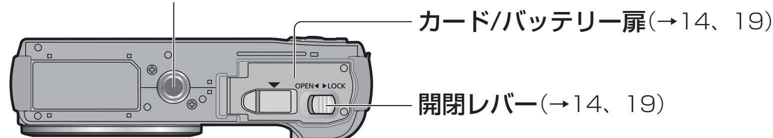
おしらせ

- メモリーカードは別売です。カードがないときは、内蔵メモリーを使って、画像を撮影したり再生したりできます。
- お使いの前に、付属品をご確認ください。
- 付属品の種類や形状は、購入された国や地域によって異なる場合があります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

各部の名前と働き







●製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。

液晶モニター
(→55、62、170)

撮影/再生切換スイッチ(→25)
撮影モード/再生モードを切り換えます。

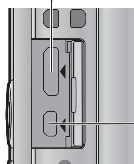


落下防止のため、ハンドストラップの使用をお勧めします。

[EXPOSURE]/[MAP]ボタン
(→73、145)
撮影モード時：シャッタースピードや絞りを設定するときに操作します。(A、S、M モード時のみ)
再生モード時：地図を表示します。

[DISP.]ボタン
(→62)
画面の表示を切り換えます。

充電ランプ(→16)



HDMI端子
(→155、157)

AV OUT/DIGITAL端子
(→15、155、164、166)

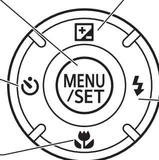
[Q.MENU]/[㎡ / ↩]ボタン
撮影モード時：クイックメニュー表示(→53)
再生モード時：画像消去(→49)
メニュー操作時：元の画面に戻る

カーソルボタン

[MENU/SET]
- メニュー表示・設定など(→51)

左カーソルボタン(◀)
- セルフタイマー(→70)

下カーソルボタン(▼)
- マクロ撮影など(→68)



上カーソルボタン(▲)
- 露出補正、オートブラケットなど(→71、72)

右カーソルボタン(▶)
- フラッシュ(→66)

●本書では、操作するボタンを ▲ ▼ ◀ ▶ で表しています。

タッチパネルを使う

本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。

画面をタッチする タッチパネルを押して離す動作です。	**ドラッグする** タッチパネルを押したまま動かす動作です。
タッチパネルに表示されるアイコンや画像を選択するときなどに使います。 • 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。	画面を水平にドラッグして画像を送ったり、画像の表示範囲を変更するときなどに使います。

●市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。（液晶保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
●市販の保護シートを貼り付けて使用している場合や、反応しにくいと感じるときは、少し強めにタッチしてください。
●本機を持つ手がタッチパネルを押さえていると、タッチパネルは正常に動作しません。
●ボールペンや爪など、先のとがった硬いもので押さないでください。
●液晶モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
●タッチパネルに表示されるアイコンについては、「液晶モニターの表示一覧」をお読みください(→170)。

バッテリーを充電する

• **本機専用のACアダプター(付属)、USB接続ケーブル、バッテリーを使用してください。**

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
• 本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

本機の状態	充電
電源オフ(スリープモード(→57)を含む)	できます
電源オン	できません※

※ 再生時のみ、USB接続ケーブルを経由して、電源コンセントから電力が供給(給電)されます。(バッテリーは充電されません)

●バッテリーの残量がないときは、電源のON/OFFにかかわらず、充電を行うことがあります。
●バッテリーが入っていないときは、充電または給電はされません。

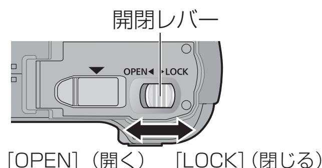
■本機で使えるバッテリー

ライカカメラAG製純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。
ライカカメラAGでは模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。安全に商品をご使用いただくために、ライカ純正バッテリーBP-DC7のご使用をおすすめいたします。(→9)

バッテリーを入れる

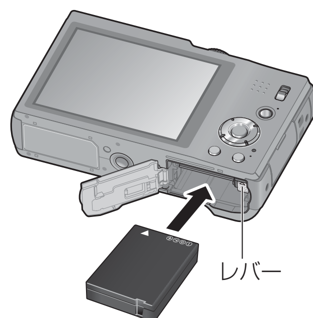
バッテリーをカメラに入れて充電します。
- 電源をOFFにしておく。

1 開閉レバーを[OPEN]にして、カード/バッテリー扉を開ける



2 バッテリーを奥まで入れる

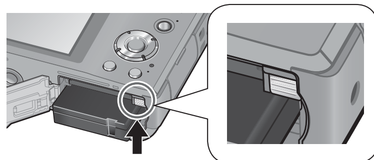
- バッテリーを正しい方向に挿入し、バッテリーにグレーのレバーがかかっていることを確認する。



3 カード/バッテリー扉を閉める

- 開閉レバーを[LOCK]にする

■取り出すとき
レバーを矢印方向へ引く。



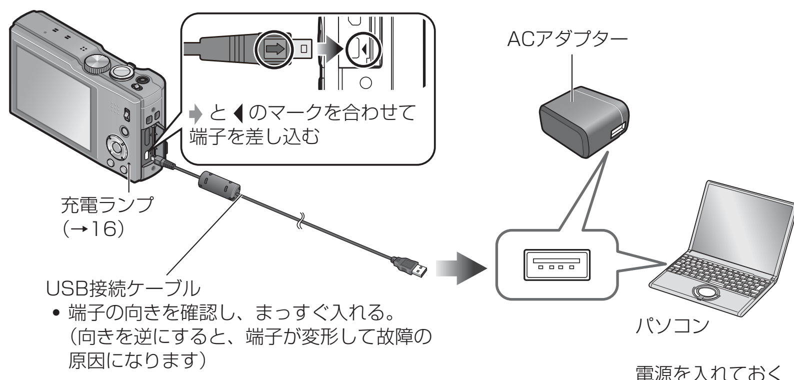
●必ず本機専用のライカ純正バッテリーBP-DC7を使用してください(→9)。
●ライカカメラAGでは、他社製バッテリーの品質については一切保証できません。
●**使用後は、バッテリーを取り出してください。**
- 保管時や運搬時にはバッテリーをビニール袋に入れ、クリップなどの金属類に触れないようにしてください。

●バッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLEICA表示が消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

充電する

充電は周囲の温度が10℃～30℃（バッテリーの温度も同様)のところで行うことをお勧めします。

電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。



■電源コンセントから充電する場合

ACアダプター(付属)と本機をUSB接続ケーブルでつなぎ、ACアダプター(付属)を電源コンセントに差し込む

- ACアダプター(付属)は屋内で使用してください。

■パソコンから充電する場合

パソコンと本機をUSB接続ケーブルでつなぐ。

- ●パソコンの仕様によっては、充電できないことがあります。
- ●充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- ●電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- ●必ずパソコンのUSB端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。

■充電ランプの表示について

点灯：充電中
消灯：充電終了
（充電終了後は、電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください）

■充電時間について

充電時間	約260分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温／低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- パソコンからの充電時間は、パソコンの能力によって異なります。

●付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
●USB延長ケーブルは使用しないでください。
●ACアダプター（付属）とUSB接続ケーブルは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
●停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。USB接続ケーブルを抜き、接続し直してください。
●ACアダプター（付属）やパソコンにつないでも本機の充電ランプが点灯しない場合や点滅する場合は、充電に適した温度範囲ではないため、充電を一時停止している状態であり、本機の異常ではありません。周囲の温度が10℃～30℃（バッテリーの温度も同様）のところでUSB接続ケーブルをつなぎ直し、再度充電をお試しください。

バッテリー残量の表示



バッテリー残量表示



赤点滅したら、バッテリーを充電または交換してください。

撮影可能枚数や使用時間の目安

撮影枚数や使用時間は、周囲の環境や使用条件などに影響を受けます。フラッシュやズームなどを多用した場合や寒冷地の低温下などでは、減少する場合があります。

■写真撮影

記録可能枚数	約260	CIPA規格に基づく
撮影使用時間	約130分	

●CIPA規格の撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23℃／湿度50%RH
- プログラムAEモード
- GPS設定：[OFF]
- SDメモリーカード(32MB)使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れ、30秒後に撮影開始(手ブレ補正：[ON])
- 30秒間隔で、1枚撮影
- フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとにズーム操作(W端→T端、またはT端→W端)
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます

撮影間隔が長いと枚数は減り、例えば上記の撮影条件において2分間隔で撮影した場合は約1/4になります。

■動画撮影

撮影モード	AVCHD		MP4
画質設定	GPH/PSH	GFS/FSH	FHD
撮影可能時間※1	約55分	約65分	約70分
実撮影可能時間※2	約30分	約35分	約40分

●撮影条件

- 温度23℃／湿度50%RH
- GPS設定：[OFF]

※1 **カメラモデル18 176 / 18 177の場合**
AVCHD[GPH] [PSH] [GFS] [FSH]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです(→107)。
MP4で動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです。ただし、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。この場合、[FHD]の連続記録可能時間は、約27分12秒です。画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

カメラモデル18 175の場合
動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです。
MP4で動画を連続で撮影できるのは、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。この場合、[FHD]の連続記録可能時間は、約27分12秒です。画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

※2 実撮影可能時間とは、電源のON/OFF、撮影の開始と終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

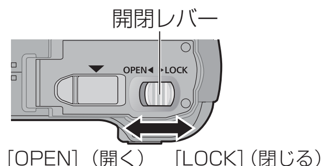
■再生

再生使用時間	約160分

カードを入れる・取り出す

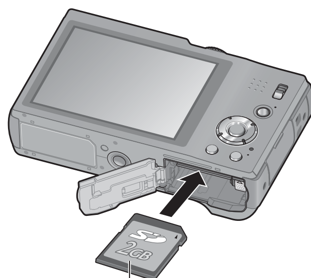
• 電源をOFFにしておく。

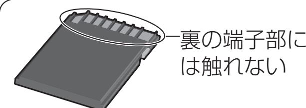
1 開閉レバーを[OPEN]にして、カード/バッテリー扉を開ける



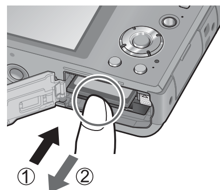
2 カードを奥まで入れる
• 「カチッ」と音がするまで押し込む

3 カード/バッテリー扉を閉める
• 開閉レバーを[LOCK]にする。





■取り出すとき
カードを音がするまで押し込み、まっすぐ引き抜く。



●誤飲防止のため、メモリーカードはお子様の手の届かない所に保管してください。
●カードの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLEICA表示が消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

画像保存先(カード／内蔵メモリー)

カードを入れているときはカード、入れていないときは内蔵メモリー[IN]に保存されます。

■内蔵メモリー(約12 MB)

●写真のみ保存できます。
●**カードと内蔵メモリー間で画像をコピーできます。(→126)**
●カードよりも保存に時間がかかることがあります。

■カードに保存するとき

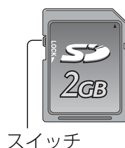
SD規格に準拠した次のカードが使用できます。

カードの種類	容量	備考
SDメモリーカード	8 MB～2 GB	• 動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。 • それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。 • SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 • 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード	4 GB～32 GB	
SDXCメモリーカード	48 GB、64 GB	

※SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

（例）　CLASS4　　4

●パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(→60)
●書き込み禁止スイッチを[LOCK]にすると、撮影や消去、フォーマットなどができません。
●大切な画像はパソコンなどへの保存をお勧めします。
(電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります)



スイッチ

記録可能枚数・時間の表示



残り記録可能枚数・時間の目安([DISP.]ボタンを押して切り換え)

カードを入れていないときに表示(内蔵メモリーに保存されます)

アクセス中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(付属)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。
カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は、再度操作してください。

記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。(撮影条件、カードの種類により変化します)

■記録可能枚数(写真：枚)

記録画素数	内蔵メモリー	2 GB	32 GB	64 GB
4:3 14 M	1	330	5490	10980
4:3 5 M	3	650	10620	21490
4:3 0.3 M	67	10050	162960	247150

- 記録可能枚数が99999枚を超える場合は、[+99999]と表示されます。

■記録可能時間(動画撮影時)

(h：時間、m：分、s：秒)

撮影モード[AVCHD]の場合

画質設定	内蔵メモリー	2 GB	32 GB	64 GB
GPH/PSH	–	8 m 00 s	2 h 31 m 00 s	5 h 07 m 00 s
GFS/FSH/GS/SH	–	14 m 00 s	4 h 10 m 00 s	8 h 26 m 00 s

- **カメラモデル18 176 / 18 177の場合**
  AVCHD[GPH] [PSH] [GFS] [FSH]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです(→107)。
  画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

撮影モード[MP4]の場合

画質設定	内蔵メモリー	2 GB	32 GB	64 GB
FHD	–	12 m 07 s	3 h 23 m 02 s	6 h 51 m 01 s
HD	–	23 m 08 s	6 h 27 m 38 s	13 h 04 m 41 s
VGA	–	50 m 56 s	14 h 13 m 08 s	28 h 46 m 57 s

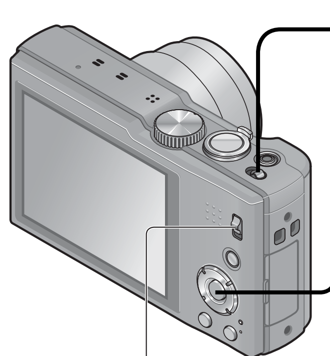
- **カメラモデル18 176 / 18 177の場合**
  MP4で動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです。ただし、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。この場合、[FHD]の連続記録可能時間は、約27分12秒です。画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

- **カメラモデル18 175の場合**
  動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです。
  MP4で動画を連続で撮影できるのは、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。この場合、[FHD]の連続記録可能時間は、約27分12秒です。画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

●地図データをカードにコピーすると、カードの記録可能枚数･時間が減少します。(→149)

時計を合わせる

お買い上げ時は日時が設定されていません。
電源を入れる前に、撮影/再生切換スイッチを[📷]に合わせてください。



1 電源を[ON]にする

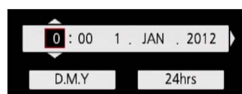


2 メッセージが表示されているときに[MENU/SET]を押す

3 ▲▼で表示言語を選び、[MENU/SET]を押す

4 「時計を設定してください」と表示されます。
[MENU/SET]を押す

5 ◀▶を押して項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲▼を押して設定する



- 中止するとき→[🗑 / ↩]ボタンを押す

6 [MENU/SET]を押して設定する

7 [MENU/SET]を押す

- 前の画面に戻るとき
→[🗑 / ↩]ボタンを押す

(次ページに続く)

8 GPS機能を使って自動で時刻を補正する場合は ◀ で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 日時を手動で設定するとき→[いいえ]を選ぶ
- GPS機能を使って時計を自動で合わせる設定にすると、[GPS設定]が[ON]に設定されます。

9 [ホームエリアを設定してください]と表示されたら、[MENU/SET]を押す

10 ◀▶ でお住まいの地域を選択し、[MENU/SET]を押す

都市・地域名　現在時刻



GMT(グリニッジ標準時)との時差

時計を合わせ直す

日時を合わせ直すときは、セットアップメニューまたは撮影メニューから[時計設定]を選んで設定します。
- 時計設定はバッテリーを取り出しても、約3か月記憶します。(満充電のバッテリーを入れて約24時間経過した場合)

1 セットアップメニューまたは撮影メニューから[時計設定]を選ぶ

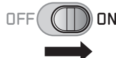
- セットアップメニューの設定について詳しくは(→51)

2 日時と表示方法を設定する(手順 5 - 6 を行う(→23))

●時計を設定しないと、お店にプリントを依頼するときや、[日付焼き込み]、[文字焼き込み]を使って、正しい日付をプリントできません。
●時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

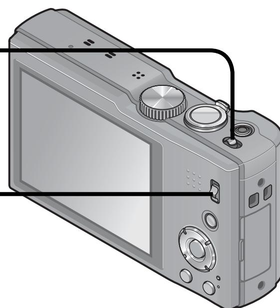
操作の流れ

1 電源を入れる



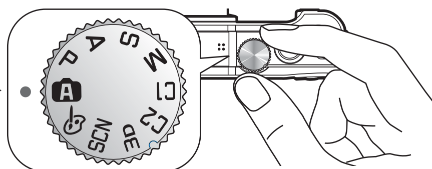
2 撮影モードにする





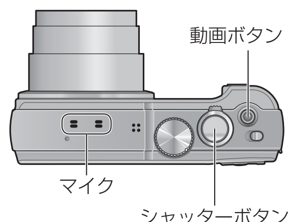
3 お好みの撮影モードに合わせる

使うモードに確実に合わせる →



(A)	**スナップショットモード**	カメラにおまかせで撮る。(→31)
P	**プログラムAEモード**	お好みの設定で撮る。(→27)
A	**絞り優先AEモード**	絞り値を決めて撮る。(→73)
S	**シャッター優先AEモード**	シャッタースピードを決めて撮る。(→74)
M	**マニュアル露出モード**	絞り値とシャッタースピードを決めて撮る。(→75)
C1 C2	**カスタムモード**	あらかじめ登録しておいた設定で撮る。(→85)
3D	**スライド3D撮影モード**	3D写真を撮る。(→84)
SCN	**シーンモード**	場面に合わせて撮る。(→78)
	クリエイティブコントロールモード	お好みの効果を選んで撮る。(→76)

4 カメラを構えて撮影する



■写真を撮る場合

① シャッターボタンを軽く押してピントを合わせる
② シャッターボタンを押し込んで撮影する

■動画を撮る場合

① 動画ボタンを押して撮影を開始する
② 撮影を終了するときに、もう一度動画ボタンを押す

■カメラの構え方



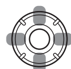
• 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開く。
• レンズを触らない。
• 動画撮影の際、マイクを指で塞がない。
• フラッシュ発光部、AF補助光ランプを塞がない、近くで見ない。
• シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつける。

●落下防止のため、ハンドストラップの使用をお勧めします。

5 再生モードにする

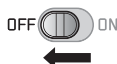


6 画像を見る(→42、45)



• ◀▶ で画像を選ぶ
• ▲ を押して動画やパノラマ写真を見る

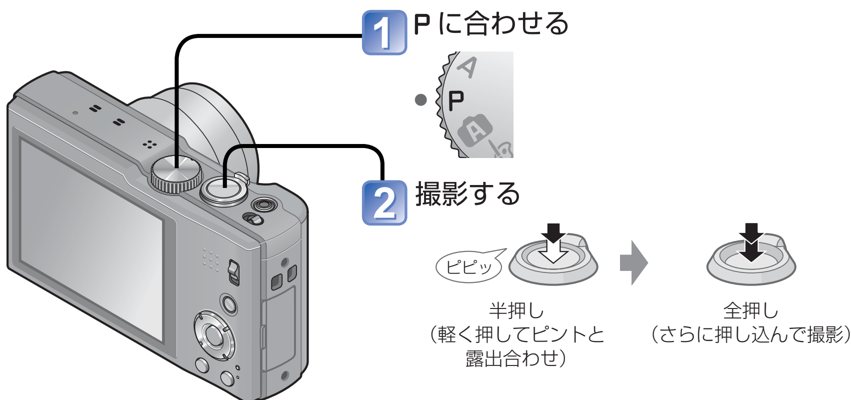
7 電源を切る



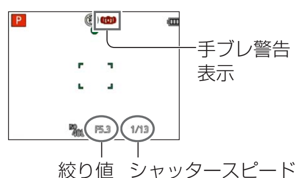
お好みの設定で撮る（プログラムAEモード）

撮影モード：

撮影メニューなど、各種設定を変えて、お好みの設定で撮影できます。
- 撮影/再生切換スイッチを[ ]に合わせてください。



●手ブレ警告表示が表示されたときは、[手ブレ補正]、三脚、[セルフタイマー]などを使用してください。
●絞り値やシャッタースピードが赤色で表示されているときは、適正露出になっていません。フラッシュを使うか、[ISO感度]の設定を変えるか、下限シャッター速度の設定をより低速にしてください。

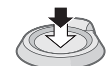


ピントの合わせ方

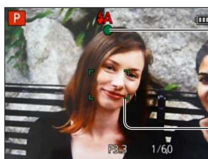
[オートフォーカスモード]が ■(1点)の場合は、中央部にピントを合わせます。撮りたいものが中央にないときは、次のようにして撮影してください。

1 被写体にピントを合わせる

AFエリアを
被写体に合わせ



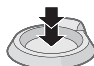
半押しのまま



フォーカス表示
(ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅)

AFエリア
(被写体にピントを合わせる。
ピントが合う：緑
ピントが合わない：赤)

2 撮りたい構図に戻し、撮影する



全押し

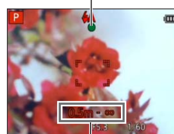


AFエリア

- 次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
  - 動きの速い被写体
  - 非常に明るい、または濃淡のないもの
  - ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
  - 暗いときや手ブレしているとき
  - 被写体に近すぎるとき
  - 遠くと近くを同時に撮るとき

- ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅し、[ピピピピッ]と音がします。
  ピントの合う範囲が赤色で表示されますので、参考にしてください。なお、範囲外ではフォーカス表示が点灯しても、ピントが合っていないことがあります。
- 暗いときやズーム倍率によっては、AFエリアが大きく表示される場合があります。

フォーカス表示



ピントが合う範囲

画面をタッチして撮影する
（タッチシャッター）

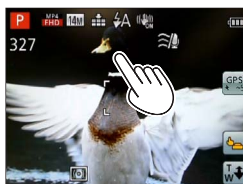
画面に表示されている被写体をタッチするだけで、ピントを合わせて写真を撮影します。

1 画面の [アイコン] をタッチする



- アイコンが [アイコン] に変わり、タッチシャッター撮影が可能になります。

2 撮影したい被写体をタッチする



- タッチした場所にピントを合わせて、撮影します。
- タッチシャッターを解除するとき
  → [アイコン] をタッチする

●動画は撮影できません。
●画面の端では、タッチシャッターが働きません。
●意図せずにタッチパネルに触れた場合にもタッチシャッターが働きますのでお気をつけください。
●タッチシャッターの設定は、電源スイッチを［OFF］にしても記憶しています。

画面をタッチしてピントや露出を合わせる
（タッチAF／タッチAE）

画面に表示されている被写体をタッチして、ピントや露出を合わせることができます。
- タッチシャッター（→29）を解除した状態で行ってください。

1 ピントや露出を合わせたい場所をタッチする



- [オートフォーカスモード]が （顔認識）のときは、引き続き顔の検知を行いますが、ピントはタッチしたところに合わせます。
- [オートフォーカスモード]が （追尾AF）のときは、被写体をロックし、動きに合わせて自動でピントと露出を合わせ続けます。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

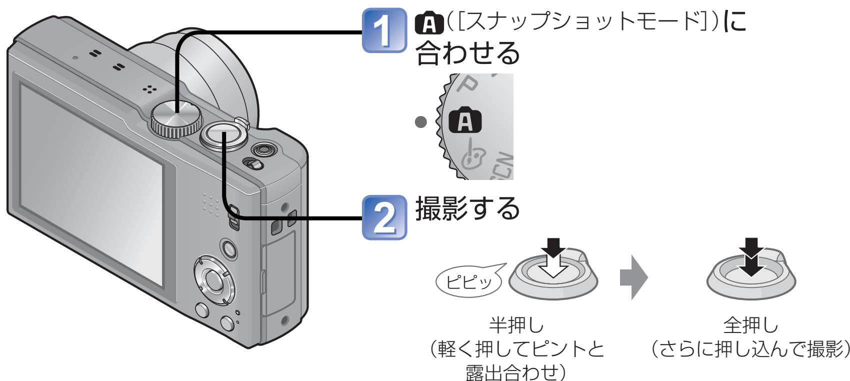
- タッチAF/タッチAEを解除するとき→ をタッチする

●被写体が小さい、撮影場所が暗いなど、撮影状況によっては、タッチAF/タッチAEに失敗することがあります。
●画面の端では、タッチAF/タッチAEが働きません。
●スナップショットモード時は、タッチした被写体に最適なシーンを判別します。

おまかせで撮る（スナップショットモード）

撮影モード：[A] P A S M C1 C2 3D SCN

カメラを被写体に向けると、「顔」「動き」「明るさ」「距離」などの情報から自動で最適な設定になるので、カメラまかせできれいに撮影できます。
• 撮影/再生切換スイッチを[ ]に合わせてください。



フォーカス表示
（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）

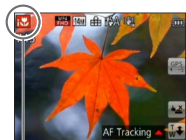


フラッシュについて

▶ を押して [i⚡A]（iオート）または [⊛]（発光禁止）を選びます。
● [i⚡A] のとき、状況に応じて自動で最適なフラッシュ（i⚡A、i⚡A◎、i⚡S◎、i⚡S）に切り換わります。
● i⚡A◎ と i⚡S◎ は、赤目軽減機能が働きます。
● i⚡S◎ と i⚡S は、シャッタースピードが遅くなります。

自動シーン判別

カメラを被写体に向けると自動でシーンを判別し、最適な設定に自動調整します。



判別した各シーンのアイコン

	[i人物]
	[i赤ちゃん]※1
	[i風景]
	[i夜景＆人物]※2（ 選択時のみ）
	[i夜景]※2
	[i手持ち夜景]※3
	[iマクロ]
	[i夕焼け]
	どのシーンにも当てはまらないとき

※1 個人認証機能で登録した乳幼児(3歳未満)を認識したとき
※2 三脚やセルフタイマーをお勧めします。
※3 [i手持ち夜景]が[ON]の場合

● 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
● 意図したシーンにならないときは、目的にあったシーンモードで撮影することをお勧めします。
● 、、 では、顔認識が働き、認識した顔にピントや露出を合わせます。
● 逆光補正について
逆光とは、被写体の重要な部分が暗くなり、露出不足で撮影される状況をいいます。スナップショットモード時は、逆光補正が自動で働きます。画像全体を明るくすることで、露出を補正します。逆光を判別すると、画面に が表示されます。（逆光の状況によっては、正しく判定されない場合があります）

Happyカラーについて

[カラーモード]を[Happy]に設定すると、写真も動画もはっきりとした、鮮やかな色調で記録されます。

■設定

① [MENU/SET]を押す
② カーソルボタンで[撮影]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③ カーソルボタンで[カラーモード]を選び、[MENU/SET]を押す
④ カーソルボタンで[Happy]を選び、[MENU/SET]を押す

ブレピタモード

[ブレピタモード]を[ON]に設定すると、被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。

■設定
① [MENU/SET]を押す
② カーソルボタンで[撮影]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③ カーソルボタンで[ブレピタモード]を選び、[MENU/SET]を押す
④ カーソルボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

● [ブレピタモード]を[ON]に設定すると、画面に が表示されます。
●設定している画素数より小さいサイズで記録される場合があります。

i 手持ち夜景

[i手持ち夜景]を[ON]に設定すると、手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、手ブレとノイズの少ない写真を記録できます。

■設定
① [MENU/SET]を押す
② カーソルボタンで[撮影]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③ カーソルボタンで[i手持ち夜景]を選び、[MENU/SET]を押す
④ カーソルボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

●三脚などでカメラを固定しているときは、[i手持ち夜景]と判別されません。

i HDR(逆光補正)

[iHDR]を[ON]に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。

■設定

① [MENU/SET]を押す
② カーソルボタンで[撮影]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③ カーソルボタンで[iHDR]を選び、[MENU/SET]を押す
④ カーソルボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

●画面に ※が表示されている場合のみ、必要に応じて自動で働きます。
※ アイコンは逆光が感知されたときに表示されます。
●次の場合、連写合成は行われません。
- ズーム倍率が20倍を越える場合
- 連写を設定している場合

●[iHDR]が[OFF]になっていても、逆光を感知した場合は逆光補正が自動で働き、画像を明るくすることにより自動で補正します。
●連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。

追尾AF

被写体が動いていてもピントや露出を合わせ続けることができます。

■タッチパネル操作時

タッチシャッター(→29)を解除した状態で行ってください。

1 被写体をタッチする

- ロックする被写体を切り換えるとき→別の被写体をタッチする
- 追尾AFを解除するとき→ [アイコン] をタッチする



追尾AF枠
AFロックに成功：黄
AFロックに失敗：赤

■ボタン操作時

1 ▲ を押してオートフォーカスモードを追尾AFにする

- 追尾AFを解除するとき→ ▲ を押す

2 被写体を追尾AF枠に合わせ、▼ を押してロックする

- ロックを解除するとき→ ▼ を押す



追尾AF枠
AFロックに成功：黄
AFロックに失敗：赤

●AFロックした被写体に最適なシーンを自動で判別します。
●追尾AF時、個人認証は働きません。
●被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾AFが正しく動作しない場合があります。

スナップショットモードの制限

スナップショットモードで表示されないメニュー項目は設定できません。
表示されないセットアップメニューの項目は、プログラムAEモードなどで設定した内容が反映されます。

- 以下の項目では、他の撮影モードと設定できる内容が異なります。
  - 撮影メニューの[記録画素数]、[連写]、[カラーモード]
  - セットアップメニューの[操作音]
- 次の機能は固定されます。

セットアップメニュー
- オートレビュー：2秒
- ガイドライン表示：田
- スリープモード：5分

撮影メニュー
- クオリティ：(ファイン)
- 手ブレ補正：ON
- AF補助光：ON
- 測光モード：(マルチ測光)
- 超解像：iA ZOOM
- ホワイトバランス：AWB
- ISO感度：ISO
- オートフォーカスモード：(顔認識)※
- クイックAF：ON
- 暗部補正：中
- デジタル赤目補正：ON

※顔が認識できないときは (23点)

動画メニュー
- AF連続動作：ON
- 風音低減：AUTO

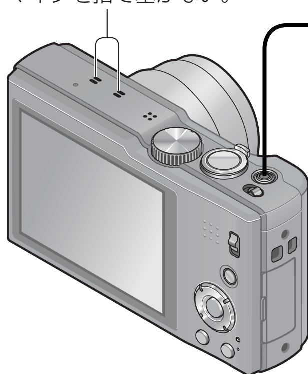
- 次の機能は使えません。
  [ヒストグラム表示]［露出補正］［オートブラケット］［ホワイトバランス微調整］
  ［下限シャッター速度］［デジタルズーム］

動画を撮る

撮影モード：🄰 P A S M C1 C2 3D SCN 🎨

音声(ステレオ)付き動画を記録します。
- 撮影/再生切換スイッチを[📷]に合わせてください。
- 内蔵メモリーには記録できません。

マイクを指で塞がない。



1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

撮影モード(→106)と画質設定(→107)



撮影経過時間　残り撮影可能時間(目安)

- 動画ボタンは押したあと、すぐに放してください。
- 動画撮影中も、ズーム操作ができます。
  - ズームスピードは通常より遅くなります。
  - 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 動画撮影中に写真を撮ることができます。(→41)

2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

■動画記録方式について

本機はAVCHD、MP4の2種類の記録方式([撮影モード])で動画撮影ができます。

AVCHDとは：

高精細なハイビジョン映像を記録できます。ハイビジョン対応テレビでの鑑賞や、ディスクの保存に適した記録方式です。

AVCHD Progressiveとは：

カメラモデル18 176 / 18 177の場合

[AVCHD]の[GPH] [PSH]はAVCHD規格に準拠した最高画質※で記録できる1920×1080/60p記録モードです。

カメラモデル18 175の場合

[AVCHD]の[GPH] [PSH]はAVCHD規格に準拠した最高画質※で記録できる1920×1080/50p記録モードです。

本機または付属のソフトウェアで保存や再生が可能です。
(※ 本機においての最高画質を意味します)

MP4とは：

単体の動画ファイルとして保存されるため、パソコンでの編集やWEBアップロードに適した記録方式です。

■撮影した動画の互換性について

[AVCHD]および[MP4]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- [AVCHD]の[GPH] [PSH]で撮影した動画は、AVCHD Progressiveに対応した機器で再生することができます。

■P での動画撮影

お好みの設定で動画を撮影します。

• 絞りやシャッタースピードは自動で設定されます。

■ での動画撮影

カメラが自動的にシーンを判別し、最適な設定で動画を撮影します。

どのシーンにも当てはまらないとき	(i人物)	(iローライト)
	(i風景)	(iマクロ)

• (i人物)のときは、認識した顔にピントや露出を合わせます。
• 夜景など、暗いシーンでは (iローライト)となります。
• 意図したシーンにならないときは、目的にあったモードで撮影することをお勧めします。
• 動画メニューのうち、[撮影モード]と[画質設定]が設定できます。

■その他の撮影モードでの動画撮影

詳しくは、それぞれの撮影モードのページをお読みください。

• シーンモードの[パノラマ]では、動画撮影できません。

- **周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、⚠ が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。（[画質設定]が[GPH]［PSH］［GFS］[FSH]の場合のみ）**
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 記録・消去を何度も繰り返していると、SDカードの記録可能時間が短くなる場合があります。そのときは、本機でSDカードをフォーマットしてください。フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。
- 手ブレ補正は、動画撮影前の設定にかかわらず働きます。
- 次の機能は使えません。
  EX光学ズーム、フラッシュ、個人認証、縦位置撮影時の自動回転表示
- カードによっては、途中で撮影が終了することがあります。
- 動画は写真に比べて撮影範囲が狭くなる場合があります。また、画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。動画記録枠表示（→56）を[ON]にすると、撮影できる範囲が表示されます。
- 動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

動画撮影中に写真を撮影する

動画撮影中でも、同時に写真を撮影できます。

1 動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

画像横縦比が 16:9、記録画素数が3.5 Mの写真が撮影されます。（最大15枚まで）
動画撮影は、そのまま継続します。
- シャッターボタンの操作音が記録される場合があります。
  操作音が気になる場合はタッチシャッターの使用をお勧めします。
- ズーム中に写真を撮影する場合、ズームが止まる場合があります。

■連写撮影について

あらかじめ、連写が設定されていると、動画撮影中に連写撮影できます。
- 連写を 40、60 または ⚡ に設定しているときは、自動的に 10 で撮影されます。
- 2AF や 5AF に設定していても、ピントは1枚目に固定されます。

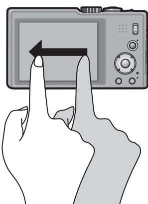
●タッチシャッター機能を設定している場合は、動画撮影中に意図せずにタッチパネルに触れた場合でも写真を撮影します。
●動画撮影中にシャッターボタンの半押し、またはタッチシャッターでの写真撮影を行うと、ピントを合わせ直すため、撮影中の動画にもピント合わせの動きが記録されます。動画の映像を優先する場合は、シャッターボタンを全押しして写真を撮影してください。動画撮影後に写真を作成することもできます。（→47）
●シャッターボタンを半押しすると、記録画素数と記録可能枚数が表示されます。
●次の場合は、写真を記録できません。
- 画質設定が［VGA］の場合
- ハイスピード動画の場合
- クリエイティブコントロールモードの［ソフトフォーカス］

●フラッシュは ⚡（発光禁止）になります。
●電子シャッターでの撮影になるため、撮影された画像にゆがみが生じる場合があります。

画像を見る
(通常再生)

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。
- 撮影/再生切換スイッチを[▶]に合わせてください。

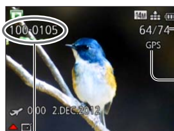
1 画面を水平にドラッグして再生する画像を選ぶ



次の画像に送る：右から左にドラッグ
前の画像に戻す：左から右にドラッグ
- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。
(画像は縮小して表示されます)

- カーソルボタンの ◀▶ を押しても、画像を送ることができます。また、押したままにすると早送り／早戻しできます。

2 画像を見る



画像番号／トータル枚数
位置情報、地名情報あり(→130)
フォルダー／ファイル番号

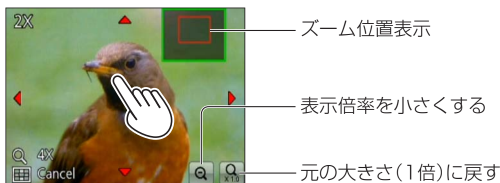
- パソコンで編集した画像は、本機で再生できない場合があります。
- 電源を入れた状態で撮影/再生切換スイッチを 📷 から ▶ に切り換えると約15秒後にレンズ鏡筒が格納されます。
- 本機は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。
DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

拡大して見る（再生ズーム）

1 拡大したいところをしっかりとタッチする

タッチするごとに2／4／8／16倍にズームします。（表示画質は粗くなる）
- ズームレバーをT側に回しても拡大できます。

2 画面をドラッグして、拡大部分の位置を移動する

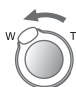


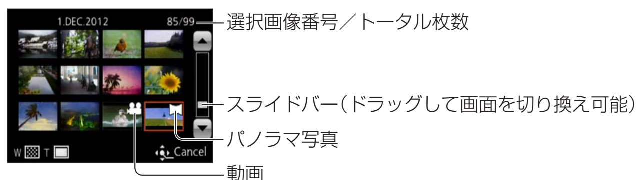
- ズームレバーをW側に回しても拡大倍率を小さくできます。
- カーソルボタンでも拡大部分の位置を移動できます。

●動画再生時は、再生ズームは使えません。

画像を一覧で見る（マルチ再生）

1 ズームレバーをW側に回す





- ズームレバーをさらにW側に回すと、12画面表示→30画面表示→カレンダー再生に切り換わります。（T側に回すと戻ります）
- 12画面または30画面で画像をタッチすると、1画面表示されます。

●[!]と表示される画像は再生できません。

画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生）

1 ズームレバーを何度かW側に回す

2 表示する撮影日をタッチし、[決定]をタッチする

月を選択



選んだ日付に撮影された画像が12画面表示されます。

- カーソルボタンで撮影日を選び、[MENU/SET]を押しても決定できます。

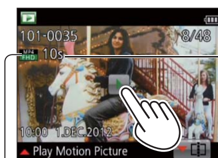
●カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、時計設定せずに撮影した画像は、2012年1月1日に表示されます。
●[ワールドタイム]で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHD、MP4またはQuickTime Motion JPEGです。
- 撮影/再生切換スイッチを[▶]に合わせてください。

1 動画アイコンが付いた画像を選び、▶ をタッチする

再生が始まります。
- ▲ を押しても再生できます。



動画記録時間
例）10分30秒のとき：10m30s

動画アイコン（[撮影モード]や[画質設定]により異なる）

■動画再生中の操作

① 画面をタッチしてコントロールパネルを表示する
② コントロールパネルをタッチして操作する
- 約2秒間何も操作しないと、コントロールパネルは消えます。



コントロールパネル
▶/II：一時停止／再生　■：終了
📷：写真切り出し（→47）
◀◀：早戻し（2段階）
◀II：（一時停止中）コマ戻し
▶▶：早送り（2段階）
II▶：（一時停止中）コマ送り

再生バー（タッチ操作で再生位置を移動）

音量レベル　音量調整

●カーソルボタンでも操作できます。
▲：一時停止／再生
▼：終了
◀：早戻し(2段階)／(一時停止中)コマ戻し
▶：早送り(2段階)／(一時停止中)コマ送り
[MENU/SET]：写真切り出し(→47)

- 音量はズームレバーで調整できます。

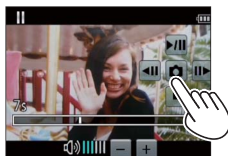
●他機で撮影した動画は、正しく再生できないことがあります。
●[AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報が表示されません。
●パソコンで見る場合は、付属のソフトウェアで再生できます。
●**カメラモデル18 176 / 18 177の場合**
クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]で撮影された動画は、約10倍の速度で再生されます。
カメラモデル18 175の場合
クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]で撮影された動画は、約8倍の速度で再生されます。

動画から写真を切り出す

動画のワンシーンを写真にして保存します。

1 動画再生中に一時停止して、写真にしたい画像を表示する

2 📷 をタッチする



• 確認画面が表示されます。
カーソルボタンで[はい]を選ぶと写真が保存されます。

• [MENU/SET]を押しても、写真を切り出すことができます。

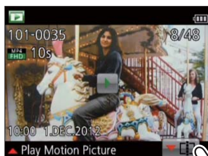
元の動画の[画質設定]	[記録画素数]	[画像横縦比]
[GPH] [GFS] [GS] [PSH] [FSH] [SH] [FHD] [HD]	2 M	16:9
[VGA] [ハイスピード動画]	0.3 M	4:3

●元の動画の画質設定により、画質が少し粗くなります。
●他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。

動画を分割する

1つの動画を2つに分割できます。必要なシーンのみ残したいときや、旅先などでカードの空き容量を増やすために不要なシーンを消去したいときに便利です。

1 分割する動画を選び、[▼] をタッチする



• ▼ を押しても、動画分割の操作に移行できます。

2 分割する場所で一時停止する

3 [✂] をタッチする



• 確認画面が表示されます。
カーソルボタンで[はい]を選ぶと分割されます。
• **分割した元の動画は残りません。**
（分割後の2つの動画のみになります。）
• ▼ を押しても、分割できます。

●分割中は、電源を切ったり、カードやバッテリーを抜かないでください。動画が消失するおそれがあります。
●[MP4]または[ハイスピード動画]で撮影した動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。[カレンダー検索]（カレンダー再生）や[絞り込み再生]で表示することをお勧めします。
●他機で撮影された動画は動画分割できない場合があります。
●撮影時間が短い動画は分割できません。

写真や動画を消す（消去）

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を消去します。（一度消した画像は元に戻せません）



1 消去する画像を表示中に押す





- 確認画面が表示されます。カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す。

●消去中は、電源を切らないでください。
●十分に充電したバッテリーをご使用ください。
●次の場合は、削除できません。
- プロテクトした画像
- カードの書き込み禁止スイッチが[LOCK]になっている
- DCF規格(→42)以外の画像

複数消去（100枚まで）／全画像を消去する

連写グループは1枚として扱います。
（選んだ連写グループ内のすべての画像が消去されます）



1 画像を表示中に押す

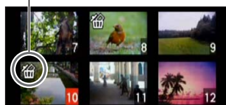


2 ▲▼で［複数消去］／［全画像消去］を選び、［MENU/SET］を押す



● ［複数消去］のとき
カーソルボタンで画像を選び、
［DISP.］ボタンを押す

選んだ画像

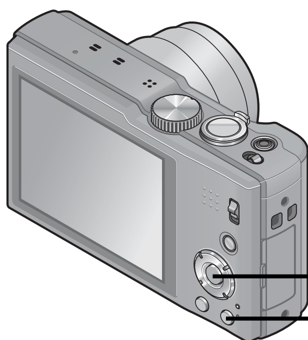


- 解除するとき
→再度［DISP.］ボタンを押す
- 実行するとき→［MENU/SET］を押す

- ［全画像消去］のとき［お気に入り］画像があると、［お気に入り以外全消去］が選べます（→122）。
- 確認画面が表示されます。カーソルボタンで［はい］を選び、［MENU/SET］を押す。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニューを使って設定する

メニュー操作は、以下の手順例を参考に操作してください。



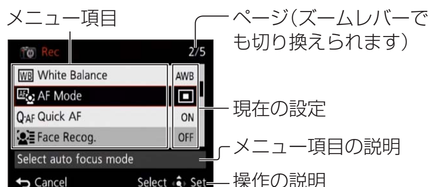
1 [MENU/SET]を押す

メニュー選択画面が表示されます。

2 カーソルボタンでメニューの種類を選び、[MENU/SET]を押す

- タッチ操作でもメニューの種類を選択できます。

3 ▲▼でメニューの項目を選び、[MENU/SET]を押す



- 操作の途中で前の画面に戻りたいときは、[󠀠/]ボタンを押してください。

4 ▲▼を押して設定を選び、[MENU/SET]を押す

選択した内容で設定されます。



5 [/]ボタンを数回押す

メニューが終了し、元の画面に戻ります。

■メニュー選択画面

●撮影モード時



●再生モード時



メニューの種類

撮影メニュー(→95)
(撮影モードのみ)
- 色合いや感度、横縦比、画素数などが設定できます。

動画メニュー(→106)
(撮影モードのみ)
- 記録方式や画質などが設定できます。

GPSメニュー(→127)
- GPSの設定や地名表示などを設定できます。

セットアップメニュー(→54)
- 時計設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

再生モードメニュー(→111)
(再生モードのみ)
- スライドショーで見たり、表示する画像を絞り込んだりできます。

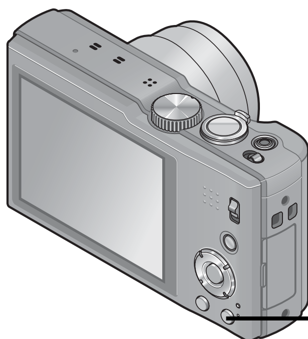
再生メニュー(→117)
(再生モードのみ)
- 画像の保護、切り抜き、プリント設定などができます。

地図メニュー(→145)
(再生モードのみ)
- 現在地を地図に表示したり、画像の位置情報を編集したりできます。

●本書の操作画面例は、実物と異なる場合や一部を省略している場合があります。
●モードにより、表示されるメニューの種類や項目は異なります。
●メニュー項目により、設定方法が異なります。
●撮影モード時は、シャッターボタン半押しでもメニュー画面を終了できます。
●撮影モードにより、次のメニューも表示されます。
- クリエイティブコントロールモード時：
  クリエイティブコントロールメニュー(→78)
- シーンモード時：シーンモードメニュー(→85)
- カスタムモード時：カスタムメニュー(→76)

クイックメニューを使う

撮影時に一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。



1 [Q.MENU] ボタンを押す

2 ◀▶ でメニュー項目を選ぶ

- 撮影モードにより表示されるメニュー項目と設定項目が異なります。

3 ▲▼ で設定内容を選ぶ



4 [MENU/SET] を押す

セットアップメニューを使う

[時計設定] [エコモード] [オートレビュー]は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に設定を確認してください。

• セットアップメニューの設定方法は(→51)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
時計設定 (→23)	日時と表示方法を設定する。
自動時刻合わせ GPSを使って自動で時計を合わせる。(→139)	ON／OFF
ワールドタイム お住まいの地域と海外旅行先の日時を設定する。 (→93)	**旅行先**：海外旅行先の日時にする。 **ホーム**：お住まいの地域の日時にする。
トラベル日付 旅行何日目かを記録する。(→92)	**トラベル日付設定** **設定**(出発日と帰着日を記録する)／**OFF**
	旅行先 **設定**(旅行先を文字で入力する)／**OFF**
操作音 操作音やシャッター音を変えます。	**操作音音量** ：音量を小／大／切から選ぶ
	操作音音色 ❶／❷／❸：操作音の種類を選ぶ
	シャッター音音量 ：シャッター音量を小／大／切から選ぶ
	シャッター音音色 ❶／❷／❸：シャッター音の種類を選ぶ

- セットアップメニューの設定方法は(→51)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
スピーカー音量 スピーカー音量を調整します。(7段階)	0／1／2／3／4／5／6 • テレビ接続時、テレビのスピーカーの音量は調整できません。
カスタムセット登録 現在のカメラの設定を登録します。(→85)	C1／C2-1／C2-2／C2-3
液晶調整 液晶モニターの明るさや色合いを調整します。	①▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整する ② [MENU/SET] を押す • 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
LCD **液晶モード** 液晶モニターを見やすくします。	**オートパワーLCD：** 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整する。 **パワーLCD：** 画面を通常よりも明るくする。(屋外向き) OFF • 再生モードでは、[オートパワーLCD] は選択できません。 • [パワーLCD] は、撮影時に30秒間操作をしないと通常の明るさに戻ります。(いずれかのボタンを押すと再び明るくなります) • 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 • [液晶モード] を設定すると、使用時間が減少します。

- セットアップメニューの設定方法は（→51）

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ガイドライン表示 撮影情報の表示とガイドラインの種類を選びます。	**撮影情報** ON（ガイドライン表示中に撮影情報を表示する） OFF
	パターン ／：ガイドラインの種類を選ぶ • スナップショットモード時は、 のみ表示されます。また、撮影情報とガイドラインを同時に表示することはできません。 • シーンモードの［パノラマ］では、ガイドラインは表示されません。
ヒストグラム表示 画像の明るさをグラフで見ます。（→62）	ON／OFF
動画記録枠表示 動画で記録できる範囲を撮影前に確認できるようにします。	ON／OFF • 動画記録枠表示は目安です。 • EX光学ズーム使用時は、ズーム倍率により表示されない場合があります。 • スナップショットモードでは設定できません。
ズーム位置メモリー 電源を切ったときのズーム位置を記憶します。	ON／OFF

- セットアップメニューの設定方法は(→51)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ECO エコモード 使わない間、電源を切ったり、液晶モニターを暗くしてバッテリーの消費を防ぎます。	**スリープモード** **2分/5分/10分/OFF：** 設定した時間の間に何も操作をしないとき、自動的に電源が切れる • 再度使うとき→シャッターボタン半押し、または電源を入れ直す • 次のときは働きません。 パソコン・プリンター接続時、動画撮影/再生時、スライドショー中 • スナップショットモード時は[5分]に固定されます。
	液晶パワーセーブ **ON/OFF：** 液晶モニターを暗くして消費電力を抑える。 • 撮影中は、液晶モニターの表示画質を下げてバッテリーの消耗を防ぎます。(デジタルズーム領域を除く)ただし、記録される画像に影響はありません。 • 液晶モニターの輝度は[液晶パワーセーブ]よりも[液晶モード]の設定が優先されます。
オートレビュー 撮影直後に写真を自動表示します。	**1秒/2秒** **ホールド：**いずれかのボタン([DISP.]ボタン以外)を押すまで自動再生画面のままにする OFF • スナップショットモード、シーンモードの[パノラマ]は、[2秒]に固定されます。 • [オートブラケット]、[連写]、[手持ち夜景][逆光補正HDR]は、設定にかかわらず撮影直後に自動表示されます。 • 動画はオートレビューできません。

- セットアップメニューの設定方法は(→51)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
番号リセット 画像のファイル番号をリセットします。	• 新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を0001にリセットします。 • フォルダー番号は100～999まで作成されます。 フォルダー番号が999になるとリセットできません。 必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください(→60)。 • フォルダー番号を100にリセットするには： まず、内蔵メモリーまたはカードを本機でフォーマットし、[番号リセット]で[はい]を選ぶ。その後、フォルダー番号のリセット画面で[はい]を選ぶ。
設定リセット 撮影メニューとセットアップメニューの設定をお買い上げ時の設定に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** • 撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。 • セットアップ設定をリセットした場合、以下もリセットされます。 -シーンモードの[赤ちゃん]と[ペット]の月齢/年齢と名前、GPSメニュー、地図メニュー • フォルダー番号、時計設定はリセットされません。 • レンズ機能のリセットにより、動作音がすることがありますが、異常ではありません。
USBモード USB接続ケーブルでパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選んだり、GPSアシストデータを更新します。	**接続時に選択**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、接続方法を選ぶ **PictBridge(PTP)**：PictBridge対応プリンターに接続するときに選ぶ **PC**：パソコンに接続するときに選ぶ **GPSアシストデータ**：本機を使ってGPSアシストデータを更新するときに選ぶ(→140)

• セットアップメニューの設定方法は(→51)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
映像出力 本機をテレビなどに接続したときの設定を変更します。	**ビデオ出力方式**(カメラモデル18 175の場合) NTSC／PAL 設定を変更すると、AVCHD動画が再生できなくなる場合があります。
	TV画面タイプ(AVケーブル(付属)接続時に働きます) 16:9 / 4:3
HDTV Link **HDTVリンク** 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したHDTVリンク対応機器を自動的に連動させ、HDTVのリモコンで操作できるように設定します。(→157)	ON： HDTVリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません) 本機のボタンでの操作は制限されます。 OFF：本機のボタンでの操作になります。
3D **3Dテレビ出力** 3D画像の出力方法を設定します。	3D／2D • 3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合は、[2D]に設定してください。 • HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 • 3D写真を再生する方法について(→159)

- セットアップメニューの設定方法は(→51)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
回転表示 縦向きに撮った写真を自動的に回転して表示します。	[テレビ][カメラ]: テレビで表示される映像と本機の液晶画面の両方で回転して縦向きに表示します。 [テレビ]: テレビで表示される映像のみ、回転して縦向きに表示します。 OFF • 動画は、回転表示できません。 • レンズを上や下に向けて撮影した写真や、他機で撮影した写真は、回転されない場合があります。 • マルチ再生時は回転して表示されません。 • パソコンではExif(→42)に対応した環境(OS、ソフトウェア)でのみ、回転して表示されます。
Ver. バージョン表示 本体のファームウェアのバージョンを確認したり、ソフトの情報を表示します。	現在のバージョンが表示されます。 • バージョン表示中に[MENU/SET]を押すと、ライセンスなどのソフトの情報が表示されます。
フォーマット [内蔵メモリーエラー]または[メモリーカードエラー]が表示されたときや、内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)するときに行います。 **フォーマットすると、データを元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。**	• 内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 (カード挿入状態では、カードのみ、カードがない場合は、内蔵メモリーのみフォーマットされます) • フォーマットは、必ず本機で行ってください。 • **プロテクトされた画像やコピーした地図データなど、すべてのデータが消去されます。** • フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーを使用してください。フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。 • 内蔵メモリーのフォーマットには時間がかかることがあります。 • フォーマットできないときは、ライカ代理店またはお近くのLeica Customer Careセンターにご相談ください。

• セットアップメニューの設定方法は(→51)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
言語設定 表示言語を切り換えます。	画面に表示する言語を選び、設定します。
OISデモ 機能のデモを表示します。	手ブレをグラフで表示する(目安) 手ブレ量 補正後の手ブレ量 • デモ画面表示中は、[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り換わります。 • 再生モード時は、表示できません。

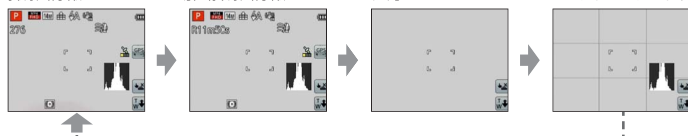
撮影情報などの表示を切り換える

ヒストグラムやガイドライン、撮影情報などの液晶モニターの表示を切り換えられます。

1 [DISP.]ボタンを押して表示を切り換える

●**撮影時**

撮影情報※1　動画撮影情報※1、※2　表示なし　ガイドライン表示※1、※3



●**再生時**

画像情報　撮影情報※1　表示なし



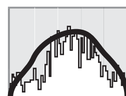
※1 [ヒストグラム表示]の設定により、ヒストグラムが表示されます。(→56)
※2 シャッター半押しで撮影情報表示に戻ります。
※3 [ガイドライン表示]について(→56)

●再生ズーム中、動画再生中、スライドショー再生中は、表示／非表示の切り換えのみになります。
●メニュー表示中、マルチ再生中やカレンダー再生中は、表示を切り換えられません。

■ヒストグラム

画像の明るさの分布を示しており、例えば山が右側にあれば画像に明るい部分が多いことを示します。(目安)山が中央にあるときが適正な明るさ(適正露出)です。露出補正(→71)などの参考にします。

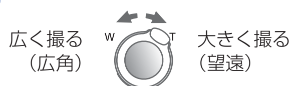
(例)



暗い ← 適正 → 明るい

- フラッシュ発光時や暗いところで撮影する場合は、再生時とヒストグラムが一致しないためオレンジ色で表示されます。また、画像編集ソフトなどのヒストグラムと一致しないことがあります。
- スナップショットモード、再生ズーム中は表示されません。

ズームを使って撮る

撮影モード：

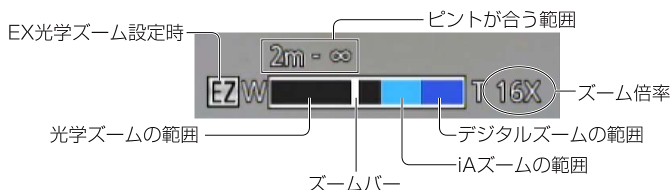
ズームを使って、写す範囲を調整できます。

1 ズームする

広く撮る
（広角）

大きく撮る
（望遠）

• ズームレバーを回す角度で、ズームの速さを2段階に調整できます。



●ピントは、ズームしたあとに合わせてください。
●ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
●倍率、画面のバー表示は目安です。
●ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。

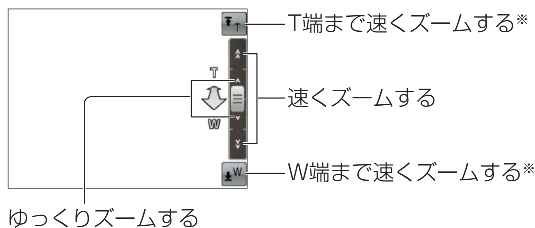
タッチ操作でズームを使う（タッチズーム）

1 をタッチする



画面にズームバーが表示されます。

2 画面のズームバーのT側またはW側をタッチする



※ ズーム中にもう一度タッチすると、途中で止まります。

ズームの種類と用途

記録画素数を変更すると、ズーム倍率が変わります。

■光学ズーム

撮影メニューの[記録画素数]で EZ の付いていないものを選んだ場合、最大20倍までズームできます。(→95)

●次のとき、光学ズームは働きません。
- シーンモードの[パノラマ]
- ズームマクロ

■EX光学ズーム

撮影メニューの[記録画素数]で EZ の付いたものを選んだ場合、最大42.2倍までズームできます(→95)。EZは、extended optical zoomの略で、EX光学ズームを表します。

●次のとき、EX光学ズームは働きません。
- スナップショットモード(ブレピタモード[ON]時)
- ズームマクロ　• 動画撮影　• 連写の 40 · 60 · ⚡ 設定時
- シーンモードの[パノラマ] [逆光補正HDR] [高感度] [ハイスピード動画]
- クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]

さらに倍率を上げたいときは、次のズームを併用できます。

■iAズーム

超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の2倍までズーム倍率を上げることができます。撮影メニューの[超解像]で[iA ZOOM]を選んでください。(→102)

●[iA ZOOM]にすると、画像に超解像技術が適用されます。

●次のとき、iAズームは働きません。
- スナップショットモード(ブレピタモード[ON]時)
- シーンモードの[パノラマ] [手持ち夜景] [逆光補正HDR] [高感度]
- 連写の 40 · 60 · ⚡ 設定時
- クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]
- ズームマクロ

■デジタルズーム

最大ズーム倍率がさらに4倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。撮影メニューの[デジタルズーム]を[ON]にしてください。(→102)

●次のとき、デジタルズームは働きません。
- スナップショットモード　• 連写の 40 · 60 · ⚡ 設定時
- シーンモードの[パノラマ] [手持ち夜景] [逆光補正HDR] [高感度] [ハイスピード動画]
- クリエイティブコントロールモードの[トイフォト] [ジオラマ]

●iAズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が2倍までに制限されます。

フラッシュを使って撮る

■撮影モード：[A] P A S M C1 C2 3D SCN [クリエイティブ]

1 ▶ で[フラッシュ]を表示する

2 カーソルボタンで種類を選び、[MENU/SET]を押す

種類と動作		こんなときに
⚡A i⚡A ※1	**オート** • 発光する／しないを自動で判断	通常使用
⚡A◎	**赤目軽減オート**※2 • 発光する(赤目を抑える)／しないを自動で判断	暗い場所で人物を撮る
⚡	**強制発光** • 必ず発光する	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡S◎	**赤目軽減スローシンクロ**※2 • 発光する(赤目を抑え、シャッタースピードを遅くして明るく撮る)／しないを自動で判断	夜景を背景に人物を撮る(三脚をお勧めします)
⊘	**発光禁止** • 発光しない	フラッシュ禁止の場所

※1 [A]のみ
※2 フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。
撮影メニューの[デジタル赤目補正]を[ON]に設定すると、アイコンに [赤目補正] が表示され、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。([オートフォーカスモード]が [顔認識](顔認識)のときのみ)

- **フラッシュ発光部(→10)を手で塞いだり、近く(数cm)で見たりしないでください。また、ものを近づけないでください。(熱や光で変形することがあります)**
- ズームを使わずに、至近距離(W端付近)でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- 撮影モードを変えるとフラッシュ設定が変わることがあります。
- シーンモードを変えると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
- ⚡A(オート)などのマークが点滅中はフラッシュ充電中のため、撮影できません。
- 光が十分に届かないときは、適切な露出やホワイトバランスにならない場合があります。
- 次の場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
  - シャッタースピードが遅い場合
  - [フラッシュ連写]の場合
- バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。

■撮影モード別の使えるフラッシュの種類（▭：お買い上げ時の設定）

	iA	P A	S M	シーンモード							
				[icon]	[icon]	[icon]	[icon]	[icon]	[icon1][icon2]	[icon]	[icon]
⚡A	○※1	○	○	○	○	**○**	–	○	○	○	○
⚡A◎	×	○	○	**○**	**○**	–	×	–	**○**	×	×
⚡	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
⚡S◎	×	○	×	×	×	×	**○**	×	×	×	×
⊛	○	○	○	○	○	○	○	**○**	○	**○**	**○**

※1 被写体や明るさに応じて、i⚡A、i⚡A◎、i⚡S◎、i⚡S になります。

- 動画の撮影やシーンモードの [icon]、[icon]、[icon]、[icon]、[icon]、[icon]、[icon]、[icon] では、フラッシュは使えません。

■ISO感度［AUTO］設定時のフラッシュ撮影可能範囲

W端時	約0.6 m〜約6.4 m
T端時	約1.0 m〜約3.3 m

■フラッシュモード別のシャッタースピード

⚡A ⚡A◎ ⚡	1/60※2〜1/2000秒
⚡S◎ ⊛	1※2※3〜1/2000秒

※2 ［下限シャッター速度］の設定によって異なる。

※3 ［下限シャッター速度］を［AUTO］に設定している場合、［手ブレ補正］が［ON］のときに手ブレを検知しているときは最大1/4秒。その他、スナップショットモードとシーンモードのシーンなどによって異なる。

近づいて撮る

撮影モード：A P A S M C1 C2 3D SCN

被写体を大きく撮影したいとき、[AF🌷]（AFマクロ）にすると、通常ピントが合う距離よりも近づいて（W端なら3 cmまで）撮影できます。

1 ▼ で[マクロ撮影モード]を表示する

2 カーソルボタンで[AF🌷]（AFマクロ）を選び、[MENU/SET]を押す



AF🌷 を表示

■被写体に近づかずにアップで撮る

[AF🌷]（AFマクロ）設定中は、12倍以上のズーム操作をすると自動的にテレマクロ機能が働き、被写体に1 mまで近づいてもピントが合います。
（AF🌷 が TELE🌷 に変わる）

ピントの合う範囲

被写体に近づきすぎると、ピントが合いません。ズーム倍率と[マクロ撮影モード]の設定により、最短撮影距離が異なります。

■最短撮影距離

最短撮影距離は、レンズ前から被写体までの距離です。ズームの位置により段階的に変化します。また、ズームの途中では、マクロ撮影モードを[AF🌷]（AFマクロ）にしていても最短撮影距離はOFFと同じになります。（光学ズームの5倍～7倍では、2 m）

ズーム	マクロ撮影モード	
	[AF🌷]（AFマクロ）	OFF
W端時	3 cm	50 cm
T端時	1 m	2 m

• ピントの合う範囲は、ズームを操作したときなどに表示されます。



ピントが合う範囲

●被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに多少時間がかかります。
●三脚や[セルフタイマー]の使用をお勧めします。また、近距離で撮影するときは、[フラッシュ]を ⊛（発光禁止）に設定することをお勧めします。
●被写体が近い場合、くっきりと写る範囲が狭くなるため、ピントを合わせたあとにカメラを動かすと、ピントが合いにくくなります。
●画像周辺の解像度が少し下がる場合があります。

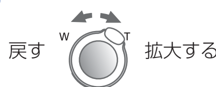
[ズームマクロ]

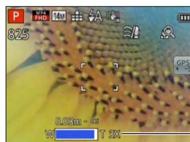
被写体をさらに大きく撮影したいときは、[ズームマクロ]にすると[AFマクロ]撮影よりも大きく写し出すことができます。

1 ▼で[マクロ撮影モード]を表示する

2 カーソルボタンで[ズームマクロ]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ズームレバーでデジタルズームの倍率を調節する





ズーム位置はW端固定となります。ピントの合う距離は、3 cm～∞です。

デジタルズーム倍率（1倍～3倍）

- ズームマクロでは、倍率を上げるほど画質は粗くなります。
- ズームマクロを設定すると、EX光学ズーム、iAズームは働きません。
- 次のときは、ズームマクロに設定できません。
  - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト] [ジオラマ]
  - スライド3D撮影モード
  - 連写の 40 · 60 · ⚡ 設定時
- [追尾AF]を設定すると、ズームマクロは解除されます。

セルフタイマーで撮る

撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

三脚の使用をお勧めします。セルフタイマーを2秒に設定すると、シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

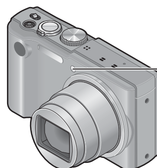
1 ◀で[セルフタイマー]を表示する

2 カーソルボタンで設定時間を選び、[MENU/SET]を押す

3 撮影する

シャッターボタンを全押しすると、設定時間後に撮影します。





• カウントダウン中に中止するとき→[MENU/SET]を押す

●シャッターボタンを一度に全押ししても、撮影直前にカメラが自動的にピントを合わせます。
●セルフタイマーランプは点滅後、AF補助光として点灯することがあります。
●次のときは、セルフタイマーを設定できません。
- シーンモードの[ハイスピード動画]
- 動画撮影時

露出を補正して撮る

逆光時や、暗すぎる/明るすぎる場合に露出を補正します。

■撮影モード：

1 ▲で[露出補正]を表示する

2 カーソルボタンで補正値を選び、[MENU/SET]を押す



- 暗すぎるときは、[+]方向へ補正します。
- 明るすぎるときは、[−]方向へ補正します。
- 露出補正後は、画面左下に補正値(+2/3 など)が表示されます。

●明るさによっては、補正できない場合があります。
●設定した露出補正値は、電源をOFFにしても記憶されます。

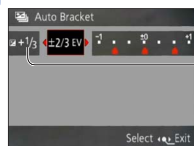
[オートブラケット]

露出を自動で変えながら、3枚連写します。[露出補正]後は、補正値を基準にします。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

1 ▲を数回押して、[オートブラケット]を表示する

2 カーソルボタンで補正幅を選び、[MENU/SET]を押す



[露出補正]後は
補正値を表示

- 1枚目は補正なし、2枚目は−方向へ補正、3枚目は＋方向へ補正した写真になります。
- 電源をOFFにすると解除されます。

●オートブラケットではフラッシュは使えません。
●オートブラケットを設定すると[連写]は解除されます。
●次のときは、[オートブラケット]を設定できません。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ][ソフトフォーカス]
- シーンモードの[パノラマ][手持ち夜景][逆光補正HDR][ハイスピード動画]
- 動画撮影時

絞りを決めて撮る （絞り優先AEモード）

撮影モード：Ⓐ P **A** S M C1 C2 3D SCN ♪

撮影意図に合わせて、絞り値を固定して撮影できます。
設定した絞り値に合わせて、シャッタースピードを自動調節します。

1 モードダイヤルを[A]に合わせる

2 [EXPOSURE(エクスポージャー)]ボタンを押し、カーソルボタンで絞り値を選ぶ



- 絞りの値を大きくすると、ピントが合う奥行きが広がり、手前から背景までくっきりと写ります。
- 絞りの値を小さくすると、ピントが合う奥行きが狭くなり、背景をぼかしたりできます。

3 [EXPOSURE(エクスポージャー)]ボタンを押して決定する

●明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
●液晶モニターの明るさは、実際に撮影される写真と異なる場合があります。

シャッタースピードを決めて撮る

（シャッター優先AEモード）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

撮影意図に合わせて、シャッタースピードを固定して撮影できます。
設定したシャッタースピードに合わせて、絞りを自動調節します。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

2 [EXPOSURE（エクスポージャー）]ボタンを押し、カーソルボタンでシャッタースピードを選ぶ



- シャッタースピードを速くすると、被写体の動きが止まって写ります。
- シャッタースピードを遅くすると、動いている被写体はブレて写ります。

3 [EXPOSURE（エクスポージャー）]ボタンを押して決定する

●明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
●液晶モニターの明るさは、実際に撮影される写真と異なる場合があります。

絞り値とシャッタースピードを決めて撮る
（マニュアル露出モード）

撮影モード： Ⓐ P A S **M** C1 C2 3D SCN

露出補正などで望んだ露出（明るさ/暗さ）で撮影できない場合に、絞り値とシャッタースピードを任意に設定できる撮影モードです。また、最大15秒までの長秒撮影ができます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

• マニュアル露出アシストが表示されます。

2 [EXPOSURE]（エクスポージャー）ボタンを押し、カーソルボタンで絞り値とシャッタースピードを選ぶ



絞り値／シャッタースピード

3 [EXPOSURE]（エクスポージャー）ボタンを押して決定する

■マニュアル露出アシスト（目安）

シャッターボタンを半押しすると、マニュアル露出アシストが表示されます。

-2 -1 ±0 +1 +2	標準的な明るさに写ります。
-2 -1 ±0 +1 +2	明るく写ります。標準的な明るさにするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
-2 -1 ±0 +1 +2	暗く写ります。標準的な明るさにするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

●明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。

●液晶モニターの明るさは、実際に撮影される写真と異なる場合があります。

画像効果を変えて撮る （クリエイティブコントロールモード）

撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN [クリエイティブコントロール]

いろいろな効果の中からお好みの設定を選んで、画面上で効果を確認しながら、写真を撮ることができます。

1 モードダイヤルを[クリエイティブコントロール]に合わせる

2 ▲▼で設定を選び、[MENU/SET]を押す



設定	効果
POP ポップ	色を強調したポップアート風の画像効果です。
RETR レトロ	色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。
HKEY ハイキー	全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。
LKEY ローキー	全体的に暗く落ち着いた雰囲気で、明るい部分を引き立てる画像効果です。
SEPI セピア	セピア色の画像効果です。
MONO ダイナミックモノクローム	コントラストを高めにし、力強い雰囲気のモノクロ写真に仕上げる画像効果です。
HDYN ハイダイナミック	暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出す画像効果です。
TOY トイフォト	周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。 • [DISP.]ボタンを押して、カーソルボタンで色の効果を選ぶこともできます。
DIOR ジオラマ	画像の上下をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。
SOFT ソフトフォーカス	全体を少しぼかし、柔らかい雰囲気に仕上げる画像効果です。

■設定した効果を変更する場合（クリエイティブコントロールメニュー）

① [MENU/SET]を押す
② カーソルボタンで[クリエイティブコントロール]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③ ▲ ▼ で設定を選び、[MENU/SET]を押す

■ [🎨]での動画撮影

選択されている効果に合わせて、最適な設定で動画を撮影します。

● クリエイティブコントロールモードの設定は、電源を[OFF]にしても記憶されます。
● 次の撮影メニューはカメラが自動調整するため、設定できません。
[ISO感度] [ホワイトバランス] [暗部補正] [下限シャッター速度] [カラーモード]
● [ジオラマ]について
  • 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
  • 動画に音声は記録されません。
  • **カメラモデル18 176 / 18 177の場合**
    動画は約1/10の時間で記録されます。（10分間撮影した場合、動画記録時間は約1分になります）表示される記録可能時間は約10倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
    カメラモデル18 175の場合
    動画は約1/8の時間で記録されます。（8分間撮影した場合、動画記録時間は約1分になります）表示される記録可能時間は約8倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
  • 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
  • 大きい記録画素数に設定して写真撮影した場合、撮影後に画面が一定時間暗くなりますが、信号処理のためで異常ではありません。
● [ソフトフォーカス]について
  • 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。（撮影した動画も、コマ落としのように再生されます）
  • 大きい記録画素数に設定して写真撮影した場合、撮影後に画面が一定時間暗くなりますが、信号処理のためで異常ではありません。

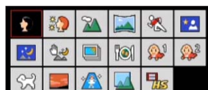
場面に合わせて撮る (シーンモード)

撮影モード：Ⓐ P A S M C1 C2 3D SCN ♂

シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定(露出や色調など)で撮影できます。

1 モードダイヤルを[SCN]に合わせる

2 カーソルボタンでシーンを選び、[MENU/SET]を押す



■設定したシーンを変更する場合(シーンモードメニュー)

① [MENU/SET]を押す
② カーソルボタンで[シーンモード]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③ カーソルボタンでシーンを選び、[MENU/SET]を押す

■ [SCN]での動画撮影

選択されているシーンに合わせて、最適な設定で動画を撮影します。

• 一部のシーンは、以下のシーンに切り換わります。

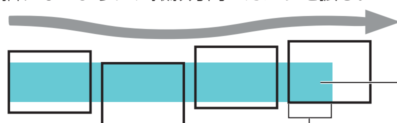
選択されているシーン	動画シーン
赤ちゃん	人物動画
夜景＆人物、夜景、手持ち夜景	ローライト動画
スポーツ、逆光補正HDR、ペット	通常動画

●場面に合わないシーンを選ぶと、画像の色合いが変わることがあります。
●次の撮影メニューはカメラが自動調整するため、設定できません。
[ISO感度] [測光モード] [暗部補正] [下限シャッター速度] [超解像] [カラーモード]
●シーンモードのフラッシュについて(→67)

- シーンモードメニューの設定方法は(→78)
- シーンモードのフラッシュについて(→66)

人物	**昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に。** 撮影のコツ • ズームの位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
美肌	**明るい昼間の屋外で、肌色をなめらかに。胸から上の撮影に効果的です。** 撮影のコツ • ズームの位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
風景	**広がりのある遠くの被写体をくっきりと。**
パノラマ	**高速連写した複数枚の写真をつないで1枚のパノラマ写真に。** ① カーソルボタンで撮影する方向を選び、[MENU/SET]を押す ② 撮影方向を確認し、[MENU/SET]を押す • ガイドラインが表示されます。 ③ シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる ④ シャッターボタンを全押しし、選択した方向へ小さな円を描くようにカメラを振って撮影する • 左から右に撮影する場合 約8秒で1周するぐらいの速さで振る • 一定の速さでカメラを振ってください。 • 速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。 • 小さな円を描くように 1秒 2秒 3秒 ⑤ もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する • 撮影中に途中でカメラを止めても、撮影を終了できます。

- シーンモードメニューの設定方法は(→78)
- シーンモードのフラッシュについて(→66)

<table>
<tr>
<td>
パノラマ
(つづき)</td>
<td>
撮影のコツ
• 揺れないように、撮影方向へカメラを振る。


お知らせ
• ズーム位置はW端に固定されます。
• ピント、ホワイトバランス、露出は、最初の1枚目の画像に最適な値に固定されます。
このために、撮影の途中の画像でピント位置や明るさが極端に異なる場合、パノラマ写真全体で一様なピントや明るさに撮影されない場合があります。
• 次の機能は固定されます。
[手ブレ補正]：OFF　[日付焼き込み]：OFF
• 複数画像を合成してパノラマ写真を作成するため、被写体がゆがんだりつなぎ目が目立つ場合があります。
• パノラマ写真の縦横の画素数は、撮影方向や合成した画像の枚数により変化します。
記録される最大の画素数は以下のとおりです。
- 水平方向に撮影する場合：約8000×1080
- 垂直方向に撮影する場合：約1440×8000
• 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
- 単調な色や模様が続く被写体(空や砂浜など)
- 動いている被写体(人やペット、自動車、波や風に揺れる花など)
- 短時間で色や模様が変化する被写体(ディスプレイに映った画像など)
- 暗い場所
- 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

再生について
[パノラマ]で撮影した写真は、他の写真と同じようにズームレバーやタッチ操作で拡大表示できます。また、動画のように再生操作を行うと、自動でスクロール表示されます。(→45)
• 動画再生と異なり、自動スクロール中は早戻し／早送りすることはできません。(自動スクロール一時停止中はコマ戻し／コマ送りできます。)
</td>
</tr>
</table>

- シーンモードメニューの設定方法は(→78)
- シーンモードのフラッシュについて(→66)

スポーツ	**スポーツなど、動きの速いシーンに。** 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。 お知らせ • シャッタースピードは最大1秒になります。
夜景＆人物	**人物と夜景を、見た目に近い明るさで。** 撮影のコツ • フラッシュを使う。 • 被写体はなるべく動かない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 お知らせ • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
夜景	**夜景を鮮やかに。** 撮影のコツ • 三脚、セルフタイマーを使う。 お知らせ • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
手持ち夜景	**連写した写真を合成して、手ブレとノイズの少ない夜景を撮る。** 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。 • シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさない。 お知らせ • 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。

• シーンモードメニューの設定方法は(→78)
• シーンモードのフラッシュについて(→66)

逆光補正HDR	**露出の異なる写真を複数撮影して1枚の階調豊かな写真に。** 撮影のコツ • シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさない。 お知らせ • 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。 • 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。 • 撮影条件によっては、複数撮影ではなく、1枚撮影になる場合があります。
料理	**周囲の光に影響されず、料理を自然な色で。**
赤ちゃん	**赤ちゃんの肌を健康的に。また、フラッシュ発光時は弱めの光で発光。** ■赤ちゃんの誕生日と名前を設定する [赤ちゃん1] [赤ちゃん2]に別々に設定できます。 ① カーソルボタンで[月齢/年齢]または[名前]を選んで[MENU/SET]を押し、[設定]を選んで[MENU/SET]を押す。 ② 誕生日や名前を設定する 誕生日：カーソルボタンで誕生日を入力し、[MENU/SET]を押す。 名前：(文字入力方法：(→94)) ③ カーソルボタンで[終了]を選び、[MENU/SET]を押す 撮影のコツ • 撮影前に、[月齢/年齢]と[名前]が[ON]になっていることを確認してください。 お知らせ • [月齢/年齢]の表示形式は[言語設定]によって変わります。 • シャッタースピードは最大1秒になります。 • [名前]や[月齢/年齢]は、本機の[文字焼き込み]で写真に焼き込むことができます。
ペット	**月齢/年齢や名前を記録して撮る。** • 撮影のコツ、お知らせは上記[赤ちゃん]と同じです。

- シーンモードメニューの設定方法は(→78)
- シーンモードのフラッシュについて(→66)

夕焼け	**夕焼けなどの風景の赤色を鮮やかに。**
高感度	**薄暗い室内で被写体のブレを抑える。** カーソルボタンで記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]を押す
ガラス越し	**乗り物や建物の透明な窓ガラス越しに景色などを撮影するときに最適です。** お知らせ • ガラスに映り込みやほこりなどの汚れが付いていると、ガラスにピントが合う場合があります。 • ガラスの色により自然な色にならない場合があります。（ホワイトバランスを調整すると適切な色になる場合があります。）
ハイスピード動画	**素早い動きを220コマ/秒で高速記録する。** ① 動画ボタンを押して、撮影を開始する ② もう一度動画ボタンを押して、終了する • シャッターボタンでも動画撮影を開始／終了できます。（タッチシャッターは働きません） • 再生時に、肉眼ではとらえられない被写体の動きをスローモーションで再生できます。 お知らせ • 内蔵メモリーには記録できません。 • QVGA(320×240画素)サイズのMotion JPEG動画で記録されます。（1回の撮影では最大2 GB、約7分20秒まで） • 音声は記録されません。 • ハイスピード動画撮影中は、写真を撮影できません。 • ピント、ズーム、露出、ホワイトバランスは撮影開始時に固定されます。 • 手ブレ補正は働きません。 • [オートフォーカスモード]は ■(1点)となります。 • 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。

3D写真を撮る
(スライド3D撮影モード)

撮影モード：[A] P A S M C1 C2 [3D] SCN [クリエイティブ]

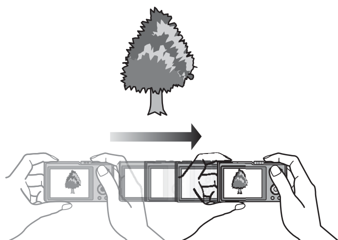
カメラを水平に動かしている間に連続撮影をして、1枚の3D写真を合成します。
3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。(本機では2Dで再生されます)
再生方法については(→159)

1 モードダイヤルを[3D]に合わせる

- 撮影方法の説明が表示されます。
  確認して、[MENU/SET]を押してください。

2 撮影を開始し、本機を左から右へまっすぐ水平にスライドする

- 撮影中はガイドが表示されます。
- ガイドを目安にして約4秒間で10 cm程度カメラをスライドしてください。



撮影のテクニック
- 動きのない被写体を撮影する
- 屋外などの明るい場所で撮影する
- シャッターボタンを半押しして、ピント・露出を固定してから、シャッターボタンを全押ししてカメラをスライドする
- 被写体を中心よりやや右寄りに合わせて撮影を始めると、被写体が中心に寄りやすくなります

- **3D写真の縦撮影には対応していません。**
- 3D写真はMPO形式(3D)で記録されます。
- ズーム位置はW端に固定されます。
- 記録画素数は、2 M 16:9 固定となります。
- [ISO感度]は自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。
- 動画撮影はできません。
- 以下の場合など、撮影状況によっては撮影できない場合があります。また撮影できても、写真に立体効果が得られなかったり、ゆがみが生じたりする場合があります。
  - 被写体が暗すぎる/明るすぎる
  - 被写体の明るさが変わる
  - 被写体が動いている
  - 濃淡の少ないもの

お好みの設定を登録して撮る （カスタムモード）

お好みの撮影モードや撮影メニューの設定などを[カスタムセット]に登録しておくと、モードダイヤルを[C1] [C2]に合わせることで、すぐにその設定に切り換えることができます。

[カスタムセット登録]

現在のカメラの設定を[C1]に1つ、[C2]に3つ登録できます。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

1 登録したい撮影モードにし、撮影メニューや動画メニュー、セットアップメニューなどを設定する

2 セットアップメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ（→51）

3 カーソルボタンで登録するカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す。
- [C1]に登録すると、モードダイヤルを[C1]に合わせるだけで登録した設定で撮影できます。よく使う設定を登録しておくと便利です。
- [C2]には3つまで設定を登録できます。モードダイヤルを[C2]に合わせ、[C2-1][C2-2] [C2-3]から設定を選んで撮影できます。

●セルフタイマーは、カスタムセットに保存されません。
●一部のメニュー項目は他の撮影モードに反映されるため、保存されません。

[カスタムモード]

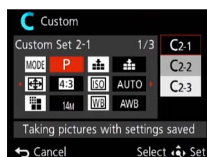
[カスタムセット登録]に登録した設定は、モードダイヤルを[C1] [C2]に合わせることで、すぐに呼び出すことができます。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

1 モードダイヤルを[C1] [C2]に合わせる

- [C1]に合わせたとき
  →[C1]に登録された撮影モードや設定に切り換わります。
- [C2]に合わせたとき
  →手順 2、3 へ

2 カーソルボタンでカスタムセットを選ぶ



- ◀▶ で登録内容を確認できます。
- 主なメニュー項目のみ表示されます。

3 [MENU/SET]を押す

選択したカスタムセットの撮影モードや設定に切り換わります。

■メニュー設定を変更する場合

カスタムセットのいずれかを選択した状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。
登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの[カスタムセット登録]（→85）で登録内容を上書きしてください。

■[C2]から[C2]の別のカスタムセットに変更する場合（カスタムメニュー）

- 上記以外の場合は、モードダイヤルを操作してください。

① [MENU/SET]を押す
② カーソルボタンで[カスタム]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③ ▲▼ でカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す

■[C1] [C2]での動画撮影

登録されている撮影モードで動画を撮影します。

連写する

撮影モード：[iA] [P] [A] [S] [M] [C1] [C2] [3D] [SCN] [クリエイティブコントロール]

シャッターボタンを全押ししている間、連続して写真を撮ることができます。

1 撮影メニューから[連写]を選ぶ(→51)

2 カーソルボタンで連写の設定を選び、[MENU/SET]を押す

設定	連写速度	内容	最大記録枚数
[おまかせ連写]※1	約2～ 約10コマ/秒	• 被写体の動きに合わせて、連写速度を自動で調整します。(おまかせ連写) • 動きの速い被写体を撮影した場合は、連写速度が速くなり、連写記録枚数が10枚程度に制限されます。	100枚※2
[2 AF]	約2コマ/秒	• 連写速度に合わせ、可能な範囲でピントを調整します。また、露出やホワイトバランスも調整しながら連写します。 (ただし、動画撮影中の連写撮影では、ピントは1枚目に固定されます。) • 撮影状態により、連写速度が低下する場合があります。	100枚※2
[5 AF]	約5コマ/秒		
[10]	約10コマ/秒	• ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目の設定に固定されます。	10枚
[40]	40コマ/秒	• ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目の設定に固定されます。 • 設定できる記録画素数について(→88)	40枚
[60]	60コマ/秒	• ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目の設定に固定されます。 • 撮影できる範囲が狭くなります。 • 設定できる記録画素数について(→88)	60枚
[フラッシュ連写]※3	撮影条件による	• フラッシュが発光することで、暗いところでも連写ができます。(フラッシュ連写) • ピント、露出、フラッシュ発光量は、1枚目で固定されます。 • 記録画素数について(→88)	5枚
OFF	―	連写を解除します。	―

※1 [iA]のみ

※2 連写できる最大記録枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。

※3 [P] [A] [S]のみ

■設定できる記録画素数

画像横縦比	40	60	
4:3	5 M, 3 M, 0.3 M	2.5 M, 0.3 M	3 M
3:2	4.5 M, 2.5 M, 0.3 M	3 M, 0.3 M	2.5 M
16:9	3.5 M, 2 M, 0.2 M	3.5 M, 0.2 M	2 M
1:1	3.5 M, 2.5 M, 0.2 M	2 M, 0.2 M	2.5 M

- 40、60 で撮影した画像は、まとめて記録されます。（連写グループ）（→109）
- 10、40、60、 で撮影した場合、被写体の明るさの変化によっては、2枚目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。
- 40 または 60 で、動いている被写体やカメラを動かして連写した写真は、画像がゆがむ場合があります。
- [オートブラケット]は解除されます。
- フラッシュは (発光禁止)となります。（[フラッシュ連写]を除く）
- 電源を切っても、設定は記憶されます。
- 次のときは、連写はできません。
  - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト][ジオラマ][ソフトフォーカス]
  - シーンモードの[パノラマ][手持ち夜景][逆光補正HDR][ハイスピード動画]
- シーンモードの[夜景＆人物][夜景][高感度]では 40、60 に設定できません。
- セルフタイマー使用時は3枚撮影されます。（[フラッシュ連写]の場合は、5枚）
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。
- 連写撮影中はズーム操作できません。

個人認証機能を使って撮る

（個人認証）

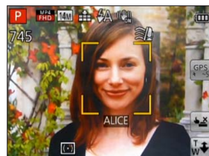
撮影モード：Ⓐ P A S M C1 C2 3D SCN

- お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。
- 顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。

■個人認証機能の働き

撮影時（オートフォーカスモード：（顔認識）の場合）

- 登録した顔を認識し、ピントと露出を合わせる
- 名前を設定して登録した顔を認識すると、名前を表示（3人まで）



再生時

- 名前や月齢/年齢を表示（情報を登録している場合）
- 撮影時に認識した顔に設定された名前を表示（3人まで）
- 選んだ登録人物の画像のみを再生[カテゴリー選択]

■顔画像登録時の撮影ポイント

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

■撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録し直す。

●連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
●シャッターボタンを半押ししたあとで、違う被写体にカメラを向けて撮影をした場合、異なる人物の撮影情報が付加される場合があります。
●次のときは個人認証が働きません。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]［ソフトフォーカス］
- シーンモードの[パノラマ]［夜景］［手持ち夜景］［料理］
- 動画撮影時

●個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
●個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]で撮影した画像は、[カテゴリー選択]の個人認証に分類されません。
●**個人認証情報を変更した場合でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー選択]の個人認証に分類されなくなります。
●撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え]（→125）を行ってください。

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど(1登録につき最大3枚)、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

1 撮影メニューから[個人認証]を選ぶ(→51)

2 カーソルボタンで[登録]を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[新規登録]を選び、[MENU/SET]を押す

- すでに6人登録されているときは、まず、登録されている人物を解除してください。(→91)

4 顔画像を撮影する



① ガイドに顔を合わせて撮影する
② カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
  - 撮り直す場合は[いいえ]を選ぶ
- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- [DISP.]ボタンを押すと、説明が表示されます。

5 カーソルボタンで編集項目を選び、[MENU/SET]を押す

名前	① カーソルボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]を押す ② 名前を入力する(文字入力方法：→94)
月齢/年齢	誕生日を設定します。 ① カーソルボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]を押す ② ◀▶ で年月日を選び、▲▼ で設定し、[MENU/SET]を押す
フォーカスアイコン	ピントが合うときに表示されるアイコンを変更します。 ① カーソルボタンでフォーカスアイコンを選び、[MENU/SET]を押す
追加登録	顔画像は3枚まで登録できます。 ① 未登録の枠を選び、[MENU/SET]を押す • カーソルボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと、顔画像が消去されます。(画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。) ② 撮影する(上記の手順 4) ③ [🗑 / ↩]ボタンを押す

登録した人物の情報を編集／解除する

登録した人物の情報を修正したり、解除したりできます。

1 撮影メニューから[個人認証]を選ぶ(→51)

2 カーソルボタンで[登録]を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで編集または解除する人物を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す

情報編集	名前など、登録した情報を修正します。(→90)
登録順	ピントや露出の優先順位を設定します。 ① カーソルボタンで登録順を選び、[MENU/SET]を押す
解除	登録した人物の情報や顔画像を消去します。

旅行先で便利な機能

[トラベル日付]

• セットアップメニューの設定について(→51)
旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。

■撮影モード：iA※ P A S M C1 C2 3D SCN 🎨
※記録のみ(設定不可)

1 セットアップメニューから[トラベル日付]を選ぶ(→51)

2 カーソルボタンで[トラベル日付設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで出発日を選択し、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで帰着日を選択し、[MENU/SET]を押す

■[旅行先]を記録する場合
[トラベル日付設定]が設定されているときは、旅行先を設定できます。
① 上記の手順 2 で[旅行先]を選ぶ
② カーソルボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]を押す
③ 旅行先を入力する(文字入力方法：→94)

● トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。[ワールドタイム]で旅行先を設定したときは、旅行先の日付を基に経過日数を表示します。
● [トラベル日付設定]を[OFF]に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に[トラベル日付設定]を[設定]にしても表示されません。
● 出発日より前は、経過日数が記録されません。
● [旅行先]は、GPS機能で画像に記録される地名情報とは別に記録されます。
● 経過日数や旅行先をプリントするときは、[文字焼き込み]を行ってください。
● 画質設定[PSH][FSH][SH]で記録したAVCHD動画には、[トラベル日付]を記録できません。

[ワールドタイム]

• セットアップメニューの設定について(→51)
撮影日時を旅行先の現地時間に合わせます。

■撮影モード：🅰 P A S M C1 C2 3D SCN 🎨

■準備：[自動時刻合わせ]を[OFF]に設定しておく。(→139)

1 セットアップメニューから[ワールドタイム]を選ぶ(→51)

• お買い上げ時は、メッセージが表示されます。その場合は、[MENU/SET]を押して手順 3 へ。

2 カーソルボタンで[ホーム]または[旅行先]を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで地域を選択し、[MENU/SET]を押す



[旅行先]の場合

■サマータイムを設定する場合

手順 3 で ▲ を押す(再度、押すと解除)

• サマータイムを設定すると、現在時刻が1時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。

●画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

●旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に ✈ が表示されます。

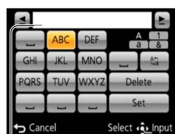
●[自動時刻合わせ]が[ON]の場合、[旅行先]のサマータイムの設定のみ変更できます。

文字を入力する

個人認証機能やシーンモードの[赤ちゃん]［ペット]の名前、［トラベル日付]の旅行先などを登録するときは、カーソルボタンを使って文字を入力します。

1 カーソルボタンで文字を選ぶ

2 希望の文字が表示されるまで[MENU/SET]を押す



カーソル位置

カーソル位置に文字が入力されます。
- 文字の種類を切り換えるとき
  →[切換]を選び、［MENU/SET]を押す

■文字を修正するとき

① カーソルボタンで[◀]［▶]を選んで[MENU/SET]を押し、修正する文字にカーソル位置を移動する
  - ズームレバーでもカーソル位置を移動できます。

② カーソルボタンで[消去]を選び、［MENU/SET]を押す

③ カーソルボタンで正しい文字を選び、［MENU/SET]を押す

3 入力が終わったら、カーソルボタンで[決定]を選び、[MENU/SET]で終了する

●入力できる文字数(＼、「 、」、・、－は2文字として扱います)
かな カナ：最大15文字([個人認証]の名前は最大6文字)
上記以外：最大30文字([個人認証]の名前は最大9文字)
●漢字は入力できません。

撮影メニューを使う

[画像横縦比]

• 撮影メニューの設定について(→51)

写真の横縦比を設定します。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：4:3／3:2／16:9／1:1

●プリント時に端が切れる場合があるので、事前に確認してください。

[記録画素数]

• 撮影メニューの設定について(→51)

画像(粒子)のきめ細かさを設定します。この設定と[クオリティ]の設定で撮影できる枚数が決まります。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：

記録画素数の種類(画像横縦比：4:3)					
14 M 4320×3240	10 M EZ※ 3648×2736	7 M EZ※ 3072×2304	5 M EZ 2560×1920	3 M EZ※ 2048×1536	0.3 M EZ 640×480

記録画素数の種類(画像横縦比：3:2)					
12.5 M 4320×2880	9 M EZ※ 3648×2432	6 M EZ※ 3072×2048	4.5 M EZ※ 2560×1712	2.5 M EZ※ 2048×1360	0.3 M EZ※ 640×424

記録画素数の種類(画像横縦比：16:9)					
10.5 M 4320×2432	7.5 M EZ※ 3648×2056	5.5 M EZ※ 3072×1728	3.5 M EZ※ 2560×1440	2 M EZ※ 1920×1080	0.2 M EZ※ 640×360

記録画素数の種類(画像横縦比：1:1)					
10.5 M 3232×3232	7.5 M EZ※ 2736×2736	5.5 M EZ※ 2304×2304	3.5 M EZ※ 1920×1920	2.5 M EZ※ 1536×1536	0.2 M EZ※ 480×480

※スナップショットモード時は設定できません。

●被写体や撮影状況によっては、画像がモザイク状になることがあります。

設定の目安

画素数が大きい	←→	画素数が小さい
きめ細かい		粗い
撮影枚数が少ない		撮影枚数が多い

[クオリティ]

• 撮影メニューの設定について(→51)
画質を設定します。

■撮影モード：

■設定：(ファイン)：高画質、画質優先／(スタンダード)：標準画質、枚数優先
●シーンモードの[高感度]では、 に固定されます。
●スライド3D撮影モード時は、表示されるアイコンが異なります。
(3D＋ファイン)：MPO画像と高画質のJPEG画像を同時に記録します。
(3D＋スタンダード)：MPO画像と標準画質のJPEG画像を同時に記録します。

[ISO感度]

• 撮影メニューの設定について(→51)
ISO感度(光に対する感度)を自分で設定します。
暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをお勧めします。

■撮影モード：

■設定：AUTO／ISO(インテリジェントISO)／
100／200／400／800／1600／3200

設定の目安

ISO感度	100 ⟷	3200
適した撮影場所	明るい(屋外)	暗い
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える
被写体ブレ	多い	少ない

●[AUTO]は、被写体の明るさに応じて、最大800まで(フラッシュ使用時は最大1600まで)の範囲で自動設定します。
●[ISO(インテリジェントISO)]は、被写体の動きと明るさに応じて、最大1600までの範囲で自動設定します
●次のときは、ISO感度が自動で設定されます。
  • 動画撮影時
  • 連写の 設定時

[ホワイトバランス]

• 撮影メニューの設定について(→51)
色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。

■撮影モード：

■設定： AWB(自動調整、通常推奨)／(晴天の屋外)／(曇りの屋外)／(屋外晴天下の日陰)／(白熱灯)／(SET で設定した値を使用)／SET(手動設定)

●AWB(オートホワイトバランス)に設定すると、光源に合わせて色合いを調整します。ただし、明暗の極端な状況では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。
●蛍光灯やLEDなどの照明下では、[AWB]または[SET]に設定することをお勧めします。
●次のときは、[AWB]に固定されます。
• シーンモードの[風景][夜景&人物][夜景][手持ち夜景][料理][夕焼け]
●電源を切っても設定したホワイトバランスは記憶されます。(シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります)

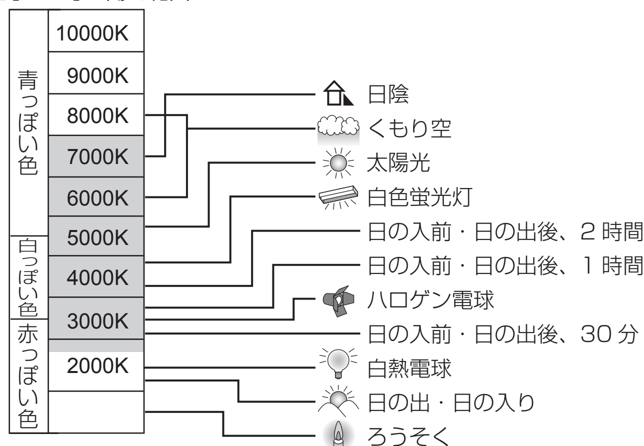
■[][][][][]を微調整するとき
ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。(ホワイトバランス微調整)
① 微調整するホワイトバランスを選び、[DISP.]ボタンを押して[WB微調整]画面を表示する
② 赤みが強いときは ▶ で、青みが強いときは ◀ で調整する
③ [MENU/SET]を押す
• 電源を切っても記憶されます。
• フラッシュ撮影にも反映されます。
• [カラーモード](→103)が[白黒][セピア]のときはできません。

■手動で設定するとき（SET）

① SET を選び、[MENU/SET] を押す
② 紙など白いものを写し、[MENU/SET] を押す
ホワイトバランスが に設定されます。

- 電源をOFFにしても、設定したホワイトバランスは記憶されます。
- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは、適切な明るさに調整して、設定し直してください。

■[AWB]が働く範囲



[オートフォーカスモード]

- 撮影メニューの設定について（→51）

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を変えられます。

■撮影モード：A P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：(顔認識)／(追尾AF)／(23点)／(1点)／(スポット)

人物を正面から撮るとき **(顔認識)**	顔を認識して(最大15人)顔に露出やピントが合います。 AFエリア 黄色：シャッターを半押しし、ピントが合うと緑色に変わる 白色：複数の顔を認識すると表示。黄色のAFエリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。
動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき **(追尾AF)**	被写体をタッチする 追尾AF枠 被写体を認識すると、追尾AF枠が白色から黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続ける。 AFロックに失敗したときは、赤く点滅する。 • タッチシャッター（→29）を解除した状態で行ってください。 • 追尾AFを解除するとき→ をタッチする • ピントが合う範囲（[AF]（AFマクロ）と同じ）（→68） • ▼ でも操作できます。
被写体が中央にないとき **(23点)**	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせます。
ピントを合わせる位置が決まっているとき **(1点)** **(スポット)**	1点：画面中央のAFエリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにお勧め） スポット：限られた狭い範囲内にピントが合います。

●次のときは、[■](1点)に固定されます。
- シーンモードの[ハイスピード動画]
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]

●[・](スポット)でピントが合いにくいときは、[■](1点)にしてください。
●次のときは[顔](顔認識)に設定できません。
- シーンモードの[パノラマ][夜景][手持ち夜景][料理]
- クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス]

●[顔](顔認識)設定時に、カメラが誤って人物以外を顔と認識したときは、[顔](顔認識)以外の設定に変えてください。
●被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、[▦](23点)に切り換わります。
●被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾AFが正しく動作しない場合があります。
追尾AFが働かないときは、[▦](23点)となります。
●次のときは[追尾](追尾AF)に設定できません。
- シーンモードの[パノラマ]
- [カラーモード]の[白黒][セピア]
- クリエイティブコントロールモードの[セピア][ダイナミックモノクローム][ハイダイナミック][トイフォト][ソフトフォーカス]

●[▦](23点)または[・](スポット)に設定している場合、動画撮影中の[オートフォーカスモード]は[■](1点)となります。

[クイックAF]

- 撮影メニューの設定について(→51)

シャッターボタンを押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピントを合わせます。(バッテリーの消費は早くなります)

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN [クリエイティブ]

■設定：ON／OFF

●ズームをW端から一気にT端にしたり、急に被写体に近づくと、ピントが合うのに時間がかかることがあります。
●ピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてください。
●次のときは[OFF]になります。
シーンモードの[夜景＆人物][夜景][手持ち夜景][ハイスピード動画]
●追尾AF動作中は働きません。

[個人認証]

• 撮影メニューの設定について(→51)
詳しくは(→89)

[測光モード]

• 撮影メニューの設定について(→51)
露出を補正するときにどの位置の明るさを測るかを変えられます。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：

測光モード	明るさの測定位置	こんなとき
マルチ測光	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
中央重点	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
スポット	中央の狭い範囲	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき(舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

[暗部補正]

• 撮影メニューの設定について(→51)
背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：弱( )／中( )／強( )／OFF

● [弱]、[中]、[強]は効果の最大範囲を表します。
● 暗部補正が働くと、 の色が変わります。
● [ISO感度]を[100]に設定していても、暗部補正が働いたときは、ISO感度の設定より高い感度で撮影されることがあります。

[下限シャッター速度]

• 撮影メニューの設定について(→51)
シャッター速度の最低速度を設定します。暗い場所で明るく撮りたいときは、遅めに設定することをお勧めします。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：AUTO、1/250、1/125、1/60、1/30、1/15、1/8、1/4、1/2、1

●シャッタースピードが遅いほど暗い場所でも明るく撮れますが、手ブレしやすくなるため三脚とセルフタイマーの使用をお勧めします。
●[1/250]など速い値に設定時は、写真が暗く写りやすいため、明るい場所で撮影することをお勧めします。(写真が暗くなる場合はシャッターボタン半押し時に MIN が赤く点滅します)
●[AUTO]以外を選択すると、画面に MIN を表示します。

[超解像]

• 撮影メニューの設定について(→51)
超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある写真を撮影できます。また、[iA ZOOM]を設定すると、画質の劣化を抑えつつ元のズーム倍率の2倍まで上げることができます。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：ON／iA ZOOM／OFF

●iAズームについて(→65)

[デジタルズーム]

• 撮影メニューの設定について(→51)
光学ズーム、またはEX光学ズームの最大4倍に拡大します。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：ON／OFF

●ズームマクロ設定時は[ON]に固定されます。
●iAズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が2倍までになります。

[連写]

• 撮影メニューの設定について(→51)
詳しくは(→87)

[カラーモード]

• 撮影メニューの設定について(→51)
色の効果をつけます。

■撮影モード：A P A S M C1 C2 3D SCN

■設定： **標準**／**ヴィヴィッド**(くっきり)※1／**白黒**／**セピア**／**Happy**※2

※1 スナップショットモード以外のとき

※2 スナップショットモードのみ

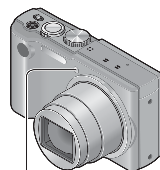
[AF補助光]

• 撮影メニューの設定について(→51)
暗いところでピントを合わせやすくします。

■撮影モード：A P A S M C1 C2 3D SCN

■設定： **ON**： シャッターボタン半押しでランプが点灯

OFF： ランプ消灯(暗やみで動物などを撮るときなど)


AF補助光

● AF補助光ランプの有効距離は1.5 mです。
  • 近くで見たり、指で塞がないでください。
● 次のときは[OFF]に固定されます。
  シーンモードの[風景][夜景][手持ち夜景][夕焼け][ガラス越し][ハイスピード動画]

[デジタル赤目補正]

• 撮影メニューの設定について(→51)
フラッシュの赤目軽減( )で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

■撮影モード：

■設定：ON／OFF

●[オートフォーカスモード]が (顔認識)のときのみ働きます。
●赤目の状態によっては、補正できない場合があります。
●[ON]に設定すると、フラッシュのアイコンに が付きます。

[手ブレ補正]

• 撮影メニューの設定について(→51)
手ブレを自動で感知して補正します。動画撮影時はアクティブモード(動画用手ブレ補正)が自動的に働きます。歩きながら動画を撮影するときなど、大きな揺れに対してブレにくくします。

■撮影モード：

■設定：ON／OFF

●シーンモードの[手持ち夜景]では[ON]に固定されます。
●シーンモードの[パノラマ][ハイスピード動画]では[OFF]に固定されます。
●次のときは補正が効きにくい場合があります。
 • 手ブレが大きいとき
 • ズーム倍率が高いとき(デジタルズーム領域を含む)
 • 被写体の動きが速いとき
 • 室内や薄暗い場所で撮る(シャッタースピードが遅い)とき
●アクティブモードはW端時、より強い補正効果が得られます。
●[画質設定]が[VGA]のMP4動画を撮影する場合、アクティブモードは働きません。

[日付焼き込み]

• 撮影メニューの設定について(→51)
撮影時に日付や日時を写真へ焼き込んで撮影できます。

■撮影モード：A P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：日付／日時／OFF

- 写真に焼き込まれた撮影日時は消せません。
- [オートブラケット] [連写]設定時、動画、およびシーンモードの[パノラマ][ハイスピード動画]時は焼き込めません。
- 日付焼き込みした写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)
- スナップショットモードでは設定を変えられません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

[時計設定]

• 撮影メニューの設定について(→51)
時計を設定します。セットアップメニューの[時計設定]と同じ機能です。

動画メニューを使う

[撮影モード]

• 動画メニューの設定について(→51)

動画のデータ形式を設定します。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN

■設定：

AVCHD	• ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
MP4	• パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

●詳しくは(→38)

[画質設定]

• 動画メニューの設定について(→51)
記録する動画の画質を設定します。

■撮影モード：Ⓐ P A S M C1 C2 3D SCN ◎

■設定：
撮影モードが[AVCHD]のとき

項目	画質(ビットレート)	コマ数	画像横縦比
GPH	1920×1080画素／約28Mbps	60p※2 / 50p※3	16:9
PSH※1			
GFS	1920×1080画素／約17Mbps	60i※2 / 50i※3	
FSH※1			
GS	1280×720画素／約17Mbps	60p※2 / 50p※3	
SH※1			

※1 GPS機能で測位に成功していても、位置情報・地名情報は記録されません。

撮影モードが[MP4]のとき

項目	画質(ビットレート)	コマ数	画像横縦比
FHD	1920×1080画素／約20Mbps	30コマ/秒※2 / 25コマ/秒※3	16:9
HD	1280×720画素／約10Mbps		
VGA	640×480画素／約4Mbps		4:3

※2 カメラモデル18 176 / 18 177の場合
※3 カメラモデル18 175の場合

● 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間当たりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
● シーンモードの[ハイスピード動画]は、QVGA(320×240画素)サイズのMotion JPEGで記録されます。

[AF連続動作]

• 動画メニューの設定について(→51)
動画撮影中もピントを合わせ続けるか、あるいは動画撮影開始時のピント位置で固定するかを設定できます。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN ✿

■設定：ON／OFF(動画撮影開始時のピント位置で固定します。)

[風音低減]

• 動画メニューの設定について(→51)
風が強いときに録音される風の音(風音ノイズ)を自動的に判別し、記録しにくくします。

■撮影モード：iA P A S M C1 C2 3D SCN ✿

■設定：AUTO／OFF

● [風音低減]を[AUTO]に設定しているときは、通常と音質が異なる場合があります。
●次のときは、[OFF] に固定されます。
  • クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
  • シーンモードの[ハイスピード動画]

連写した写真の再生について

、 で撮影した連写画像は、まとめて記録されます。（連写グループ）

■代表画像表示

他の写真や動画と一緒に表示しているときは、代表画像（連写の1枚目）が表示されています。



• 連写グループ内の写真に対し、まとめて消去や編集ができます。
• 動画と同様の操作で連続再生できます。（→45）

■連写グループ内表示

1回の連写で撮影した写真を個別に表示したり、一覧表示できます。

1 をタッチする

連写グループ内表示に切り換わります。



連写グループ内表示では、一連の連写写真以外は表示されません。

• 代表画面表示に戻すとき→ をタッチする

■連写グループ情報の再取得について

電源を入れたときに （情報取得中アイコン）が表示される場合があります。
 が表示されている間は、画像を消去したり、再生メニューが使えません。また、再生モードは［通常再生］か［カレンダー検索］のみとなります。

- 連写グループ内表示中は、再生メニューが使えません。
- [スライドショー]および[絞り込み再生]で、[GPS地名別]や[お気に入り]再生時は、連写グループをまとめて表示できません。
- 連写グループをまとめて[トリミング(切り抜き)]することはできません。
- 写真の合計が、50000枚を超えると、それ以降に連写した写真はグループ化されません。また、消去などで連写グループに1枚しか残らない場合もグループ化されません。
- 他機で撮影した連写画像は、連写グループ画像として認識されない場合があります。
- 時計設定を行わずに撮影した場合、連写画像はグループ化されません。

いろいろな再生方法
（再生モード）

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 再生モードで[MENU/SET]を押す

メニュー選択画面が表示されます。

2 カーソルボタンで[再生モード]メニューを選び、[MENU/SET]を押す



- タッチ操作でもメニューの種類を選択できます。

3 カーソルボタンで再生モードを選び、[MENU/SET]を押す

- 通常再生(→42)
- 2D/3D切換(→160)
- スライドショー(→112)
- 絞り込み再生(→114)
- カレンダー検索(→114)

●カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像を再生します。
●撮影/再生切換スイッチを ▶ にして電源を入れたときや、撮影モードから再生モードに切り換えたときは、再生モードは自動的に[通常再生]になります。

[2D/3D切換]

- 再生モードの切り換えについて(上記)

3D画像の再生方法を切り換えることができます。HDMI出力時のみ表示されるメニューです。3D写真を再生する方法について(→159)

[スライドショー]

• 再生モードの切り換えについて(→111)
音楽に合わせて写真や動画を順に自動再生します。テレビで見るときにお勧めです。

1 カーソルボタンで再生方法を選び、[MENU/SET]を押す

全画像	すべての画像を再生。
写真のみ	写真のみ再生。
動画のみ	動画のみ再生。
3D	スライド3D撮影モードで撮影した3D写真のみ再生。
GPS地名別	地名またはランドマークを選択して、同じ場所で撮影した画像を再生。(カーソルボタンで地名またはランドマークを選び、[MENU/SET]を押してください)
トラベル	[トラベル日付設定]または[旅行先]を設定して撮影した画像のみ再生。(→114)
カテゴリー選択	カテゴリーを選択して再生。(カーソルボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください)(→114)
お気に入り	[お気に入り]に設定した画像のみ再生。(→122)

2 カーソルボタンで再生効果を設定し、[MENU/SET]を押す

効果(画像の雰囲気にあった音楽と効果を選ぶ)	
おまかせ([カテゴリー選択]設定時のみ)/ナチュラル/スロー/スウィング/アーバン/OFF※	
設定	
再生間隔	1秒/2秒/3秒/5秒(効果[OFF]設定時のみ設定可能)
リピート	ON/OFF
音設定	OFF:音楽も音声も再生しません。 AUTO:写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。 音楽:効果の音楽を再生します。 音声:動画の音声を再生します。

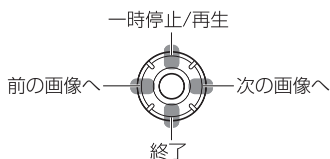
※次の場合、効果は[OFF]に固定されます。
- [動画のみ]
- カテゴリー選択の[連写]

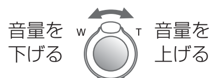
3 カーソルボタンで[開始]を選び、[MENU/SET]を押す

■スライドショー中の操作

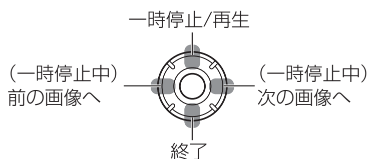
画面の右下に操作ガイドが表示されます。
- 約2秒間何も操作しないと消えます。再表示したいときは、[DISP.]ボタンを押してください。

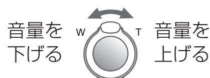
動画/連写グループ/パノラマ写真再生中





写真再生中





●[アーバン]は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
●パノラマ写真が再生されるときは、[再生間隔]の設定が無効となります。
●HDMIミニケーブル(別売)でテレビに表示するときや、縦向きに撮影した画像を表示するときは、一部の[効果]が動作しません。
●音楽効果を追加することはできません。

[絞り込み再生]

• 再生モードの切り換えについて(→111)

選択したカテゴリーの画像やお気に入りの画像を絞り込んで見ることができます。

1 カーソルボタンで絞り込む方法を選び、[MENU/SET]を押す

<table>
<tr><td>写真のみ</td><td>写真のみ再生します。</td></tr>
<tr><td>動画のみ</td><td>動画のみ再生します。</td></tr>
<tr><td>3D</td><td>スライド3D撮影モードで撮影した3D写真のみ再生します。</td></tr>
<tr><td>GPS地名別</td><td>撮影した場所の地名やランドマークを選んで再生します。
① カーソルボタンで再生する地域を選び、[MENU/SET]を押す
② カーソルボタンで地名やランドマークを選び、[MENU/SET]を押す</td></tr>
<tr><td>トラベル</td><td>[トラベル日付]を設定中に撮影した画像を再生します。
① カーソルボタンで日付で再生するか、旅行先で再生するかを選び、[MENU/SET]を押す
• [全画像]を選ぶと、[トラベル日付]設定中に撮影した画像を再生します。
② カーソルボタンで日付や旅行先を選び、[MENU/SET]を押す</td></tr>
<tr><td>カテゴリー選択</td><td>シーンモードなどのカテゴリー別に画像を絞り込んで再生します。
① カーソルボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押す
<table>
<tr><td></td><td>個人認証で撮影した画像</td></tr>
<tr><td></td><td>人物、i人物、美肌、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん</td></tr>
<tr><td></td><td>風景、i風景、パノラマ、夕焼け、i夕焼け、ガラス越し</td></tr>
<tr><td></td><td>夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、手持ち夜景、i手持ち夜景</td></tr>
<tr><td></td><td>スポーツ</td></tr>
<tr><td></td><td>赤ちゃん、i赤ちゃん</td></tr>
<tr><td></td><td>ペット</td></tr>
<tr><td></td><td>料理</td></tr>
<tr><td></td><td>連写(40、60 のみ)</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>お気に入り</td><td>[お気に入り]に設定した画像を再生します。(→122)</td></tr>
</table>

[カレンダー検索]

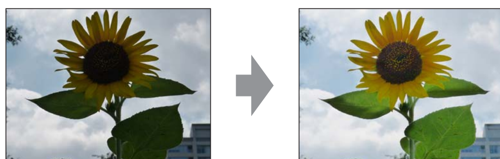
• 再生モードの切り換えについて(→111)

カレンダー画面で撮影日を選んで、その日に撮った画像だけを見ることができます。(→44)

撮影した写真をレタッチする

[かんたんレタッチ]

写真の色や明るさのバランスを整えます。
- [かんたんレタッチ]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量を確認してから編集してください。



- 画像はイメージです。

1 再生中にレタッチする写真を選び、▲ を押す

2 カーソルボタンで[かんたんレタッチ]を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと新規保存されます。
- [OFF]を選ぶと、元の状態を表示できます。

●写真によっては効果が分からない場合があります。
●写真によっては、レタッチ後にノイズが強調される場合があります。
●すでにレタッチされた写真は、[かんたんレタッチ]ができない場合があります。
●他機で撮影した写真には、レタッチできない場合があります。
●連写グループに対して、まとめてレタッチすることはできません。連写グループ内のそれぞれの画像を表示してから操作してください。
●次の画像はレタッチできません。
- 動画
- パノラマ写真
- 3D写真

[クリエイティブレタッチ]

撮った写真を、お好みの効果を選んでレタッチします。
- [クリエイティブレタッチ]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量を確認してから編集してください。

1 再生中にレタッチする写真を選び、▲ を押す

2 カーソルボタンで[クリエイティブレタッチ]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲▼ で設定を選ぶ

- 効果を反映した画像が表示されます。
- [OFF]を選ぶと、元の状態を表示できます。

設定	効果
POP ポップ	色を強調したポップアート風の画像効果です。
RETR レトロ	色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。
HKEY ハイキー	全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。
MONO ダイナミックモノクローム	コントラストを高めにし、力強い雰囲気のモノクロ写真に仕上げる画像効果です。
TOY トイフォト	周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。 • [DISP.]ボタンを押して、カーソルボタンで色の効果を選ぶこともできます。
SOFT ソフトフォーカス	全体を少しぼかし、柔らかい雰囲気に仕上げる画像効果です。

4 [MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと新規保存されます。

- 写真によっては効果が分からない場合があります。
- 他機で撮影した写真には、できない場合があります。
- 連写グループに対して、まとめてレタッチすることはできません。連写グループ内のそれぞれの画像を表示してから操作してください。
- 次の画像はレタッチできません。
  - 動画
  - パノラマ写真
  - 3D写真

再生メニューを使う

選択した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。
- 再生メニューの表示や操作方法について(→51)
- モードにより、表示されるメニューの種類や項目は異なります。
- 他機で撮影した画像は、設定や編集ができない場合があります。
- [文字焼き込み]や[リサイズ(縮小)]、[切り抜き]などは、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量を確認してから編集してください。

[タイトル入力]

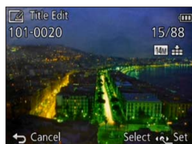
- 再生メニューの表示や操作方法について(→51)

お好みの写真にタイトルなどを付けることができます。

1 カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

2 写真を選ぶ

●[1枚設定]のとき
カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す



●[複数設定]のとき(100枚まで)
カーソルボタンで写真を選び、[DISP.]ボタンを押す



タイトル入力設定
タイトル入力済み
- 解除するとき
→再度[DISP.]ボタンを押す
- 実行するとき
→[MENU/SET]を押す

3 文字を入力する(文字入力方法：→94)

タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。

●次の画像にはタイトルを設定できません。
- 動画
- 3D写真

●設定した文字を印刷するには、[文字焼き込み]を行ってください。

[GPS情報編集]

詳しくは(→138)

[文字焼き込み]

• 再生メニューの表示や操作方法について(→51)
撮影日時、地名情報、シーンモードの[赤ちゃん][ペット]、[トラベル日付]、[タイトル入力]で登録した文字を写真に焼き込みます。

1 カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

2 写真を選ぶ

● [1枚設定]のとき
カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す



● [複数設定]のとき(100枚まで)
カーソルボタンで写真を選び、[DISP.]ボタンを押す



文字焼き込み設定
• 解除するとき
→再度[DISP.]ボタンを押す
• 実行するとき
→[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで項目(→119)を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで設定(→119)を選び、[MENU/SET]を押す

6 [▥ / ↶]ボタンを押す

7 カーソルボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]を押す

8 カーソルボタンで月齢/年齢を焼き込むかどうかを選び、[MENU/SET]を押す

• 手順 5 で[名前]が[OFF]の場合、この手順は表示されません。
• 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

■焼き込める項目

撮影日時	[日付]：撮影日を焼き込む [日時]：撮影日時を焼き込む
名前	：個人認証に登録された名前を焼き込む /：[赤ちゃん]［ペット]で登録された名前を焼き込む
旅行先	セットアップメニューの[トラベル日付]で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	セットアップメニューの[トラベル日付]で設定された旅行日を焼き込む
タイトル	[タイトル入力]で登録した文字を焼き込む
国／地域	GPS機能で記録した地名情報を焼き込む • 地名やランドマーク名などが長い場合、すべてが焼き込まれない場合があります。
県／州	
市区／郡	
町／村	
ランドマーク	

• [OFF]の項目は焼き込みません。

●次の画像には文字焼き込みができません。
- 動画
- 3D写真
- 日付焼き込み済みの写真
- 文字焼き込み済みの写真
- 時計未設定で撮影した写真
- パノラマ写真

●プリンターによっては文字が切れることがあります。
●0.3 M以下の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
●**文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）**

[リサイズ(縮小)]

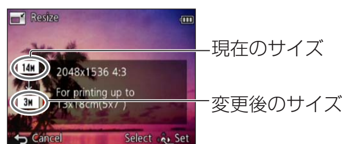
• 再生メニューの表示や操作方法について(→51)
ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量(記録画素数)を小さくします。(いちばん小さい記録画素数で撮影した写真は、それ以上小さくできません)

■1枚設定

1 カーソルボタンで[1枚設定]を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンでサイズを選び、[MENU/SET]を押す



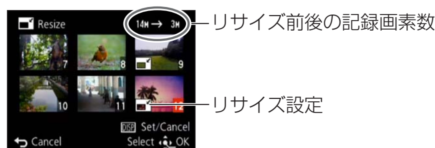
• 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

■複数設定

1 カーソルボタンで[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンでサイズを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで写真を選び、[DISP.]ボタンを押す(100枚まで)



• 解除するとき
→再度[DISP.]ボタンを押す
• 実行するとき
→[MENU/SET]を押す

• 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

●リサイズすると画質が粗くなります。
●次の画像は、リサイズできません。
• 動画
• 3D写真
• 日付焼き込み済みの写真
• 文字焼き込み済みの写真
• パノラマ写真

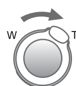
[トリミング(切抜き)]

• 再生メニューの表示や操作方法について(→51)
写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

1 カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

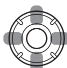
2 写真を切り抜く部分を表示して、[MENU/SET]を押す





拡大する




移動する

• 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

●トリミングすると画質が粗くなります。
●次の画像は、トリミングできません。
  • 動画
  • 日付焼き込み済みの写真
  • 文字焼き込み済みの写真
  • パノラマ写真
  • 3D写真
●トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。

[お気に入り]

• 再生メニューの表示や操作方法について(→51)
気に入った画像に ★ 印を付けておくと、お気に入り画像だけを再生したり、お気に入り画像以外を全消去したりすることができます。

1 カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

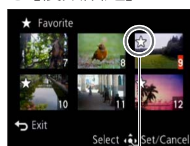
2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

●[1枚設定]のとき



お気に入り設定

●[複数設定]のとき



お気に入り設定

• 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

■全解除するとき
手順 **1** で[全解除]を選ぶ→[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

[プリント設定]

• 再生メニューの表示や操作方法について(→51)
DPOFプリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。(対応しているかどうかはお店に確認してください)

1 カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで枚数を設定し、[MENU/SET]を押す

([複数設定]時は 2 と 3 を繰り返す(999枚まで))

●[1枚設定]のとき



●[複数設定]のとき



• 日付プリントを設定／解除するとき→[DISP.]ボタンを押す

■全解除するとき
手順 1 で[全解除]を選ぶ→[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

●プリンターによっては、プリンター側の設定が優先される場合があります。
●DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。
●他機で設定されたDPOF情報(プリント設定)は利用することができない場合があります。その場合、DPOF情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
●[日付焼き込み]を設定して撮影した写真や[文字焼き込み]済みの画像には、日付プリントを設定できません。
●動画には設定できません。

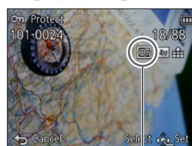
[プロテクト]

• 再生メニューの表示や操作方法について(→51)
誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

1 カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

●[1枚設定]のとき



プロテクト設定

●[複数設定]のとき



プロテクト設定

• 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

■全解除するとき
手順 1 で[全解除]を選ぶ→[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

●本機以外では無効になることがあります。

[認証情報編集]

- 再生メニューの表示や操作方法について(→51)

間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。

1 カーソルボタンで[入換え]または[解除]を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで人物を選び、[MENU/SET]を押す

- [解除]の場合は手順 5 へ
- 個人認証情報が登録されていない人物は選択できません。

4 カーソルボタンで入れ換えたい人物を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

● 解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
● 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー選択]の個人認証に分類されません。
● プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

[画像コピー]

• 再生メニューの表示や操作方法について(→51)
内蔵メモリーとカードとの間で、画像のコピーができます。

1 カーソルボタンでコピーのしかた(方向)を選び、[MENU/SET]を押す

IN→SD：内蔵メモリーからカードへ、全画像をコピー。(手順 3 へ)
SD→IN：カードから内蔵メモリーへ、1枚コピー。

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

• 中止するとき→[MENU/SET]を押す

● コピーには時間がかかることがあります。コピー中は、電源を切ったり他の操作をしないでください。
● コピー先に同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)がある場合、[IN→SD](内蔵メモリーからカード)時は新しいフォルダーを作成してコピーします。[SD→IN](カードから内蔵メモリー)時はその画像はコピーされません。
● 次の設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
  • プリント設定　• プロテクト設定　• お気に入り設定
● ライカ製デジタルカメラ(Digilux、Digilux4.3、Digilux Zoomを除く)の画像のみコピーできます。
● AVCHD動画はコピーできません。

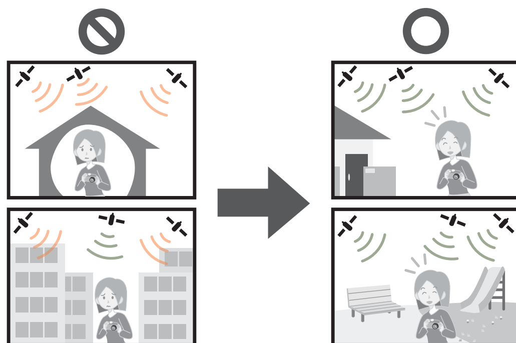
GPSで撮影した位置を記録する

お使いの前に、「GPSについて」(→8)と、「地名・地図データ使用許諾契約書」(→188)をお読みください。

GPSとは、グローバル・ポジショニング・システム（Global Positioning System)の略で、GPS衛星を利用して自分の位置を確認することができるシステムです。複数のGPS衛星から軌道情報と時刻情報を含む電波を受信して現在位置を計算することを「測位」といいます。
本機では、撮影した場所の位置情報を画像に記録できます。また、自動で時刻を補正したり、再生時に撮影地を地図上に表示することができます。

測位に失敗しないために

- 屋外の空のひらけた場所でGPSアンテナ部(→128)を上空に向け、カメラをしばらく静止した状態で使用することをお勧めします。
- 次のような場所では、GPS衛星からの電波が正しく受信できないため、測位できなかったり、大きな誤差が発生する場合があります。
  - 屋内
  - 森の中
  - 電車や車などで移動中
  - 高圧電線の近く
  - ビルの地下
  - ビルの近くや谷間
  - トンネルの中
  - 1.5 GHz帯の携帯電話などの近く



- GPSアンテナ部は、手などで覆わないでください。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のかばんなどに入れないでください。金属などで覆われると測位できません。

GPS機能を使って測位する

[GPS設定]を[ON]に設定すると、定期的にGPS衛星の電波を受信して測位を行います。測位に成功すると、撮影した写真や動画(画質設定[PSH] [FSH] [SH]を除く)に地名情報と位置情報(緯度／経度)が記録されます。

- 最初に本機の時計を設定したときに、GPS機能を使って自動で時刻を補正する設定にしているときは、[GPS設定]が[ON]に設定されています。

1 [MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[GPS設定]を選び、[MENU/SET]を押す



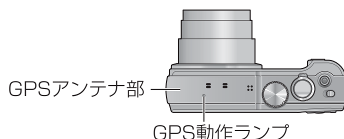
4 カーソルボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- メッセージ画面が表示されます。確認後、[MENU/SET]を押してください。

GPS設定	説明
ON	定期的に測位を行います。電源をOFFにしても、測位を継続します。 (一定時間が経過すると、測位を停止します。)
OFF	GPS機能をOFFにします。
情報	現在の受信状態が確認できます。

■測位中の動作について

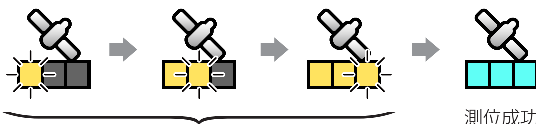
測位中はGPS動作ランプが点灯し、
画面に測位中のアイコンが表示されます。
(→129)



■測位状況と結果の表示

液晶モニターに測位状況と結果を示すアイコンが表示されます。
測位に成功すると、本機に現在位置が記憶され、画面に地名情報が表示されます。

測位中のアイコン表示



測位成功

受信した衛星の数だけ、点滅から点灯に変化します。
3つ点灯せずにアイコンが消えた場合は、測位失敗です。



地名情報
- 国／地域
- 県／州
- 市区／郡
- 町／村
- ランドマーク

測位結果のアイコン表示

アイコン	測位成功後の経過時間
GPS ~5	5分以内
GPS ~60	5分～1時間
GPS ~120	1時間～2時間
GPS 120~	2時間以上
GPS	測位できていません

次の場合は、電波の受信状態が良くても測位成功までに約2～3分かかります。
- 初めて測位するとき
- [GPS設定]を[OFF]にしていたとき
- [機内モード]を[ON]にして電源を切っていたとき
- バッテリーを取り外したとき

「GPS Assist Tool」を使ってGPSアシストデータを本機にコピーすると、測位時間を短縮することができます。**(→140)**

■撮影した画像に記録される情報

測位に成功すると、撮影した写真や動画※(画質設定[PSH] [FSH] [SH]を除く)に次の情報が記録されます。

- 位置情報(緯度/経度)
- 地名情報(国/地域、県/州、市区/郡、町/村、ランドマーク)

※撮影開始時の情報のみ記録されます。

●位置情報や地名情報が記録された画像は、再生時に GPS が表示されます。
●測位が成功した直後(地名情報が表示されるまで)に撮影した画像には、位置情報のみが記録されます。

- 位置情報のみが記録された画像は、再生時に地名情報を追記することができます。

■地名情報について

地名情報は、測位した緯度・経度を基に本機のデータベースから地名やランドマークを検索し、最適なものを表示します。(最短距離にあるものを表示しない場合があります)

- 適した地名やランドマークがない場合は、測位に成功していても[---]と表示されます。表示が[---]の場合でも[GPS地名変更]で地名情報を選択できる場合があります。(→135)
- 希望のランドマークが登録されていない場合があります。ランドマークなど、地名情報は2011年12月現在のものです。(ランドマークの種類(→194))

●地名情報(地名やランドマーク名)は正式な名称とは異なる場合があります。

今すぐ測位して現在位置を更新する

表示されている地名が現在地と異なる場合や、以前いた場所が表示されている場合は、測位更新を行ってください。

測位に成功してから時間が経過している場合(GPS~60 GPS~120 GPS120~ GPS が表示されている場合)は、測位更新することをお勧めします。

あらかじめ測位しやすい環境で操作してください。(→127)

1. 撮影モードでGPSのアイコンをタッチする

2. [測位更新]をタッチする

   測位中はGPS動作ランプが点灯し、画面に測位中のアイコンが表示されます。



●次の操作でも、測位を更新します。

- クイックメニューの[GPS]の項目を[GPS]に設定し直す
- GPSメニューから[測位更新]を選ぶ

■測位の間隔について

測位更新を行わなくても、[GPS設定]が[ON]のときは、電源ON直後および一定時間間隔で自動的に測位を行います。
[機内モード]が[OFF]のときは、電源OFF時も、環境に応じた間隔で測位を行います。
ただし、次の場合は測位を中断します。

- バッテリー残量が減り、▭ となった場合
- 一定時間、電源をONにしなかった場合

■GPSの受信状態を表示する

①GPSメニューから[GPS設定]を選ぶ：手順 1 ～ 3 を行う(→128)
②カーソルボタンで[情報]を選び、[MENU/SET]を押す
- さらに[MENU/SET]を押すと、測位更新します

- 画面の見方
  - ◷：測位した時刻
  - 🛰：受信したGPS衛星の数
  - GPS：緯度
    経度

地名情報の表示を変更する

測位した地名情報の画面表示を変更できます。

1. [MENU/SET]を押す
2. カーソルボタンで[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
3. カーソルボタンで[地名表示設定]を選び、[MENU/SET]を押す
4. カーソルボタンで表示を変更する項目を選び、[MENU/SET]を押す



5. カーソルボタンで表示する項目は[ON]を、表示しない項目は[OFF]を選び、[MENU/SET]を押す

電源を切っているときに測位しないようにする

[GPS設定]を[ON]に設定していると、電源をOFFにしても、GPS機能が働きます。
電源OFF時は測位しないようにするには、[機内モード]を[ON]に設定してください。

1 [MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[機内モード]を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内(離着陸時)や使用を禁止された区域では、[GPS設定]を[OFF]、または[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源をOFFにしてください。

記録する地名情報を変更する

測位結果に他の候補地があるときは、近隣の地名やランドマークに変更できます。
- 他の地名情報を選択できる場合は、地名情報の前に GPS が表示されます。
- GPSアイコンをタッチして、[GPS地名変更]をタッチしても操作できます。

1 [MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[GPS地名変更]を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで変更する項目を選び、[MENU/SET]を押す



5 カーソルボタンで表示される候補から地名やランドマークを選び、[MENU/SET]を押す

■地名やランドマークを記録しないとき

上記の手順 4 で[全地名を消去]を選ぶと、地名やランドマークは記録されません。
また、手順 5 で[～を消去]を選ぶと、選択した地名より下位の地名やランドマーク（例えば、[市区／郡]を消去した場合は、[町／村]や[ランドマーク]）も記録されません。
- ただし、緯度や経度は記録されます。記録したくない場合は、[GPS設定]を[OFF]にしてください。
- 記録しないように設定した地名やランドマークを元に戻す場合は、もう一度[GPS地名変更]を行ってください。

●大きな公園などでは、ランドマークが表示されなかったり、異なるランドマークが表示されることがあります。[GPS地名変更]で希望のランドマークが選択できない場合は、撮影前に[マイランドマーク登録]を行うか(→152)、撮影後に[地名情報編集]を行ってください。(→138)

記録されたGPSの情報を変更する

[位置情報編集]

画像に記録された位置情報(緯度・経度)を編集できます。
- 撮影時にGPSの情報(位置情報や地名情報)が記録された画像(再生画面に GPS が表示される画像)のみ、位置情報を編集できます。
- 位置情報を編集すると、地名情報は消去されます。

準備：地図を使って位置情報を編集する場合は、あらかじめDVD(付属)に収録されている地図データをカードにコピーしておく。(→150)

1. [MENU/SET]を押す
2. カーソルボタンで[再生]メニューまたは[地図]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
3. カーソルボタンで[GPS情報編集]を選び、[MENU/SET]を押す
4. カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す
5. カーソルボタンで[位置情報編集]を選び、[MENU/SET]を押す
6. カーソルボタンで編集方法を選び、[MENU/SET]を押す

■地図から位置を指定する場合
①カーソルボタンで[地図を使う]を選び、[MENU/SET]を押す
②変更する位置に地図を移動し、[MENU/SET]を押す
- 地図の操作について(→145)
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと位置情報が上書きされます。

■他の画像の位置情報を参考にする場合
①カーソルボタンで[別の画像を使う]を選び、[MENU/SET]を押す
②カーソルボタンで撮影地の参考にする画像を選び、[MENU/SET]を押す
画像に記録された位置を中心に地図が表示されます。
③変更する位置に地図を移動し、[MENU/SET]を押す
- 地図の操作について(→145)
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと位置情報が上書きされます。

■編集した位置情報を他の画像にも適用する場合
①カーソルボタンで[直前データのコピー]を選び、[MENU/SET]を押す
直前に編集した位置情報が表示されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと位置情報が上書きされます。

●地図で指定した位置の位置情報は実際の緯度・経度とは誤差が生じる場合があります。

[地名情報編集]

画像に記録された地名やランドマーク名を編集できます。

1 [MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで[再生]メニューまたは[地図]メニューを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[GPS情報編集]を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで[地名情報編集]を選び、[MENU/SET]を押す

6 カーソルボタンで編集方法を選び、[MENU/SET]を押す

■候補から選択する場合

①カーソルボタンで[候補から選択]を選び、[MENU/SET]を押す
②カーソルボタンで編集する項目を選び、[MENU/SET]を押す
画像に記録された位置情報に近い地名やランドマーク名が検索されます。
③地名またはランドマーク名を選び、[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと地名情報が上書きされます。

■直接編集する場合

①カーソルボタンで[直接入力]を選び、[MENU/SET]を押す
②カーソルボタンで編集する項目を選び、[MENU/SET]を押す
③文字を入力する(文字入力方法：→94)
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと地名情報が上書きされます。

■編集した地名やランドマーク名を他の画像にも適用する場合

①カーソルボタンで[直前データのコピー]を選び、[MENU/SET]を押す
直前に選択、または入力した地名およびランドマーク名が表示されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと地名情報が上書きされます。

GPSを使って時計を合わせる

GPSの電波に含まれる日時の情報を用いて、本機の[時計設定]を自動で更新できます。お住まいの地域から旅行などで時差のある地域に移動したときも、測位に成功すると自動的に現地時間に合わせます。

1 セットアップメニューから[自動時刻合わせ]を選び、[MENU/SET]を押す

- セットアップメニューの表示方法(→51)

2 カーソルボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

3 (初回のみ)
[ホームエリアを設定してください]と表示されたら、[MENU/SET]を押す

4 ◀▶ でお住まいの地域を選択し、[MENU/SET]を押す

都市・地域名　　現在時刻



GMT(グリニッジ標準時)との時差

- [自動時刻合わせ]を[ON]に設定すると、自動的に次の設定も変更されます。
  - [GPS設定]：[ON]
  - [ワールドタイム]：[旅行先]
    [旅行先]の地域は選択できません。(サマータイムの設定は可能です)
    地域を選択するときは、[自動時刻合わせ]を[OFF]にして、[ワールドタイム]を設定してください。(→93)
- [自動時刻合わせ]で補正される日時は、電波時計のように正確ではありません。
  正しく補正されない場合は、[時計設定]で合わせ直してください。

測位にかかる時間を短くする

測位に必要なGPS衛星の予測衛星情報(GPSアシストデータ)を事前に本機にコピーしておくことで、測位時間を短縮できます。
- GPSアシストデータを入手するためには、インターネットに接続可能なパソコンが必要です。
- 本機の時計が未設定の場合は、GPSアシストデータを利用できません。

● GPSアシストデータの有効期間は、30日です。
● GPSアシストデータは、毎日1回更新されています。
● GPSアシストデータの提供サービスは、予告なく変更や終了になる場合があります。(本サービスは、2012年1月現在のものです)

「GPS Assist Tool」について

「GPS Assist Tool」を使うと、インターネットからGPSアシストデータをダウンロードして、本機のGPSアシストデータを更新できます。

■動作環境

対応OS	Windows® XP(32 bit)SP3 Windows Vista®(32 bit)SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit)およびSP1 Mac® OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7

- パソコンへのインストールは不要です。

■「GPS Assist Tool」の利用方法

以下の方法で「GPS Assist Tool」を利用できます。

本機とパソコンを接続して、本機に収録されている「GPS Assist Tool」を実行する 141

カードに「GPS Assist Tool」をコピーし、カードリーダーライター(市販品)を使って実行する 142

「GPS Assist Tool」の使い方

■本機とパソコンを接続して使う場合

準備：パソコンの電源を入れ、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了させておく。

1 [MENU/SET]を押す

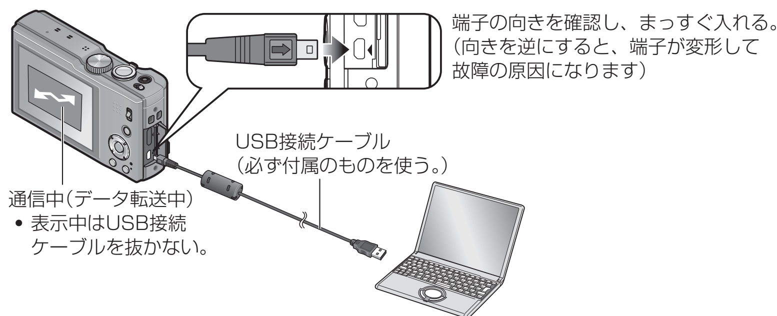
2 カーソルボタンで[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[アシストデータ]を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで[更新]を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで[USB接続]を選び、[MENU/SET]を押す

6 本機とパソコンを接続する



7 パソコンで「GPS Assist Tool」を起動し、GPSアシストデータを更新する(→143)

本機のGPSアシストデータが更新されます。

8 本機とパソコンとの接続を解除し、USB接続ケーブルを取り外す

- 本機をパソコンに接続するときに[USBモード](→58)で[GPSアシストデータ]を選んだ場合も、同様に操作できます。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。

■カードリーダーライター(市販品)を使う場合

準備：
- カードリーダーライター(市販品)が接続されているパソコンの電源を入れ、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了させておく。
- 本機にカードを入れておく。

1. 「本機とパソコンを接続して使う場合」の手順 1 ～ 4 を行う
   (→141)
2. カーソルボタンで[SDカード]を選び、[MENU/SET]を押す
   「GPS Assist Tool」がカードにコピーされます。
3. 本機の電源をOFFにし、カードを取り出す
4. パソコンに接続されたカードリーダーライター(市販品)にカードを入れる
5. パソコンでカードの「GPS Assist Tool」を起動し、GPSアシストデータを更新する(→143)
6. カードを取り出す
7. 本機にカードを入れ、電源をONにする
   本機のGPSアシストデータが更新されます。

GPSアシストデータを更新する

1 パソコンで「GPS Assist Tool」を起動する

■Windowsの場合

①接続した本機またはカードにある[GPSASIST.EXE]をダブルクリックする
「GPS Assist Tool」が起動します。
- カードに「GPS Assist Tool」をコピーした場合は、[AD_LEICA]フォルダー内に[GPSASIST.EXE]が保存されています。

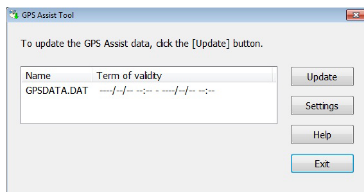
■Macの場合

①接続した本機またはカードにある[GPSASIST.DMG]をダブルクリックする
- カードに「GPS Assist Tool」をコピーした場合は、[AD_LEICA]フォルダー内に[GPSASIST.DMG]が保存されています。

②[GPSASIST]をダブルクリックする
「GPS Assist Tool」が起動します。

2 「GPS Assist Tool」を操作する

①[更新]をクリックする
②[はい]をクリックする
③[OK]をクリックする
④[終了]をクリックする
- データが更新されるまで、本機またはカードとパソコンとの接続は解除しないでください。



3 本機またはカードとパソコンとの接続を解除する

- Windowsの場合：タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し」を実行
- Macの場合：Finderのサイドバーにある取り出しアイコンをクリック

■プロキシの設定を変更する場合

プロキシを経由してインターネットに接続している場合で、GPSアシストデータの更新がうまくいかない場合のみ、プロキシの設定を行ってください。
①[設定]をクリックする
②プロキシの設定を行う
- Windowsの場合：[プロキシサーバーを使用する]を有効にして、設定を変更してください。
- Macの場合：表示されるシステム環境設定画面のネットワークの設定画面で変更してください。

GPSアシストデータの有効期間を確認する

GPSアシストデータの有効期間は、30日です。新しいGPSアシストデータの使用をお勧めします。

1. [MENU/SET]を押す
2. カーソルボタンで[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
3. カーソルボタンで[アシストデータ]を選び、[MENU/SET]を押す
4. カーソルボタンで[有効期間]を選び、[MENU/SET]を押す

●パソコンで「GPS Assist Tool」を起動したときに、画面上でも有効期間を確認できます。

地図機能を使う

画像の撮影地や現在位置を地図上に表示できます。
- DVD(付属)に収録されている地図のデータをカードにコピーすると、より詳細な地図を表示できます。(→149)
- 記録される地名情報と地図上に表示される地名などは、一致しない場合があります。
- 地図に表示される海外の地名の多くは、アルファベットなどで表示されます。

画像の撮影地を地図で確認する

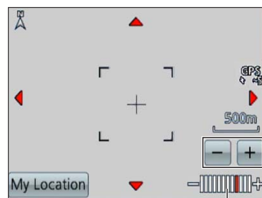
画像に位置情報／地名情報が記録されている場合は、地図上に撮影した場所を表示することができます。

1 再生モードで画像を表示する

• 位置情報や地名情報が記録された画像は、再生時に GPS が表示されます。

2 [MAP(マップ)]ボタンを押す

撮影地付近の地図が表示されます。(位置情報や地名情報がない画像の場合は、広域な地図が表示されます)



タッチして地図を拡大／縮小
(ズームレバーでも操作できます)

地図の縮尺レベル(地域により、表示できる段階が異なります)

• 地図の表示方向は変更できません。常に北を上に表示します。

• 画面をドラッグするか、カーソルボタンを押すと、地図の表示位置を操作できます。
• [🗑 / ↩]ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

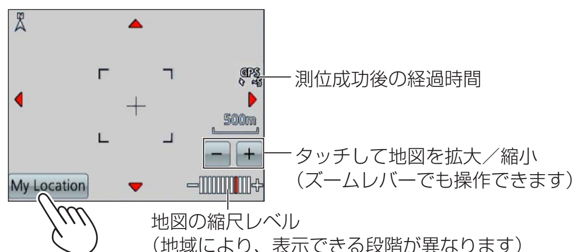
- 実際の撮影地と地図に表示される位置は、一致しない場合があります。
- 地図を拡大／縮小する場合、表示に時間がかかる場合があります。
- GPS機能が搭載されたライカ製デジタルカメラで撮影した位置情報や地名情報が記録された画像のみ、地図に撮影地を表示できます。

現在位置を地図に表示する

GPSで測位できている場合は、地図上に現在地を表示することができます。
- [GPS設定]を[ON]にしておいてください。(→128)

1 再生モードで[MAP(マップ)]ボタンを押す

2 [現在地]をタッチする



- 画面をドラッグするか、カーソルボタンを押すと、地図の表示位置を操作できます。
- [🗑 / ↩]ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
- 地図メニューの[現在地表示]でも、現在地を地図に表示できます。

現在地を表示しているときは、一定時間間隔で測位します。測位に成功すると、地図表示が更新されます。

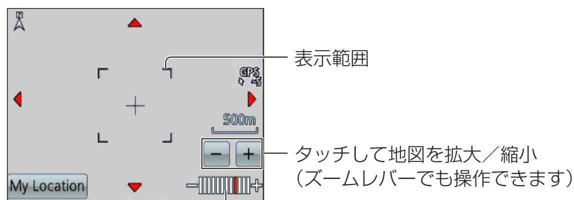
●本機にナビゲーション機能はありません。
●条件により、現在地の表示が実際と大きく異なる場合があります。
- 測位成功から時間が経過している場合
- 移動する速度が速い場合

同じ地域で撮影した画像を絞り込んで表示する

地図上で撮影した地域を選んで、表示する画像を絞り込むことができます。

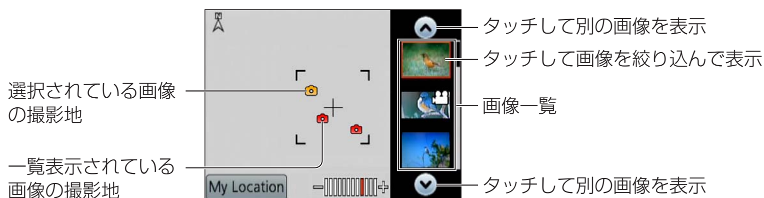
1 再生モードで[MAP(マップ)]ボタンを押す

2 撮影地が表示範囲に含まれるように地図表示を操作する



- 画面をドラッグするか、カーソルボタンを押すと、地図の表示位置を操作できます。

3 [DISP.]ボタンを押す



4 画像一覧に表示されている画像をタッチする

撮影地が表示範囲に含まれている画像のみ表示されます。（絞り込み再生）

- カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押しても、画像を表示できます。
- 絞り込み再生を解除するときは、再生モードメニューから[通常再生]を選んでください。

●地図を最広域で表示している場合は、撮影地や画像一覧を表示できません。

国や地域を選んで地図を表示する

表示したい地名を選んで地図を表示することができます。

1 再生モードで[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで[地図]メニューを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[エリア選択表示]を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで[地名から]を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで国／地域を選び、[MENU/SET]を押す

DVDの地図データを使う

「LEICA Map Tool」を使うと、DVD(付属)に収録されている地図データをカードにコピーすることができます。カードに地図データがコピーされていると、本機でより詳細な地図を表示できます。

●「LEICA Map Tool」は、あらかじめパソコンにインストールしてお使いください。

「LEICA Map Tool」のインストール

パソコンへDVD(付属)を入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

■動作環境

対応OS	Windows® XP(32 bit)SP3 Windows Vista®(32 bit)SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit)およびSP1 Mac® OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7

■Windowsの場合

1 DVD(付属)を入れる

2 [LEICA Map Tool]をクリックする

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

■Macの場合

1 DVD(付属)を入れる

2 認識されたディスクをダブルクリックして開く

3 [MAPTOOL]フォルダーをダブルクリックして開く

4 [LEICA Map Tool.pkg]をダブルクリックする

画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。

地図データをカードにコピーする

準備： • パソコンに「LEICA Map Tool」をインストールしておく。（→149）
• パソコンの電源を入れ、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了させておく。
• DVD（付属）をパソコンに入れておく。（Windowsの場合、自動的に起動するインストールメニューは閉じておく）

1 パソコンに接続されているカードリーダーライター（市販品）にカードを入れる

2 パソコンにインストールした「LEICA Map Tool」を起動する

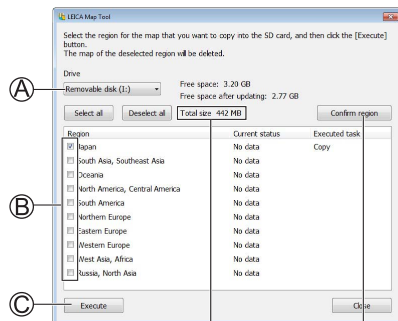
• Windowsの場合：[スタート]→[すべてのプログラム]→[LEICA]→[LEICA Map Tool]→[LEICA Map Tool]をクリック
  • インストール時にショートカットを作成した場合は、デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリック
• Macの場合：[アプリケーション]（Applications）の中の[LEICA_Map_Tool]をダブルクリック

3 プルダウンメニューからカードを選ぶ（Ⓐ）

4 ボックスをクリックして、コピーする地域を選ぶ（Ⓑ）

5 [実行]をクリックする（Ⓒ）

• 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



コピーするデータサイズ

地域確認画面を表示します。

6 コピーが完了したら、[閉じる]をクリックし、カードを取り出す

• Windowsの場合：タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し」を実行
• Macの場合：Finderのサイドバーにある取り出しアイコンをクリック

■カードリーダーライター(市販品)の代わりに本機とパソコンを接続する場合

付属のUSB接続ケーブルを使ってパソコンと接続することで、本機に入っているカードに地図データをコピーすることができます。

- 手順 3 で、接続した本機を選んでください(→150)。
- パソコンとの接続については(→164)
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。

■地図データを消去する場合

表示しない地図データを消去して、カードの空き容量を増やすことができます。

①手順 4 で、すでにコピーされている地域をクリックする(→150)
- [実行内容]欄が[消去]になります。

②[実行]をクリックする
- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

●地図のデータサイズは大きいため、あらかじめカードの空き容量を確認してください。(全地域の地図データをコピーする場合は、8 GB以上のカードが必要です)
●地図データは容量が大きいため、コピーに時間がかかります。
●地図データをカードにコピーすると、記録可能枚数や記録可能時間が少なくなります。
●地図はカードにコピーされます。別のカードを本機に入れると、地図は表示されません。
●カードをフォーマット(初期化)すると、地図データも消去されます。
●地図データのコピーや消去は、「LEICA Map Tool」をお使いください。パソコンのファイル操作などで消去や移動などをした場合は、地図が正しく表示されない場合があります。

マイランドマークを登録する

本機に登録されていない個人的な場所をマイランドマークとして登録し、測位したときに表示したり、画像に記録したりできます。(最大50件)

- カードに地図データがコピーされていないと、マイランドマークを登録できません。DVD(付属)に収録されている地図データをカードにコピーしてから、マイランドマークを登録してください。(→149)

地図からマイランドマークを登録する

地図で指定した場所をマイランドマークに登録できます。

1. 再生モードで[MENU/SET]を押す
2. カーソルボタンで[地図]メニューまたは[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
3. カーソルボタンで[マイランドマーク登録]を選び、[MENU/SET]を押す
4. カーソルボタンで[未登録]を選び、[MENU/SET]を押す
5. カーソルボタンで[地図を使う]を選び、[MENU/SET]を押す
6. 登録したい地点が地図の中心になるように表示し、[MENU/SET]を押す
   - 地図表示中の操作について(→145)
7. [MENU/SET]を押す
8. マイランドマーク名を入力する(文字入力方法:→94)

- GPSを使って、現在位置をマイランドマーク登録することもできます。あらかじめ、測位できる場所に移動して測位に成功していると、現在地が地図の中心に表示されます。

画像の撮影地をマイランドマークに登録する

画像の位置情報を使って、マイランドマークに登録できます。

1 再生モードで[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで[地図]メニューまたは[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで[マイランドマーク登録]を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで[未登録]を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで[撮影画像の地点を使う]を選び、[MENU/SET]を押す

6 登録したい場所で撮影した画像を表示する

7 [MENU/SET]を押す

8 登録したい地点が地図の中心になるように表示し、[MENU/SET]を押す
- 地図表示中の操作について(→145)

9 [MENU/SET]を押す

10 マイランドマーク名を入力する(文字入力方法：→94)

マイランドマークを選んで地図に表示する

登録したマイランドマークを中心に地図を表示することができます。

1. 再生モードで[MENU/SET]を押す
2. カーソルボタンで[地図]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
3. カーソルボタンで[エリア選択表示]を選び、[MENU/SET]を押す
4. カーソルボタンで[マイランドマークから]を選び、[MENU/SET]を押す
5. カーソルボタンでマイランドマークを選び、[MENU/SET]を押す

登録したマイランドマークを編集／解除する

1. 再生モードで[MENU/SET]を押す
2. カーソルボタンで[地図]メニューまたは[GPS]メニューを選び、[MENU/SET]を押す
3. カーソルボタンで[マイランドマーク登録]を選び、[MENU/SET]を押す
4. カーソルボタンで登録済みのランドマークを選び、[MENU/SET]を押す
5. カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す

編集	マイランドマーク名を修正します。
解除	登録したマイランドマークを解除します。

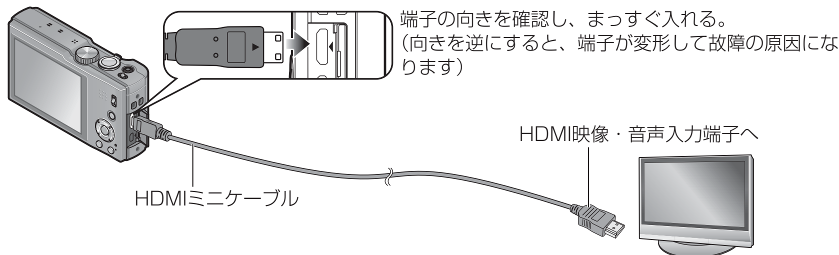
テレビで見る

本機とテレビをHDMIミニケーブル(別売)またはAVケーブル(付属)で接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。
●テレビの説明書もお読みください。

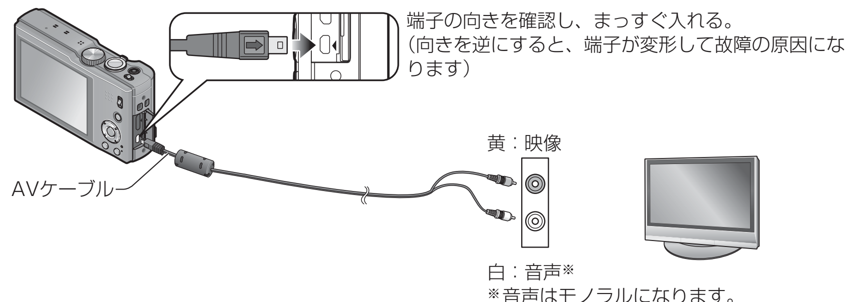
準備：
• AVケーブルで接続する場合は、[TV画面タイプ]を設定しておく(→59)。
• 本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを接続する

■HDMIミニケーブルで接続する場合
本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影した写真や動画を高画質で楽しむことができます。



■AVケーブルで接続する場合



※音声はモノラルになります。

2 テレビの電源を入れ、入力を切り換える

3 本機の電源を入れる

4 撮影/再生切換スイッチを ▶(再生)にする

■HDMIミニケーブルで接続したとき
- 必ずライカ純正のHDMIケーブル(別売)をお使いください。
- 再生機能の一部は制限されます。
- 再生メニュー、GPSメニュー、地図メニュー、セットアップメニューは使用できません。
- 画像横縦比によっては、上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- HDMIミニケーブル接続時は、液晶モニターに画像が表示されません。
- USB接続ケーブルと同時に接続すると、HDMI端子は働きません。
- AVケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続すると、AVケーブルの映像は出力されません。
- テレビによっては、再生開始直後や一時停止直後に一瞬、画像が乱れることがあります。
- 音声出力はステレオ(2ch)です。

■AVケーブルで接続したとき
- 必ず付属のAVケーブルをお使いください。
- テレビ方式がNTSCまたはPALの国や地域であれば、セットアップメニューの[ビデオ出力方式]を設定して表示できます。(カメラモデル18 175の場合)
- 縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
- ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。

■テレビやブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダーにSDカードスロットがあるとき

SDカードスロットにSDメモリーカードを入れてください
- 写真を再生できます。
- AVCHD動画は、AVCHDのロゴマークがついているテレビで再生することができます。
- SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードをお使いの場合は、それぞれ対応の機器で再生してください。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。

HDTV Link（HDMI）を使う

HDTV Link（HDMI）とは

- 本機とHDMIミニケーブル（別売）を使って接続したHDTV Link対応機器を自動的に連動させて、テレビのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- HDTV Link（HDMI）はHDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。HDTV Link（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、HDTV Link Ver.5に対応しています。HDTV Link Ver.5とは、従来のHDTV Link機器にも対応した最新の当社基準です。

- ライカ製HDMIミニケーブル（別売）をお使いいただくことをお勧めします。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- お使いのテレビがHDTVリンク（HDMI）対応か分からないときは、テレビの取扱説明書をお読みください。
- 本機の[HDTVリンク]を[ON]に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- 接続したテレビ側のHDTVリンク（HDMI）が働くように設定しておいてください。（設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください）

準備：[HDTVリンク]を[ON]に設定しておく(→59)。

1 HDMIミニケーブル(別売)で、本機とHDTVリンク(HDMI)に対応したテレビをつなぐ(→155)

2 本機の電源を入れる

3 撮影/再生切換スイッチを ▶(再生)にする

4 テレビの画面表示を参考に、操作する
- HDTVリンクの操作パネルを参考に操作してください。

■その他の連動操作について

●電源OFF
テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

●自動入力切換
- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの[電源オン連動]を[する]に設定している場合)
- HDTVリンク(HDMI)が正しく働かない場合は(→182)

●テレビに地図を表示する場合は、テレビのリモコンを使って、メニューから[地図を表示]を選んでください。(HDTVリンク(HDMI)時のみ表示されます)

3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真を再生することもできます。

準備：[3Dテレビ出力]を[3D]に設定しておく(→59)。

1 HDMIミニケーブル(別売)で本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(→155)

2 3D記録した写真を表示する

- セットアップメニューの[HDTVリンク]を[ON]に設定していてHDTVリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。
- 3D写真は、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

■3D記録した写真のみを選んで再生する場合

再生モードの[絞り込み再生]で[3D]を選ぶ(→114)

■3D記録した写真のみをスライドショーで再生する場合

再生モードの[スライドショー]で[3D]を選ぶ(→112)

■3D写真には以下の機能は使用できません。

- セットアップメニュー
- 再生メニュー
- GPSメニュー
- 地図メニュー
- 再生ズーム
- 消去

■3D記録した写真の再生方法を切り換える

①3D記録した写真を選ぶ
②再生モードから[2D/3D切換]を選ぶ(→111)

- 2D(従来の画像)で再生されている場合は、3Dに再生方法を切り換えます。
- 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。

●3Dで撮影した写真を本機の画面で再生した場合、2D(従来の画像)で再生されます。
●3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
●3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
●3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
●テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)
●3Dの視聴に適さない画像(視差が大きすぎるなど)の場合
- [スライドショー]:2Dで再生されます
- [絞り込み再生]:3Dで再生するかの確認画面が表示されます

●3Dに対応していないテレビで3D写真を再生すると、2つの写真が左右に並んで表示される場合があります。
●3D写真は、パソコンやレコーダーなどに保存することができます。(→161)

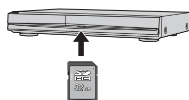
記録した写真や動画を残す

本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、MPO、AVCHD、MP4、Motion JPEG)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SDカードをレコーダーに入れてダビングする

各ファイル形式に対応した機器(ブルーレイディスクレコーダーなど)を使ってダビングすることができます。

- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。



AVケーブルを使って再生映像をダビングする

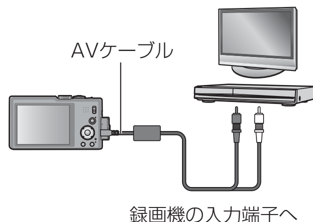
本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオテープなどにダビングします。ハイビジョン対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このときの映像は、ハイビジョンではなく標準画質になります。また、音声はモノラルになります。

1 本機と録画機を接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。



●必ず付属のAVケーブルをお使いください。
●横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](→59)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
●ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

付属のソフトウェアを使って撮影した画像をパソコンにコピーする

付属のDVDのソフトウェアを使うと、本機で撮影したすべての形式の画像をパソコンにコピーできます。写真のコピーにはAdobe® Photoshop® Elements®を、動画のコピーにはAdobe® Premiere® Elements®を使用します。
ソフトウェアを使用するには、以下の３つの手順を行ってください。

1 ソフトウェアをインストールする

- DVDのソフトウェアの内容や動作環境、インストールについて詳しくは、簡易版取扱説明書をお読みください。

2 ライカカメラAGホームページでお使いのカメラを登録する

a. http://owners.leica-camera.comでアカウントを作成する
作成すると「オーナーズエリア」へアクセスできるようになります。
b.「マイプロダクト」にお使いの機種を登録する
表示される指示にしたがってください。
- ソフトウェアを起動するためのキーがメールで送付されます。

3 入手したキー（番号）を使ってソフトウェアを起動する

- ソフトウェア起動後に表示される指示にしたがってください。

■ソフトウェアを使用する

1 本機とパソコンを接続する

- 接続の手順について（→164）

2 Adobe® Photoshop® Elements®で写真を、Adobe® Premiere® Elements®で動画をコピーする

- ソフトウェアの使用方法について詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

●Windowsのエクスプローラーなどを使ってAVCHD動画のファイルやフォルダーを消去、修正、移動すると、再生や編集ができなくなります。
●AVCHD動画の取り扱いには、必ずAdobe® Premiere® Elements®を使ってください。

パソコンに接続する

本機とパソコンを接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくはパソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)

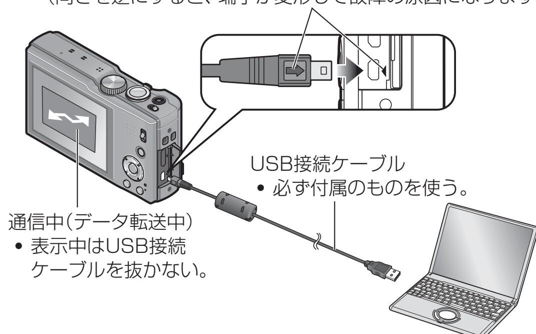
■使用できるパソコン

マスストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。
- Windowsの場合：Windows 7 / Windows Vista / Windows XP / Windows 2000 / Windows Me
- Macの場合： OS X v10.1～v10.7

AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります。
- Windowsの場合、AVCHD動画のコピーには必ず付属のディスク内のソフトウェアをお使いください。
- Macの「iMovie '11」をご使用の場合、AVCHD動画はコピーできますが、AVCHD Progressive動画をコピーすることはできません。(iMovie '11の詳細は、Appleにお問い合わせください。)

写真、MP4動画、ハイスピード動画を取り込む(AVCHD動画以外)

準備：
- バッテリーを十分に充電しておく。
- 内蔵メモリーのとき：カードを抜いておく。
- 本機とパソコンの電源を入れる。



1 本機とパソコンを接続する

- **付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。**

2 本機のカーソルボタンで[PC]を選び、[MENU/SET]を押す

- [USBモード]（→58)が[PictBridge(PTP)]に設定されていると、メッセージが表示される場合があります。[キャンセル(中止)]を選んで画面を閉じ、[USBモード]を[PC]に設定してください。
- [USBモード]（→58)が[GPSアシストデータ]に設定されていると、画像が保存されているフォルダーが表示されません。[USBモード]を[PC]に設定してください。

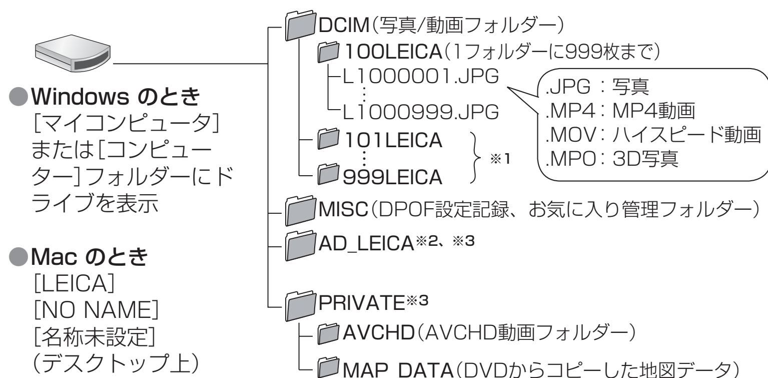
3 パソコンを操作する

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

■接続を解除するとき
- Windowsの場合：タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し」を実行
- Macの場合：Finderのサイドバーにある取り出しアイコンをクリック

■Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Mac OS Xをお使いの場合
[USBモード]（→58)の設定を[PictBridge(PTP)]にしても、パソコンとPTPモードで接続することができます。
- 画像の読み出しのみできます。
- カードの中に1000枚以上画像があると、取り込めない場合があります。
- 動画は、読み出しできません。(ハイスピード動画を除く)

■フォルダーの構造と名前



※1 フォルダーは次のときに新しく作成されます。
[番号リセット]したとき、フォルダー内のファイル数が999枚を超えたとき、同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき（他社のカメラで撮影したものなど）。

※2 「GPS Assist Tool」をカードにコピーした場合は、ここに保存されます。

※3 内蔵メモリーには作成されません。

- **AVCHDフォルダー内のフォルダーやデータを、Windows のエクスプローラーなどで消去や変更をしないでください。動画を正しく再生できなくなる場合があります。AVCHD動画の取り扱いや編集は、必ず付属のディスク内のソフトウェアをご使用ください。**

●付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。
●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●通信中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。すぐにパソコン側で通信を中止してください。十分に充電されたバッテリーを使用してください。
●[USBモード]を[PC]に設定しておくと、パソコンに接続するたびに設定する必要がありません。
●パソコンの説明書をお読みください。

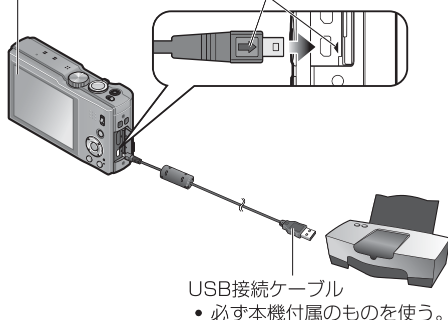
プリントする

PictBridge(ピクトブリッジ)対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの説明書をお読みください。

準備：
- バッテリーを十分に充電しておく。
- 内蔵メモリーのとき：カードを抜く。
- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。
- 本機とプリンターの電源を入れる。

ケーブル切断禁止アイコン[ ]
- 表示中はUSB接続ケーブルを抜かない。（プリンターによってはアイコンが表示されません）

端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）



1 本機とプリンターを接続する
- **付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。**

2 本機のカーソルボタンで[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンでプリントする写真を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す
（プリントの各種設定(→169)）

■途中でプリントを中止するとき　[MENU/SET]を押す

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを外してください。
- カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
- 接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB接続ケーブルを抜いてください。十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- 動画はプリントできません。

[複数プリント]

1 手順 3 (→166)でカーソルボタンを押して複数プリントに設定する

2 カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す

- **複数選択：** ①カーソルボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンを押す
  （解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す）
  ②[MENU/SET]を押す
- **全画像：** すべての画像
- **プリント設定(DPOF)：**[プリント設定]で設定した画像(→123)
- **お気に入り：**[お気に入り]で設定した画像(→122)

3 カーソルボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す
（プリントの各種設定(→169)）

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでください。

●プリント中にオレンジ色の[●]が画面の左上に表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
●プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。（残り枚数の表示が設定と異なることがあります）

写真に日付や文字を入れる

■[文字焼き込み]せずに日付などをプリントするとき

●お店プリントの場合：撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。
- お店にカードを渡す前に、本機で[プリント設定](→123)をしておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定できます。
- 16:9の写真をプリントする場合は、お店が16:9サイズに対応しているか事前に確認してください。

●プリンターの場合：本機で[プリント設定]をするか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で[日付プリント](→169)を[ON]に設定すると、撮影日時を印刷できます。

- 撮影メニューの[日付焼き込み]を設定しておくと、撮影時に日付や日時を写真に焼き込むことができます。(→105)

本機でプリントの各種設定をする

[プリント開始]を選ぶ前に設定してください。

1 カーソルボタンで設定項目を選び、[MENU/SET]を押す

設定項目	設定内容
日付プリント	ON(日付プリントする)／OFF
プリント枚数	枚数を設定(最大999枚)
用紙サイズ	を選ぶと、プリンターの設定を優先します。
レイアウト	(プリンターの設定を優先)／(1面縁なし)／(1面縁あり)／(2面)／(4面)

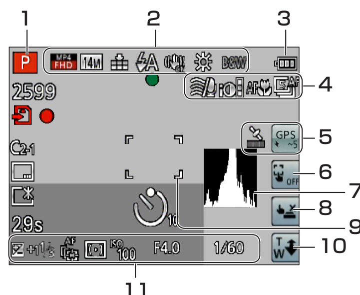
2 カーソルボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]を押す

- プリンターが対応していない項目は表示されません。
- [2面] [4面]で同じ写真を並べたいときは、その写真のプリント枚数を2枚/4枚にしてください。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには(プリンター優先)を選び、プリンター側で設定してください。(プリンターの説明書をお読みください)
- [プリント設定]をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。
- [日付プリント]を[ON]にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(プリンター側の設定が優先される場合があります)

液晶モニターの表示一覧

画面は表示例です。実際の画面とは異なることがあります。
- [DISP.] ボタンを押すと表示が切り換わります。

■撮影時



1 撮影モード(→25)

2 逆光補正(→32, 34)
画質設定(→107)
記録画素数(→95)
クオリティ(→96)
フラッシュモード(→66)
手ブレ補正(→104)
手ブレ警告(→27)
ブレピタモード(→33)
ホワイトバランス(→97)
カラーモード(→103)

3 バッテリー残量(→16)

4 風音低減(→108)
暗部補正(→101)
マクロ撮影(→68)
連写(→87)
オートブラケット(→72)

5 GPS測位中表示(→129)
GPS測位結果(→129)

6 タッチAF/タッチAE解除(→30)

7 ヒストグラム(→62)

8 タッチシャッター(→29)

9 AFエリア(→28)

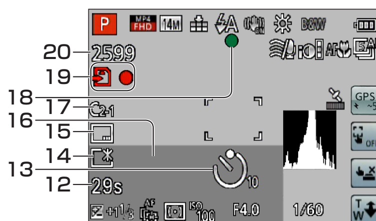
10 タッチズーム(→64)

11 露出補正(→71)
追尾AF(→35、99)
AF補助光(→103)
測光モード(→101)
ISO感度(→96)
絞り値/シャッタースピード(→27、73)
下限シャッター速度(→102)

(次のページに続く)

画面は表示例です。実際の画面とは異なることがあります。
- [DISP.]ボタンを押すと表示が切り換わります。

■撮影時



12 撮影経過時間※1(→37)
GPS地名変更(→135)

13 セルフタイマーモード(→70)

14 液晶モード(→55)
液晶パワーセーブ(→57)

15 日付焼き込み(→105)

16 現在日時
ワールドタイム(→93)
名前※2(→82、90)
月齢／年齢※2(→82、90)
地名情報※2(→135)
旅行先※2(→92)
トラベル経過日数※2(→92)

2m - ∞
EZ W
T 16X

フォーカス距離(→68)
ズーム(→63)

17 カスタムセット(→85)

18 フォーカス表示(→28)

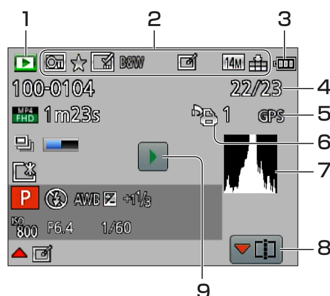
19 保存先(→20)
記録動作

20 記録可能枚数(→22)
残り撮影可能時間※1(→37)

※1 XXhXXmXXs、残XXhXXmXXs
hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
※2 地名情報、旅行先、名前(赤ちゃん/ペット)、名前(個人認証)の優先順位で表示されます。また、地名情報やトラベル経過日数が表示されているときは、月齢／年齢は表示されません。

画面は表示例です。実際の画面とは異なることがあります。
• [DISP.]ボタンを押すと表示が切り換わります。

■再生時



1 再生モード(→111)

2 プロテクト(→124)
お気に入り(→122)
日付／文字焼き込み済み(→105、118)
カラーモード(→103)
レタッチ済み(→115、116)
記録画素数(→95)
クオリティ(→96)

3 バッテリー残量(→16)

4 画像番号／トータル枚数(→42)

5 GPS情報あり(→127)

6 プリント設定(→123)

7 ヒストグラム(→62)

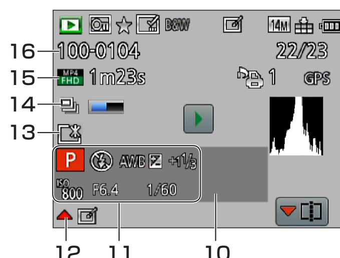
8 動画分割(→48)
連写グループ表示(→109)

9 動画再生(→45)
パノラマ再生(→80)
連写再生(→109)

(次のページに続く)

画面は表示例です。実際の画面とは異なることがあります。
• [DISP.]ボタンを押すと表示が切り換わります。

■再生時



10 撮影日時
ワールドタイム(→93)
名前※1(→82、90)
月齢/年齢※1(→82、90)
地名情報※1(→135)
旅行先※1(→92)
トラベル経過日数※1(→92)
タイトル※1(→117)

11 撮影モード(→25)
フラッシュモード(→66)
ホワイトバランス(→97)
露出補正(→71)
ISO感度(→96)
絞り値/シャッタースピード(→27、73)
再生経過時間※2(→45)

12 かんたんレタッチ(→115)
クリエイティブレタッチ(→116)

13 液晶モード(→55)
液晶パワーセーブ(→57)

14 連写情報取得中(→109)

15 画質設定(→107)
動画記録時間※2(→45)
連写枚数(→109)

16 フォルダー・ファイル番号(→42、165)
ケーブル切断禁止(→166)

※1 地名情報、タイトル、旅行先、名前(赤ちゃん/ペット)、名前(個人認証)の優先順位で表示されます。また、地名情報やトラベル経過日数が表示されているときは、月齢/年齢は表示されません。
※2 XXhXXmXXs
hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

メッセージ表示

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メッセージ	ここを確認してください
メモリーカードエラー 本機では使えない状態です。 フォーマットしますか？	• 本機では認識できないフォーマットです。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(→60)する。
カードを入れ直してください／ 別のカードでお試しください	• カードへのアクセスに失敗しました。 →カードを入れ直す。 • miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードをアダプターに入れずに本機に入れた。 →必ずアダプターに入れる。 • 別のカードを入れてお試しください。
カードのパラメータが異常です	• カードがSD規格に準拠していません。 • 4 GB以上のメモリーカードは、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードのみ使用できます。
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	• データの読み込みに失敗しました。 →カードが確実に入っているか確認する。（→19） • データの書き込みに失敗しました。 →電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れる。 • カードが壊れている可能性があります。 • 別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため 記録を終了しました	• 推奨のスピードクラスのカード(→20)を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(→60)することをお勧めします。 • カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。
内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	• 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードへの一括コピーの場合、カードの空き容量分の画像がコピーされます。
このカードは使用できません	• マルチメディアカードを入れた。 →本機では対応していません。対応するカードをご使用ください。
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません	• パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。（→60） • 別のカードを入れてお試しください。

■バッテリーについて

メッセージ	ここを確認してください
このバッテリーは使えません	• ライカ純正バッテリーをお使いください。 • バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。 →端子部のごみなどを取り除いてください。

■その他

メッセージ	ここを確認してください
この場所ではGPS機能は使用できません	• 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近でGPSが働かない場合があります。（2011年12月現在）
消去できない画像があります／この画像は消去できません	• DCF規格（→42）に準拠していない画像は消去できません。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去する。（→60）
設定枚数をこえました	• 一度に複数消去できる枚数を超えています。 • お気に入り設定が999枚を超えています。 • 一度に[タイトル入力]、[文字焼き込み]［リサイズ（縮小）］（複数設定）できる枚数を超えています。
この画像には設定できません	• DCF規格（→42）に準拠していない画像は[プリント設定]、[タイトル入力]、[文字焼き込み]できません。
電源を入れ直してください／システムエラー	• レンズが正常に動作しませんでした。 →電源を入れ直す。 （それでも表示されるときは、ライカ代理店またはお近くのLeica Customer Careセンターにご相談ください。）
コピーできない画像がありました／画像をコピーすることができませんでした	• 次の場合はコピーできません。 →同名の画像がコピー先にある。（カードから内蔵メモリーへコピー時のみ） →DCF規格（→42）に準拠していないファイル。 →本機以外で撮影・編集された画像。
内蔵メモリーエラー／フォーマットしますか？	• 内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。 →本機でフォーマットし直す。データは消去されます。
フォルダーを作成できません	• フォルダー番号を999まで使っています。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットする。（→60）[番号リセット]（→58）を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。
16:9TV用で出力します／4:3TV用で出力します	• 本機にAVケーブル（付属）が接続されました。 →メッセージをすぐに消す場合：[MENU/SET]を押す。 →画面表示の比率を変える場合：[TV画面タイプ]の設定を変える。（→59） • USB接続ケーブルが本機のみに接続されました。 →ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。
撮影できませんでした	• 3D撮影時、撮影場所が暗すぎる／明るすぎる、または濃淡の少ない被写体の場合、撮影できない場合があります。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(→176～183)をお試しください。

それでも解決できない場合は、**セットアップメニューの[設定リセット]**(→58)**を行うと症状が改善する場合があります。**
(ただし、設定は[時計設定]など一部を除き、お買い上げ時の状態に戻ります。)

■電源、バッテリー

こんなときは…	ここを確認してください
充電ランプが消灯したのに、充電ができていない。	• 温度が極端に高い、または低いところで充電している。 →周囲の温度が10℃～30℃（バッテリーの温度も同様)のところでUSB接続ケーブルをつなぎ直し、再度充電をお試しください。(満充電後は、USB接続ケーブルをつなぎ直すと、約15秒間充電ランプが点灯します。)
充電ランプが消灯したのに、また点灯する。	• バッテリーを再充電している。 →[GPS設定]が[ON]の場合、本体の電源を切っているときにバッテリーの充電量が減少すると、再充電を行うことがあります。
電源を入れても動作しない。	• バッテリーが正しく入っていない。(→14)または、消耗している。
電源が入っているのに液晶モニターが消灯する。／電源を入れてもすぐ切れる。	• [スリープモード]が働いている。(→57) →シャッターボタンを半押しして解除してください。 • バッテリーが消耗している。
電源が勝手に切れる。	• HDTVリンク(HDMI)対応のテレビとHDMIミニケーブル(別売)で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 →HDTVリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[HDTVリンク]を[OFF]に設定してください。(→59)

■GPS

こんなときは…	ここを確認してください
測位できない	• [GPS設定]が[OFF]になっている。(→128) • 屋内やビルの近くなど、撮影する環境によってGPS衛星からの電波を正しく受信できない場合があります。(→127) →屋外の空のひらけた場所でGPSアンテナ部を上空に向け、カメラをしばらく静止した状態で使用することをお勧めします。
電源を切っているときに、GPS動作ランプが点灯する。	• [GPS設定]が[ON]になっている。 →本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内(離着陸時)や使用を禁止された区域では、[GPS設定]を[OFF]、または[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源をOFFにしてください。

■GPS（続き）

こんなときは…	ここを確認してください
測位に時間がかかる。	• 初めて使う場合やしばらく使わなかった場合は、数分かかる場合があります。 • 通常、2分以内に測位できますが、GPS衛星の位置は変化するため、撮影する場所や環境によっては時間がかかる場合があります。 →「GPS Assist Tool」を使ってGPSアシストデータを本機にコピーすると、測位時間を短縮することができます。（→140） • GPS衛星からの電波が受信しにくい環境では、測位に時間がかかります。（→127）
地名情報と撮影した場所が違う。	• 電源ON直後またはGPSのアイコンが GPS 以外のときは、現在の位置と本機に記憶されている地名情報が大きく異なる場合があります。 • 地名情報に GPS が表示されているときは、撮影前に他の候補地に変更できます。（→135） 画像に記録された地名やランドマーク名は、編集できます。（→138）
地名情報が表示されない。	• 付近にランドマークなどが存在しない場合や、本機のデータベースに情報が登録されていない場合、[---]と表示されます。（→130） →再生時に[地名情報編集]で地名などを入力できます。（→138）

■地図

こんなときは…	ここを確認してください
詳細な地図が表示されない。	• DVD（付属）のソフトウェア「LEICA Map Tool」を使って、DVD（付属）から地図データをコピーしてください。（→149）
表示されない地名がある。	• DVD（付属）から地図データをコピーすると、詳細な地図が表示されます。（→149） （ただし、すべての地名は収録されておりません） • 表示している縮尺によっては、表示されない場合があります。 →地図を拡大表示してください。
地図データのコピーに時間がかかる。	• 地図データは容量が大きいため、コピーに時間がかかります。 必要な地域の地図データのみコピーすることをお勧めします。 • 本機とパソコンを接続してコピーしたときは、市販のカードリーダーライターなどを使ってコピーするよりも時間がかかる場合があります。

■撮影

こんなときは…	ここを確認してください
撮影できない。	• 撮影/再生切換スイッチが 📷（撮影）になっていない。 • 内蔵メモリーやカードの残量がない。 →不要な画像を消去してください。（→49）
撮影した画像が白っぽい。	• レンズが汚れている。（指紋などの汚れがついている） →電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。 • 露付きが起こっている。（→6）

■撮影（続き）

こんなときは…	ここを確認してください
撮影した画像が明るすぎる。 または暗すぎる。	• 露出を補正してください。（→71） • [下限シャッター速度]を[1/250]など速い値に設定している。(→102) →[下限シャッター速度]を遅い値に設定してください。
シャッターボタンを1回押すと、複数枚撮影される。	• [オートブラケット]、[連写]を設定している。
ピントが合わない。	• 被写体までの距離に応じたモードになっていない。 （撮影モードによって撮影可能範囲が異なります） • 撮影可能範囲から外れている。（→68） • 手ブレや被写体ブレしている。（→27）
撮影した画像がブレる。 手ブレ補正が効かない。	• 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 →脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。 • [下限シャッター速度]を遅い速度に設定したときは、三脚とセルフタイマー(→70)をお勧めします。
オートブラケット撮影ができない。	• 記録可能枚数が2枚以下になっている。
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	• ISO感度が高い、または、シャッタースピードが遅い。 （お買い上げ時はISO感度が[AUTO]のため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） →[ISO感度]を低くしてください。（→96） →明るい場所で撮影してください。 • シーンモードの[高感度]にしている。 （高感度処理のため画質が少し粗くなります）
蛍光灯やLEDなどの照明下で、ちらつきや横しまが出る。	• これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや 色合いが実際と違う。	• 蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 • 極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい横すじが出る。	• これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。 • 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。

■撮影（続き）

こんなときは…	ここを確認してください
動画撮影が途中で止まる。	• **カメラモデル18 176 / 18 177の場合** AVCHD［GPH］［PSH］［GFS］［FSH］で動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです（→107）。 MP4で動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです。ただし、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。この場合、［FHD］の連続記録可能時間は、約27分12秒です。 **カメラモデル18 175の場合** 動画を連続で撮影できるのは、最大29分までです。 MP4で動画を連続で撮影できるのは、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。この場合、［FHD］の連続記録可能時間は、約27分12秒です。 • 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、⚠ が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。（［画質設定］が［GPH］［PSH］［GFS］［FSH］の場合のみ） • カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、途中で動画撮影が終了する場合があります。 • 推奨のスピードクラスのカード（→20）を使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット（→60）することをお勧めします。
パノラマ撮影が途中で止まる。	• カメラを振る速度が遅いと、カメラを止めたと判断し、撮影が終了します。 • カメラを振るときに、撮影方向に対して揺れが大きいと撮影を終了します。 →パノラマ撮影時は、撮影方向へ並行に小さな円を描くようにして、1周を約8秒の速さ（目安）でカメラを振ってください。
AFロックできない。 （動体追尾できない）	• 被写体と背景の色が似ていると、追尾AFが働かないことがあります。被写体の特徴的な色の部分をAFロックしてください。

■液晶モニター

こんなときは…	ここを確認してください
明るさが不安定になる。	• シャッターボタンを半押ししたときに絞り値を設定するためです。（撮影画像に影響はありません） ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内でちらつく。	• 電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯やLEDなどの照明器具の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。

■液晶モニター(続き)

こんなときは…	ここを確認してください
明るすぎる、または暗すぎる。	• [液晶モード]が働いている。(→55) • [液晶調整]で明るさを調整してください。(→55)
黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。液晶モニターを押さえるとムラが出る。	• 故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。

■フラッシュ

こんなときは…	ここを確認してください
発光しない。	• (発光禁止)に設定している。(→66) • [オートブラケット]、[連写]設定時([フラッシュ連写]以外)、シーンモードの[風景][パノラマ][夜景][手持ち夜景][HDR][夕焼け][ガラス越し][ハイスピード動画]、クリエイティブコントロールモード、スライド3D撮影モードでは発光しません。
複数回発光する。	• 赤目軽減になっている。(→66) (瞳が赤く写るのを抑えるため2回発光します) • 連写を[フラッシュ連写]にしている。(→87)

■再生

こんなときは…	ここを確認してください
画像が勝手に回転して小さく表示される。	• [回転表示]を設定している。(→60)
再生できない。 撮影した画像がない。	• 撮影/再生切換スイッチが (再生)になっていない。 • 内蔵メモリーまたはカードに画像がない。(カードが入っている場合はカードの、入っていない場合は内蔵メモリーの画像を再生します) • パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。 • 再生モードが変更されている。 →[通常再生]に設定してください。(→111)
フォルダー・ファイル番号が[—]で表示される。 画像が黒く表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。 →消去するには、本機でフォーマットしてください。(→60)
カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • [時計設定]が正しくない。(→23) (パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります)

■再生（続き）

こんなときは…	ここを確認してください
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	• 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
画面に[サムネイル表示]と表示される。	• 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	• デジタル赤目補正（ 、 ）が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュを 、 、 または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。
動画に本機の操作音・ズーム音が録音される。	• 動画撮影中に本機が自動でレンズの絞りを調整するため動作音が録音される場合がありますが、異常ではありません。
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	• [AVCHD]、[MP4]および[ハイスピード動画]（Motion JPEG）で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

■テレビ、パソコン、プリンター

こんなときは…	ここを確認してください
テレビに画像が出ない。 画面が流れたり色が付かない。	• 正しく接続していない。（→155） • テレビの入力切換を外部入力にしていない。 • [ビデオ出力方式]の設定（NTSC/PAL）を確認してください（→59）。（カメラモデル18 175の場合）
テレビ画面と液晶モニターの表示が違う。	• テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。
テレビで動画再生できない。	• テレビにカードを入れている。 →AVケーブル（付属）またはHDMIミニケーブル（別売）で接続し、本機で再生してください。（→155）
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	• [TV画面タイプ]を確認する。（→59）

■テレビ、パソコン、プリンター(続き)

こんなときは…	ここを確認してください
HDTVリンク(HDMI)が働かない。	• HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか？(→155) →HDMIミニケーブルが奥まで確実に入っていることを確認してください。 • 本機の[HDTVリンク]を[ON]に設定していますか？（→59） →テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) →接続した機器側のHDTVリンク(HDMI)の設定を確認してください。 →本機の電源を入れ直してください。 →テレビの[HDTVリンク制御(HDMI機器制御)]の設定を[しない]に変更し、再度[する]に設定してください。(詳しくはテレビの取扱説明書をお読みください)
パソコンとの通信ができない。	• 正しく接続していない。(→164) • パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。 →本機の[USBモード]を[PC]にしてください。(→58) →本機の電源を入れ直してください。
パソコンにカードが認識されない。 (内蔵メモリーになっている)	• USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。
パソコンにカードが認識されない。 (SDXCメモリーカードを使用している)	→お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 →接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 →液晶モニターの[通信中]の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。
プリンターに接続してもプリントができない。	• PictBridge対応機を使用していない。 • 本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。(→58)
プリントすると、画像の端が切れる。	• プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。 (プリンターの説明書をお読みください) • [画像横縦比]［16:9］で撮影した。 →お店に依頼した場合、16:9のサイズに対応しているか確認してください。
パノラマ写真がうまくプリントできない。	• パノラマ写真は、横縦比が通常の写真と異なるため、正しく印刷できない場合があります。 →パノラマ写真に対応したプリンターをお使いください。 (プリンターの説明書をお読みください)

■その他

こんなときは…	ここを確認してください
メニューが希望の言語で表示されない。	• [言語設定]を変更する。（→61）
本機を振ると[カタカタ]と音がする。	• レンズが移動する音で、故障ではありません。
暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。	• [AF補助光]を[ON]にしている。（→103）
AF補助光が点灯しない。	• [AF補助光]を[OFF]にしている。（→103） • 明るい場所では点灯しません。
本機が熱くなる。	• ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から[カチッ]と音がする。	• 明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニターの明るさが変わるときがありますが、これは、絞り値を設定するためです。（撮影に影響はありません）
時計が合っていない。	• 長期間放置した。 →再度時計を設定する。（→24） • 時計設定に時間がかかった。（その分時間がずれます）
ズームの動きが一瞬止まる。	• EX光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ズームが最大倍率にならない。	• ズーム倍率が3倍で止まる場合、ズームマクロが設定されています。（→69）
ファイル番号が連続して記録されない。	• 新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。（→165）
ファイル番号がさかのぼって記録される。	• 電源を切らずにバッテリーを抜き差しした。 （フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録される場合があります）

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

- 長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使ってください。
  - テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
  - スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
  - マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
  - 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター(付属)を一度外してから、あらためて接続し、電源を入れ直してください。
- 電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください。
  - 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。
- 付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。
- 周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけないでください。
  - かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- レンズバリア部を触らないでください。

しばらく使わないとき

- 電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
  (特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります)
- ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
- 押し入れなどでは、乾燥剤(シリカゲル)とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく(15℃～25℃)、湿気の少ない(湿度40%RH～60%RH)、温度変化の少ない場所で保管する。
- 1年に1回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。

カードやデータについて

● カードやデータの破損を防ぐために
- 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
- 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
- カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。

● メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い
- 本機やパソコンの機能による[フォーマット]や[消去]では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
  廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶モニターについて

● 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。

● 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

バッテリーの充電について

● バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。また、高温／低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

● 充電中や充電後は、バッテリーが温かくなります。

● 充電後でも、長期間放置すると、使わなくてもバッテリーを消耗します。

● クリップなどの金属類をはさみ込まないでください。(火災や感電の原因になります)

● 頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。
(充電回数が増えると使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります)

● 著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● 充電中は：
- チャージャーやバッテリーの端子部の汚れを乾いた布で取る。
- AMラジオからは1 m離す。(ラジオに雑音が入る原因になります)
  チャージャーの内部で音がすることがありますが、異常ではありません。

● 落下させてしまった場合など、端子部などが破損したり変形したバッテリーは使わないでください。(故障の原因になります)

ACアダプター(付属)について

- AMラジオからは1 m以上離す。(ラジオに雑音が入る原因になります)
- ACアダプター(付属)の内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています)

レンズについて

- レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。(レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなるときがあります)
- レンズ部を太陽に向けたまま放置しないでください。
- レンズバリア部を触らないでください。(故障の原因になります。かばんなどから取り出すときにも気をつけてください。)

三脚／一脚を使うとき

- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。(本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります)
- 三脚が安定していることを確認してください。(三脚の説明書もお読みください)
- 三脚／一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。

3Dの視聴について

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しないでください。
  - 病状悪化の原因になることがあります。
- 3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止してください。
  - そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
  - 適度な休憩をとってください。
- 3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとってください。
  - 長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。
- 近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正してください。
  3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止してください。
  - 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
  - テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

個人情報について

赤ちゃんモード／個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

●免責事項
- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●修理依頼または譲渡／廃棄されるとき
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(→58)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(→126)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(→60)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、ライカ代理店またはお近くのLeica Customer Careまでご相談ください。

メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、「●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。(→185)

重要！本製品に搭載されている地名をご使用になる前に必ずお読みください。

地名・地図データ 使用許諾契約書

個人使用限定：
本データは、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用（非営利）の目的のためにのみ本デジタルカメラとともに使用し、サービスビューロー、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用しないことに同意してください。従って、本データは、後述の制限を守ることを条件とし、本データの再生やコピー、変更、逆コンパイル、分解、リバースエンジニアリングをしないことに同意してください。法律で認められている場合を除き、その形態や目的に関係なく、本データを譲渡や配布することはできません。マルチディスクの譲渡や売却ができるのは、ライカカメラAGから提供されたままの完全なセットとして譲渡や売却される場合に限られます。セットの一部を譲渡や売却することはできません。

制限事項：
ライカカメラAGから具体的に使用許諾を与えられている場合を除き、かつ前記事項を制限することなく、以下を行うことはできません。(a)インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。(b)測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

警告：
時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確若しくは不完全な情報が含まれている可能性があります。

無保証：
本データは「現状のまま」お届けするものであり、その使用は自らの責任において行うことに同意してください。
ライカカメラAGとそのライセンサー(及びその先のライセンサー並びに供給者)は、明示的であるか黙示的であるか、法律に由来するものか否かを問わず、本データの内容、品質、正確性、完全性、有効性、信頼性、.特定目的への適合性、有用性、用途、本データから得られるべき結果、本データやサーバに中断やエラーのないことなどに関する保証や表明は一切行いません。

免責条項：
ライカカメラAGとそのライセンサー(その先のライセンサー並びに供給者を含む)は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、品質、性能、市販性、特定目的への適合性、権利を侵害していないことなどに関する保証を放棄します。
一部の保証除外が認められていない国や州、地域では、その範囲で上記の免責が適用されない場合があります。

責任の放棄：
ライカカメラAGとそのライセンサー(その先のライセンサー並びに供給者を含む)は、以下についてお客様に対し責任は負わないものとします。その原因の本質如何にかかわらず、直接的であるか間接的であるかを問わず、情報の使用若しくは所有に由来して発生する損失、被害若しくは損害を主張する請求、要求若しくは訴訟、又は本情報の使用若しくは本情報を使用できないこと、誤情報、若しくは本書で定められている条件の違反に由来する利益、売上高、契約若しくは貯蓄の損失、その他直接的、間接的、付随的、結果的に生じる損害若しくは特別損害。その際、それが契約に関する訴訟であるか、不法行為訴訟であるか、保証を根拠とするものであるかを問わず、又、たとえかかる損害が生じる可能性についてライカカメラAG若しくはそのライセンサーが報告を受けていたとしても責任を負わないことに変わりはありません。
一部の免責が認められていない国や州、地域では、その範囲で上記の免責が適用されない場合があります。

輸出規制：
ライカカメラAGは、適用される輸出関連法規を遵守し、同法規で規定されている許認可や承認がすべて揃わない限り、どこからであっても、「データ」またはその直接成果物を一切輸出してはなりません。ここで言う輸出関連法規には、米国商務省外国資産統制課、米国商務省産業安全保障局が実施している法規が含まれますが、それらに限定されるものではありません。本書で定められている「データ」の配信または分散の義務をNTが果たすことが輸出関連法規で禁じられている場合、同義務を果たさなくても許されるものとし、本契約の違反は成立しないものとします。

完全なる合意：
以上の条件は、本書に記載されている内容に関するライカカメラAG(とそのライセンサー、その先のライセンサー並びに供給者を含む)とお客様との完全なる合意に相当するものであり、書面によるか口頭によるかを問わず、かかる内容に関してこれまで両者間に存在するすべての合意事項に全面的に取って代わるものです。

位置情報／地名情報／地図について

測地系について
本機で記録される緯度・経度の条件(測地系)は、WGS84です。

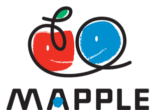
MAPPLEデジタル地図データについて
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図　20万分の1地勢図　100万分の1日本、50万分の1地方図を使用した。(承認番号　平23情使、 第15-M055541号　平23情使、 第13-M055541号 平23情使、 第12-M055541号)

著作権について
本機に搭載されている地図データは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ナビゲーション機能について
本機はナビゲーション機能を搭載していません。

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示





MAPPLEは株式会社昭文社の登録商標または商標です。

地域	表示
Australia	© Hema Maps Pty. Ltd, 2011. Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au). Product incorporates data which is © 2011 Telstra Corporation Limited, GM Holden Limited, Intelematics Australia Pty Ltd, NAVTEQ International LLC, Sentinel Content Pty Limited and Continental Pty Ltd.
Austria	"© Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen"
Croatia, Cyprus, Estonia, Latvia, Lithuania, Moldova, Poland, Slovenia and/or Ukraine	"© EuroGeographics"
Ecuador	INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADOR AUTORIZACION N° IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011
France	The following notice must appear on all copies of the Data, and may also appear on packaging: "source: © IGN France – BD TOPO ®"
Germany	"Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen" or "Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zustaendigen Behoerden entnommen."
Great Britain	"Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010 Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010"
Greece	"Copyright Geomatics Ltd."
Guadeloupe, French Guiana Martinique	"source: © IGN 2009 - BD TOPO ®"
Guatemala	"Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN Nº 186-2011"
Hungary	"Copyright © 2003; Top-Map Ltd."
Israel	"© Survey of Israel data source"
Italy	"La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana."

地域	表示
Jordan	"© Royal Jordanian Geographic Centre". The foregoing notice requirement for Jordan Data is a material term of the Agreement. If Client or any of its permitted sublicensees (if any) fail to meet such requirement, NT shall have the right to terminate Client's license with respect to the Jordan Data.
Mozambique	"Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2011 by Cenacarta"
Norway	"Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority"
Portugal	"Source: IgeoE – Portugal"
Réunion	"source: © IGN 2009 - BD TOPO ®"
Spain	"Información geográfica propiedad del CNIG"
Nepal	Copyright © Survey Department, Government of Nepal.
Sri Lanka	This product incorporates original source digital data obtained from the Survey Department of Sri Lanka © 2009 Survey Department of Sri Lanka The data has been used with the permission of the Survey Department of Sri Lanka
Sweden	"Based upon electronic data © National Land Survey Sweden."
Switzerland	"Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie."

■ランドマークの種類

内蔵メモリーには、約100万件のランドマークが登録されています。
(2011年12月現在のものです。更新はされません。また、登録されていないランドマークもあります。)

- 2011年以前の当社GPS搭載機種とは異なります。

動物園	植物園	水族館
遊園地(テーマパーク)	ゴルフ場	キャンプ場
スキー場	スケート場	アウトドアレジャー
名所・観光地・景観地	城･城跡	神社
寺院	教会	古墳・碑・塚・史跡
空港	港	フェリーターミナル
野球場	陸上競技場	体育館
公園	駅	都道府県庁
リフト・ロープウェイ	美術館	博物館
劇場	映画館・シアター	ワイナリー・酒造
山・高原・峠	峡谷・沢・滝・谷・海岸	タワー・高層ビル

ライカカスタマーサービス

ライカ・アカデミー

自然観察用具から再生機器まで、高性能な精度の高い製品を提供しているライカは、長年、特別サービスとしてライカ・アカデミーを開催してきました。ライカ・アカデミーは実践に即したセミナーおよび講習会で、初心者はもちろん、上級者の方まで、写真撮影や投影、そして引き伸ばし写真の世界をもっと身近に体験することができます。コースは、ライカのソルムス工場内や近郊にあるグート・アルテンベルク（Gut Altenberg）にある近代設備の整ったセミナー室で行なわれます。

講師陣は、熟練の専門家たち。コースの内容は、写真撮影全般に関する事柄から、興味深い専門分野までさまざまです。多くの実践に役立つヒントや情報、そしてアドバイスをご提供いたします。

詳しい情報および写真撮影ツアーを含む最新のセミナー・プログラムについてのお問い合わせ：

Leica Camera AG
Leica Akademie
Oskar-Barnack-Str. 11
D-35606 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-421
ファックス +49 (0) 6442-208-425
la@leica-camera.com

ライカのホームページ

製品、新製品、イベント、ライカについての最新情報は、次のアドレスのホームページに掲載されています。

http://www.leica-camera.co.jp

ライカインフォメーションサービス

お客様からのライカ製品の使用技術上の質問には、ライカインフォメーションサービスが書面、電話、ファックス、eメールで回答いたします。 次の連絡先にお問い合わせください。

Leica Camera AG
Informations-Service / Software-Support
Postfach 1180
D-35599 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-111 / -108
ファックス +49 (0) 6442-208-490
info@leica-camera.com / software-support@leica-camera.com

ライカデジタルカメラサポートセンター

＜技術的なお問い合わせ窓口＞
Tel. 0120-03-5508
受付時間：
月曜日 ー 金曜日 9：30 ー 18：00
祝祭日は受け付けておりません。

Leica Customer Care

お手持ちのライカ製品のメンテナンスが必要な場合もしくは破損した場合、
ライカカメラAGのカスタマーケアまたは各国のライカ代理店の修理サービスが対応いたします（所在地一覧表は保証書をご覧ください）。

Leica Camera AG
Customer Care
Solmser Gewerbepark 8
D-35606 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-189
ファックス +49 (0) 6442-208-339
customer.care@leica-camera.com

ライカ大丸東京店
東京都千代田区丸の内1-9-1 大丸東京店10F
TEL. 03-5220-3322（直通） FAX. 03-5220-3323
営業時間：10：00 ー 20：00 / 木・金曜日（祝日を除く）は21時まで営業

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD Progressive”、“AVCHD”および“AVCHD Progressive”、“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。
- Windows および Windows Vista は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



- iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- LEICA/ライカは、ライカマイクロシステムIR GmbHの登録商標です。
- ELMAR/エルマーは、ライカカメラAGの登録商標です。



- Adobe Photoshop Elements、およびAdobe Premiere Elementsは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)をご参照ください。



my point of view

Leica Camera AG / Oskar-Barnack-Straße 11 /
D-35606 SOLMS / DEUTSCHLAND
Telefon +49 (0) 6442-208-0 / Telefax +49 (0) 6442-208-333
www.leica-camera.com